



令和3年度



# 個別の主要施策の概要



命を大切に 誰もが幸せに暮らすまち くにみ

令和3年3月 国見町

## 令和3年度 個別の主要施策の概要 ～目次～

NO	課名	係名	総合計画			事業名	頁番号
1	総務課	庶務係	5	1	2	職員厚生事業	1
2	総務課	文書広報係	5	1	3	広報広聴事業	2
3	総務課	文書広報係	6	2	3	応援大使事業	3
4	総務課	文書広報係	5	1	1	文書管理事業	4
5	総務課	財政係	5	1	1	庁舎維持管理事業	5
6	総務課	財政係	5	1	1	公用車(集中管理車両)維持管理事業	6
7	総務課	財政係	5	1	1	ふるさと国見町応援寄附金(ふるさと納税)事業	7
8	総務課	庶務係	5	1	1	★新規★衆議院議員選挙事務	8
9	企画情報課	総合政策室	5	1	1	総合計画・地方創生総合戦略推進事業	9
10	企画情報課	総合政策室	6	2	2	地域おこし協力隊活動事業	10
11	企画情報課	総合政策室	3	2	2	国見ホイスコーレ事業 (若者を中心とした学びの場)	11
12	企画情報課	総合政策室	6	2	1	交流連携推進事業	12
13	企画情報課	総合政策室	4	2	2	新産業創造プロジェクト事業	13
14	企画情報課	総合政策室	6	1	1	まちづくり推進事業	14
15	企画情報課	総合政策室	6	2	2	定住化促進総合対策事業	15
16	企画情報課	総合政策室	2	2	2	地域公共交通支援事業	16
17	企画情報課	情報統計係	5	1	1	情報管理事業	17
18	企画情報課	情報統計係	5	1	1	各種統計調査事業	18
19	税務住民課	課税係	5	1	1	課税管理事務	19
20	税務住民課	課税係	5	1	1	eLTAX関連事務	20
21	税務住民課	収納係	5	1	1	収納管理事務	21
22	税務住民課	収納係	5	1	1	滞納整理事務	22
23	税務住民課	課税係	2	2	1	地籍管理事業	23
24	税務住民課	戸籍係	5	1	1	戸籍事務	24
25	税務住民課	戸籍係	5	1	1	住民基本台帳事務	25
26	税務住民課	戸籍係	5	1	1	住民基本台帳ネットワーク事務	26
27	税務住民課	戸籍係	5	1	1	中長期在留者居住地届出等事務	27
28	税務住民課	戸籍係	5	1	1	自動車臨時運行許可事務	28
29	環境防災課	環境防災係	2	1	3	交通安全対策事業	29
30	環境防災課	環境防災係	2	1	3	防犯対策事業	30
31	環境防災課	環境防災係	6	1	1	町内会事業	31
32	環境防災課	環境防災係	2	3	1	ごみ減量化対策事業	32
33	環境防災課	環境防災係	2	1	2	消防団運営事業	33
34	環境防災課	環境防災係	2	1	2	★新規★福島県消防操法大会事業	34

## 令和3年度 個別の主要施策の概要 ～目次～

NO	課名	係名	総合計画			事業名	頁番号
35	環境防災課	環境防災係	2	1	2	消防施設整備事業（防火水槽、消火栓等）	35
36	環境防災課	環境防災係	2	1	1	災害対策事業	36
37	環境防災課	環境防災係	2	1	1	防災訓練事業	37
38	環境防災課	原発災害対策室	2	3	1	除染対策事業	38～39
39	環境防災課	原発災害対策室	2	3	1	放射能検査事業	
40	保健福祉課	社会福祉係	3	1	1	若者交流事業	41
41	保健福祉課	長寿介護係	1	2	1	国見町小坂くらし館(こさかふるさと館)運営事業	42
42	保健福祉課	長寿介護係	1	2	1	生きがい対応型デイサービス事業	43
43	保健福祉課	長寿介護係	1	2	1	高齢者いきいきサロン交流事業	44
44	保健福祉課	長寿介護係	1	2	1	敬老会事業	45
45	保健福祉課	社会福祉係	1	2	3	障がい者福祉事業	46
46	保健福祉課	長寿介護係	1	2	2	デイサービスセンター事業	47
47	保健福祉課	社会福祉係	3	1	1	児童福祉事業	48
48	保健福祉課	国保係	3	1	1	子ども医療費事業	49
49	保健福祉課	保健係	3	1	1	子育て世代包括支援センター事業	50
50	保健福祉課	保健係	3	1	2	母子保健事業	51
51	保健福祉課	保健係	1	1	2	減塩対策事業	52
52	保健福祉課	保健係	1	1	2	放射線対策健康管理事業	53
53	保健福祉課	保健係	1	1	2	予防接種事業	54
54	保健福祉課	保健係	1	1	2	健康運動教室	55
55	保健福祉課	保健係	1	1	3	健(検)診事業	56
56	保健福祉課	新型コロナウイルス感染症対策室	1	1	1	★新規★新型コロナウイルス感染症対策事業	57
57	保健福祉課	国保係	1	1	3	【国保特会】 特定保健指導事業	58
58	保健福祉課	長寿介護係	1	2	2	【介護特会】 介護予防普及啓発事業(いきいき百歳体操&通いの場)	59
59	保健福祉課	長寿介護係	1	2	4	【介護特会】 くにみささえ愛事業	60
60	保健福祉課	長寿介護係	1	2	2	【介護特会】 地域包括支援センター事業	61
61	産業振興課	農業委員会	2	2	1	農業委員会事業	62
62	産業振興課	産業振興係	4	1	2	新規就農者支援事業	63
63	産業振興課	産業振興係	4	1	3	米の付加価値向上事業(くにみ米)	64
64	産業振興課	産業振興係	4	1	2	果樹産地育成対策事業(桃穿孔細菌病対策)	65
65	産業振興課	産業振興係	4	1	2	果樹共済加入促進対策事業、農業共済収入保険加入促進対策事業	66
66	産業振興課	産業振興係	4	1	2	福島県営農再開支援事業(果樹改植)	67
67	産業振興課	産業振興係	4	1	1	有害鳥獣対策事業	68
68	産業振興課	産業振興係	4	1	3	町農産物PR事業(販売力強化)	69

## 令和3年度 個別の主要施策の概要 ～目次～

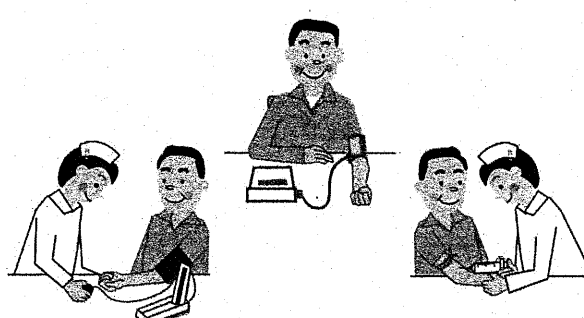
NO	課名	係名	総合計画			事業名	頁番号
69	産業振興課	産業振興係	4	1	2	水田農業改革支援事業	70
70	産業振興課	産業振興係	4	1	2	くにもみ農業ビジネス訓練所事業	71
71	産業振興課	農地整備係	4	1	1	農業施設整備事業	72
72	産業振興課	農地整備係	4	1	1	大枝湛水防除施設事業	73
73	産業振興課	農地整備係	4	1	1	中山間地域等直接支払交付金事業	74
74	産業振興課	農地整備係	4	1	1	多面的機能支払交付金事業	75
75	産業振興課	産業振興係	2	3	2	ふくしま森林再生事業	76
76	産業振興課	産業振興係	2	3	2	森林環境交付金事業(木育推進)	77
77	産業振興課	農地整備係	2	2	4	林道整備・維持管理事業	78
78	まちづくり交流課	歴史まちづくり推進室	3	3	4	歴史まちづくり協働事業	79
79	まちづくり交流課	歴史まちづくり推進室	3	3	4	歴史ウォーク事業	80
80	まちづくり交流課	歴史まちづくり推進室	2	3	2	★新規★歴史公園(あつかし千年公園)維持管理事業	81
81	まちづくり交流課	道の駅商工連携室	4	2	1	風評対策事業「周遊ツアー」	82
82	まちづくり交流課	道の駅商工連携室	4	2	3	風評対策事業「道の駅大交流フェスタ」	83
83	まちづくり交流課	道の駅商工連携室	4	2	3	道の駅国見あつかしの郷維持管理事業	84
84	まちづくり交流課	道の駅商工連携室	6	1	1	明日へ。ピクツリーイルミネーション事業	85
85	まちづくり交流課	歴史まちづくり推進室	3	3	4	阿津賀志山防塁史跡等総合活用事業	86
86	まちづくり交流課	歴史まちづくり推進室	3	3	4	町内遺跡調査事業	87
87	まちづくり交流課	歴史まちづくり推進室	3	3	4	国見町文化財センター(あつかし歴史館)運営事業	88
88	建設課	管理係	2	2	4	町道維持管理事業	89
89	建設課	建設係	2	2	4	町道改良整備事業	90
90	建設課	管理係	2	2	4	河川維持管理事業	91
91	建設課	管理係	2	2	1	都市計画事業	92
92	建設課	管理係	2	2	3	住宅維持管理事業	93
93	上下水道課	下水道係	2	3	3	合併処理浄化槽設置整備事業	94
94	上下水道課	下水道係	2	3	3	【下水道特会】公共下水道整備事業	95
95	上下水道課	下水道係	2	3	3	【下水道特会】公共下水道施設管理事業	96
96	上下水道課	水道係	2	3	3	【水道事業】生活基盤施設耐震化事業(補助事業)	97
97	上下水道課	水道係	2	3	3	【水道事業】水道施設整備事業(単独事業)	98
98	学校教育課	学校教育係	3	2	2	地域学校協働本部事業「コミュニティスクール」	99
99	学校教育課	学校教育係	3	2	2	地域学校協働本部事業「学習支援(公営塾等)」	100
100	学校教育課	学校教育係	3	1	2	いじめ防止対策事業	101
101	学校教育課	学校教育係	3	2	1	学力向上対策事業	102
102	学校教育課	学校教育係	3	2	3	育英事業	103



## 令和3年度 個別の主要施策の概要 ～目次～


NO	課名	係名	総合計画			事業名	頁番号
			3	2	3		
103	学校教育課	学校教育係	3	2	3	小中学校GIGAスクール(ICT)事業	104
104	学校教育課	学校教育係	3	2	3	★新規★スクールサポートスタッフ事業	105
105	学校教育課	学校教育係	3	2	3	スクールソーシャルワーカー事業	106
106	学校教育課	学校教育係	3	2	3	国見小学校スクールバス運行事業	107
107	学校教育課	学校教育係	3	2	1	県北中学校部活動支援事業	108
108	学校教育課	給食センター	3	2	1	給食センター運営事業	109
109	幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	藤田保育所運営事業	110
110	幼児教育課	幼児教育係	3	2	1	こども鑑賞教室事業	111
111	幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	子ども木育広場つながる～む運営事業	112
112	幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	くにみもたん広場運営事業	113
113	幼児教育課	幼児教育係	3	2	2	子どもクラブ運営事業(国見小学校)	114
114	幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	預かり保育運営事業(くにみ幼稚園)	115
115	幼児教育課	幼児教育係	3	2	1	未就学児体力向上支援事業(くにみ幼稚園)	116
116	幼児教育課	幼児教育係	3	2	1	ことばの教室事業(くにみ幼稚園)	117
117	幼児教育課	幼児教育係	3	2	1	くにみ幼稚園運営事業	118
118	生涯学習課	生涯学習係	3	3	1	社会教育総務事業	119
119	生涯学習課	生涯学習係	3	3	1	公民館事業	120
120	生涯学習課	生涯学習係	3	2	2	地域学校協働本部事業「放課後子ども教室」	121
121	生涯学習課	文化スポーツ係	3	3	1	各中央施設維持管理事業	122
122	生涯学習課	文化スポーツ係	3	3	2	観月台文化センター維持管理事業	123
123	生涯学習課	生涯学習係	3	3	1	図書館運営事業	124
124	生涯学習課	文化スポーツ係	3	3	2	文化芸術振興事業	125
125	生涯学習課	文化スポーツ係	3	3	3	東京オリンピック・パラリンピック事業	126
126	生涯学習課	文化スポーツ係	3	3	3	★新規★夏季巡回ラジオ体操事業	127
127	生涯学習課	文化スポーツ係	3	3	3	社会体育振興事業	128
128	生涯学習課	文化スポーツ係	3	3	3	各体育施設維持管理事業	129

# 令和3年度「職員厚生事業」の概要

所管課名	総務課	所管係名	庶務係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	8,890 千円					
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち		増 減 額	1,253 千円					
	施 策 名	2	職員の人材育成		比 率	14.1 %					
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	10,143 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	1,121 千円	9,022 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	11.1 %	88.9 %				
	特定財源の名称						職員健康検診交付金等4件(32頁)	-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		2	総務費	1	報酬	98 千円	健康管理医報酬				
			12	委託料	8,110 千円	生活習慣病健診及びストレスチェック等8,000千円、職員安全衛生研修110千円					
項		項名称	18	負担金補助及び交付金	1,935 千円	職員団体生命保険900千円、職員厚生事業1,035千円					
1		総務管理費			千円						
					千円						
目	目名称				千円						
	1	一般管理費			千円						
事業の目的		職員の心身の健康と働きやすい職場環境の整備を目的とする。									
事業の概要		①生活習慣病健診 ②職員のメンタルヘルス等安全衛生対策 ③職員厚生事業									
事業の効果		職員の健康増進により、行政サービスの向上につなげる。									
次年度以降の見込み		職員の健康と働きやすい環境の整備は、行政サービスを行う上で、また事業主として必要不可欠なものであるため、継続して取り組んでいくもの。									

予算書  
36～38頁

# 令和3年度「広報広聴事業」の概要

所管課名	総務課		所管係名	文書広報係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり			前年度当初予算額	8,834 千円				
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち			増 減 額	△ 2,913 千円				
	施 策 名	3	効果的な広報広聴			比 率	△ 33.0 %				
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他					
	金 額	5,921 千円		0 千円	126 千円	0 千円	2,144 千円	3,651 千円			
	構成比	100.0 %		0.0 %	2.1 %	0.0 %	36.2 %	61.7 %			
	特定財源の名称					県広報誌配布委託金(25頁)			復興基金繰入金(29頁) 広告料(33頁)	-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
2		総務課	7	報償費	70 千円	子ども議会参加者謝礼					
			8	旅費	38 千円	広報研修旅費					
項		項名称	10	需用費	2,669 千円	広報くにみ印刷製本(2,640千円)、消耗品(29千円)					
1		総務管理費	11	役務費	2,306 千円	広告費(2,220千円)、情報端末利用料(86千円)					
			12	委託料	813 千円	広報紙編集用ソフトウェア導入業務					
目		目名称	18	負担金補助金及び交付金	25 千円	日本広報協会(15千円)、広報研修負担金(10千円)					
2	文書広報費			千円							
				千円							
事業の目的	広報くにみ、新聞、テレビ、ラジオ等のマスメディア、ホームページ等さまざまな媒体を活用して町の情報を発信する。										
事業の概要	①広報くにみの発行 ②新聞等マスメディアの広告 ③ホームページ等による情報発信 ④情報発信に係る研修 ⑤広聴事業										
事業の効果	各情報媒体を活用した情報発信により、町のPR及び動きを効果的に伝えることができる。また、子ども議会により子どもたちの意見を聴くなど、広聴事業も充実するとともに、ターゲットに応じた情報発信が可能となる。										
次年度以降の見込み	庁内で連携を行い、各種事業のPR等効果的な情報発信を展開していく。										

# 令和3年度「応援大使事業」の概要

所管課名	総務課	所管係名	文書広報係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり	前年度当初予算額	100 千円		
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち	増 減 額	0 千円		
	施 策 名	3	プロモーションの推進	比 率	0.0 %		
予 算 額	総事業費		特定財源			一般財源	
	金 額	100 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
	特定財源の名称						
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		2	総務課	10	需用費	100 千円	応援大使への特産品贈呈(50千円)、町PR品(50千円)
項		項名称			千円		
1		総務管理費			千円		
目		目名称			千円		
2		文書広報費			千円		
事業の目的	<p>町にゆかりのある6名に応援大使を委嘱し、知名度や影響力を生かして町の魅力を広く発信していただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市川由紀乃(演歌) ●木住野佳子(ピアノ) ●沢木順(ミュージカル)</li> <li>●野崎洋光(日本料理) ●ふたり(歌手) ●三屋裕子(スポーツ)</li> </ul>						
事業の概要	<p>①応援大使6名への町特産品の贈呈(桃) ②町をPRするグッズの作成</p>						
事業の効果	<p>応援大使の知名度や影響力を生かすことで、国見町を全国規模でPRすることができる。</p>						
次年度以降の見込み	<p>日頃から応援大使と連携を密にし、町の魅力を発信していただく。</p>						



## 令和3年度「文書管理事業」の概要

所管課名	総務課	所管係名	文書広報係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の 位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	12,936 千円	
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち		増 減 額	534 千円	
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		比 率	4.1 %	
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 39～40頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			金額	13,470 千円	千円	千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称					印刷等実費収入(32頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		2	総務費	1	報酬	55 千円	情報公開等審査委員
				10	需用費	3,200 千円	コピー用紙、複合機カウント料、文書管理消耗品、修繕料
		項	項名称	11	役務費	7,033 千円	郵便料(6,872千円※他会計含まず)、宅配料(120千円)、法令サービス利用料(41千円)
		1	総務管理費	12	委託料	2,292 千円	例規集システム(1,980千円)、文書配達(312千円)
				13	使用料及び賃借料	890 千円	複合機5台、印刷機2台の賃借料(※他会計含まず)
目	目名称			千円			
	2	文書広報費			千円		
					千円		
事業の目的	庁内で使用する文書管理機器及び郵便等に関する業務を一括管理し、事務の効率化を図る。 適正な文書管理及び例規管理を推進する。						
事業の概要	①複合機、印刷機の一括管理 ②郵便物等の管理 ③文書管理システム及びファイリングの手法を用いた文書管理 ④システムによる条例等の管理						
事業の効果	文書に関する事務機器を一括管理することで、事務の効率化につながる。 適正な文書管理及び例規管理ができています。						
次年度以降の見込み	文書管理に係る費用を削減しながら、適正な文書管理を推進していく。						

# 令和3年度「庁舎維持管理事業」の概要

所管課名	総務課	所管係名	財政係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	26,636 千円		
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち		増 減 額	1,001 千円		
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		比 率	3.8 %		
予 算 額  予算書 41～42頁	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			金 額	27,637 千円	国庫支出金 0 千円	県支出金 0 千円		地方債 0 千円
	構 成 比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.1 %	99.9 %	
	特定財源の名称					公共施設整備基金利子 (27頁)	-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	10	需用費	10,446 千円	消耗品費、燃料費、光熱水費(電気、ガス、上下水道)、修繕料	
				11	役務費	498 千円	建物災害共済保険	
		項	項名称	12	委託料	15,625 千円	設備(消防、空調、電気工作物、EV、自動ドア)、清掃、植樹管理、機械警備、定期検査	
		1	総務管理費	13	使用料及び賃借料	44 千円	テレビ受信料	
				14	工事請負費	700 千円	庁舎維持補修工事	
目		目名称	17	備品購入費	300 千円	各種事務用品購入		
5	財産管理費	24	積立金	24 千円	国見町公共施設設備基金			
					千円			
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 役場庁舎機能・設備の維持管理</li> <li>● 町民が来庁しやすく、かつ職員が働きやすい環境整備</li> </ul>							
事業の概要	● 庁舎の維持管理(環境整備、法定整備点検等)							
事業の効果	● 適正な庁舎の維持管理に努めることにより、町民が利用しやすく、職員が働きやすい環境づくりを行うことができる。							
次年度以降の見込み	● 次年度以降についても、引き続き町民に親しまれる庁舎としての適正な維持管理に努める。							



## 令和3年度「公用車(集中管理車両)事業」の概要

所管課名	総務課	所管係名	財政係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の 位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	5,029 千円			
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち		増 減 額	△ 134 千円			
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		比 率	△ 2.7 %			
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 41～42頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源		
			金額	4,895 千円	国庫支出金 0 千円	県支出金 0 千円		地方債 0 千円	その他 0 千円
	構成比		100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
			特定財源の名称				-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
		2	総務費	10	需用費	2,312 千円	消耗品費(エンジンオイル等)、燃料費(レギュラー、軽油)、車両修繕料		
				11	役務費	1,463 千円	車検代、保険料(自賠責、任意保険)		
		項	項名称	13	使用料及び賃借料	957 千円	公用車リース代(1台分)、有料道路通行料		
		1	総務管理費	26	公課費	163 千円	自動車重量税		
		目	目名称			千円			
5	財産管理費			千円					
千円									
事業の目的	●総務課で公用車を集中管理することにより、公用車の有効活用を図るとともに、常に安全な走行ができるよう定期的に点検・整備を行う。								
事業の概要	●集中管理車両の管理(車検手配、運行管理、点検等)を行う。 【総務課集中管理車両19台+各課管理車両14台=合計33台】								
事業の効果	●公用車の集中管理を行うことで公用車の有効活用を図り、定期的に点検・整備を行うことにより、常に安全で安心な走行ができるようになる。								
次年度以降の見込み	●次年度以降についても、引き続き適正な維持管理に努める。								

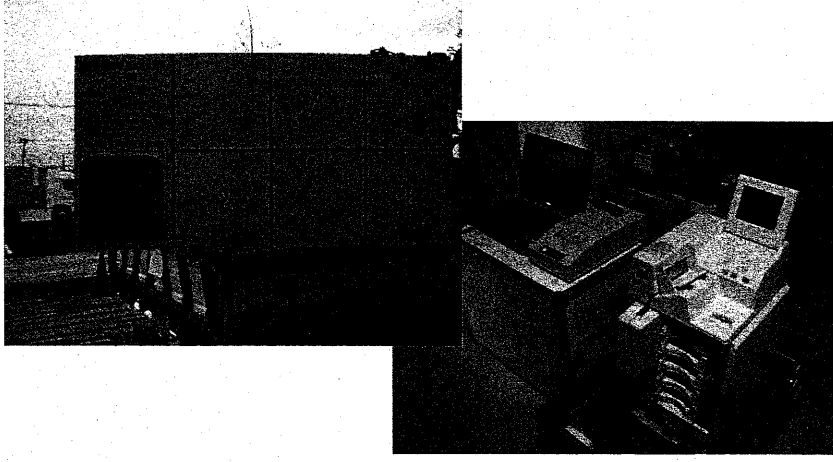


# 令和3年度「ふるさと国見町応援寄附金(ふるさと納税)事業」の概要

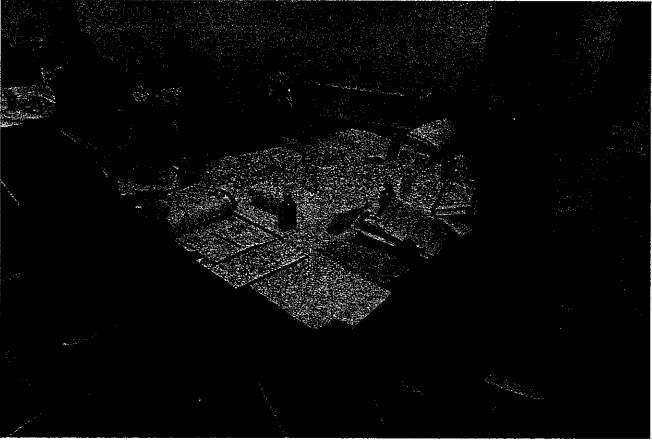
所管課名	総務課	所管係名	財政係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	101,094 千円					
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち		増 減 額	8,561 千円					
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		比 率	8.5 %					
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源				
	金 額	109,655 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	109,655 千円	0 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %				
	特定財源の名称						●ふるさと振興基金利子(27頁) ●ふるさと納税寄附金(28頁) ●ふるさと振興基金繰入金(29頁)	-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		2	総務費	11	役務費	3,835 千円	決済手数料				
12				委託料	68,944 千円	ふるさと納税業務委託料(返礼品代、発送代行料、送料等)					
1		総務管理費	13	使用料及び賃借料	905 千円	決済等管理システム使用料					
			24	積立金	25 千円	ふるさと振興基金積立金(利子分)					
目		目名称	24	積立金	35,946 千円	ふるさと振興基金積立金(ふるさと納税収益分+令和2年度産桃の先行受付分)					
				千円							
8	企画費			千円							
予算書 45~47頁					千円						
事業の目的	●ふるさと納税を通して、自主財源を確保するとともに、返礼品により国見町の特産品及び魅力を全国に幅広く発信する。										
事業の概要	●ふるさと納税者に返礼品を贈呈 ①平成29年度寄附金額実績 107,145千円 寄附者数 7,217人 ②平成30年度寄附金額実績 43,079千円 寄附者数 3,298人 ③平成31年度寄附金額実績 123,306千円 寄附者数 8,085人 ④令和2年度寄附金額実績 134,371千円 寄附者数 8,051人(令和3年2月1日現在)										
事業の効果	●ふるさと納税によって自主財源を確保するとともに、返礼品により国見町の特産品や魅力が全国に発信される。										
次年度以降の見込み	●返礼品の拡充を図り、ふるさと納税のリピーターの確保に向けた取り組みを行う。										




# 令和3年度「衆議院議員選挙事務」の概要

所管課名	総務課	所管係名	庶務係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	0 千円		
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち		増 減 額	6,132 千円		
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		比 率	皆増 %		
予 算 額  予算書 54～55頁	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			金額	6,132 千円	0 千円	5,390 千円		
	構成比	100.0 %		0.0 %	87.9 %	0.0 %	0.0 %	12.1 %
	特定財源の名称					衆議院議員選挙委託金 (26頁)		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	1	報酬	672 千円	投開票管理者及び立会人報酬	
				3	職員手当等	3,098 千円	超過勤務手当等	
		項	項名称	7	報償費	324 千円	謝礼30千円、報償294千円	
		4	選挙費	10	需用費	695 千円	ポスター掲示板購入等469千円、入場券印刷226千円	
				11	役務費	709 千円	入場券郵送522千円、機器点検165千円、新聞広告22千円	
目		目名称	12	委託料	482 千円	ポスター掲示板設置・撤去335千円、投票システムセット等147千円		
3	衆議院議員選挙費	13	使用料及び賃借料	152 千円	投票受付用パソコン等			
					千円			
事業の目的	令和3年10月21日任期満了による衆議院議員総選挙を適正に執行する。							
事業の概要	当日の投開票事務、期日前投票事務、選挙啓発、その他選挙管理事務							
事業の効果	適正な選挙事務と投票率の向上により、有権者の一票が政治に反映させることができる。							
次年度以降の見込み	令和4年度に執行される選挙 ・参議院議員通常選挙(任期満了7月)、福島県知事選挙(任期満了11月)							

## 令和3年度「総合計画・地方創生総合戦略推進事業」の概要

所管課名	企画情報課	所管係名	総合政策室						
総合計画上の 位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	618 千円			
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち(行財政)		増 減 額	△ 304 千円			
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		増 減 率	△ 49.2 %			
予 算 額			総事業費		特 定 財 源				一般財源
					金額	314 千円	国庫支出金 0 千円	県支出金 16 千円	
			構成比	100.0 %	0.0 %	5.1 %	0.0 %	0.0 %	94.9 %
			特定財源の名称			●土地利用規制対策交付金(25頁)			-
	内 訳	款	款名称		節	節名称		予算額	明 細
		2	総務費		1	報酬		281 千円	総合計画審議会委員報酬2回分
					8	旅費		16 千円	総合計画審議会委員費用弁償4 普通旅費12
		項	項名称		10	需用費		17 千円	消耗品費
		1	総務管理費						
		目	目名称						
8	企画費								
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     予算書 45頁                 </div>									
事業の目的	総合計画、地方創生総合戦略の進捗管理を的確に行うことにより、各施策間の調整、年度間の事業の調整等を行う。								
事業の概要	①総合計画審議会の開催 ②総合計画、地方創生総合戦略の進捗管理 ③総合計画検証、評価のためのワークショップ等の実施								
事業の効果	適切な進捗管理を行うことにより、町の施策の継続的な実施、公平公正な町政を実現し、町の維持発展が図られる。								
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。								
									

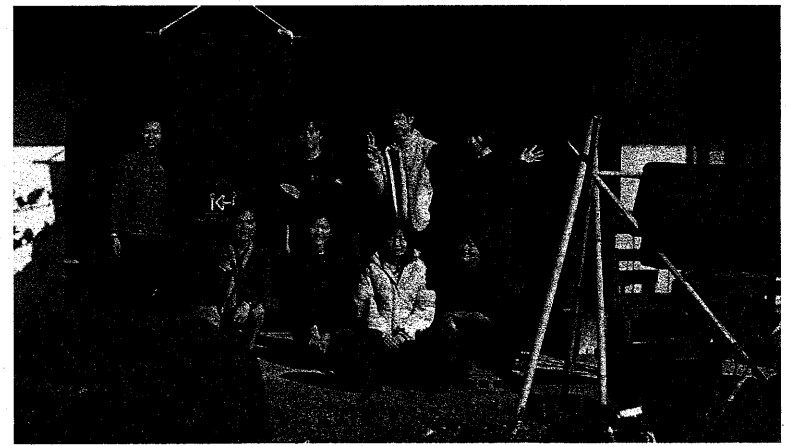
## 令和3年度「地域おこし協力隊活動事業」の概要

所管課名	企画情報課	所管係名	総合政策室	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり	前年度当初予算額	8,526 千円			
	政 策 名	2	人が集まりまた来なくなるまち(交流連携)	増 減 額	7,942 千円			
	施 策 名	2	移住定住と関係人口創出	増 減 率	93.2 %			
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	16,468 千円		0 千円	0 千円	0 千円	16,468 千円	0 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %
	特定財源の名称						●特別交付税で措置(16頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	8	旅費	88 千円	普通旅費	
				12	委託料	16,380 千円	地域おこし協力隊活動費9名14,400 募集委託1,980	
		項	項名称					
		1	総務管理費					
目		目名称						
8	企画費							
事業の目的	人口減少と少子高齢化が著しい本町において、町外の人材を積極的に誘致し、その定住及び定着を図り、もって地域の活力維持と地域活性化の担い手となる人材の確保を目的とする。							
事業の概要	①農林業の振興、観光交流に関する活動 ②地域間交流及び移住促進に関する活動 ③教育交流事業及び教育振興に資する事業の企画及び実施に関する活動							
事業の効果	地域への定住・定着を図り、協力隊員の熱意と行動力が地域に大きな刺激を与えることによって地域活性化が促進される。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。							

予算書  
45～46頁


## 令和3年度「国見ホイスコーレ事業」の概要

所管課名	企画情報課	所管係名	総合政策室				
総合計画上の 位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり	前年度当初予算額	7,829 千円		
	政 策 名	2	生きる力をはぐむまち	増 減 額	93 千円		
	施 策 名	2	地域とともにある教育	増 減 率	1.2 %		
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	7,922 千円	3,961 千円	0 千円	0 千円	0 千円	3,961 千円
	構成比	100.0 %	50.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	50.0 %
	特定財源の名称		●地方創生推進交付金(20頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		2	総務費	7	報償費	240 千円	謝礼
				8	旅費	151 千円	普通旅費
		項	項名称	10	需用費	231 千円	消耗品110 会議費55 印刷製本費66
		1	総務管理費	12	委託料	7,300 千円	事業委託
目		目名称					
8	企画費						
事業の目的	若者を地域ぐるみで育成することで、未来の国見町を担う人物を育てると同時に地域住民も若者への理解を深め、相互の繋がりを促進する。また、その感性や柔軟な発想をまちづくりへと繋げる。						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>①国見ホイスコーレ全体の事業運営</li> <li>②エリアデザインラボの実施(高校、大学、社会人)</li> <li>③情報発信の実施(大学生、社会人)</li> <li>④学びのツアーの実施(町外からの誘導)</li> </ul>						
事業の効果	地域資源を活かした地域での多様な交流・学びの場を設けることで、特に若者の「思考力・表現力・判断力」「学ぶ意欲・姿勢」を育成するとともに、地域への愛着を醸成する。						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。						



# 令和3年度「交流連携推進事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画情報課		所管係名	総合政策室				
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり			前年度当初予算額	933 千円	
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち(交流連携)			増 減 額	113 千円	
	施 策 名	1	交流連携の推進			増 減 率	12.1 %	
予 算 額	金 額	総事業費		特定財源				一般財源
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
	構成比	1,046 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,046 千円
		100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	7	報償費	456 千円	謝礼	
				8	旅費	257 千円	域学連携250 普通旅費7	
		項	項名称	10	需用費	164 千円	消耗品費44 会議費44 対外交流費10 印刷製本費66	
		1	総務管理費	18	負担金補助及び交付金	169 千円	国際交流10 活性化センター80 圏域協議会79	
目		目名称						
	8	企画費						
事業の目的	域学連携、包括連携、地域間交流などの事業実施により、交流連携の推進と関係人口の拡大を図り、地域活性化と地域の人材育成に寄与する。							
事業の概要	①集落活性化に向けた各大学との域学連携 ②金融機関との包括的な連携(信金、東邦、郵便局) ③圏域内での交流連携、国際交流の推進							
事業の効果	各種、各層での交流連携を図ることにより、交流人口、関係人口の拡大が図られる。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。							

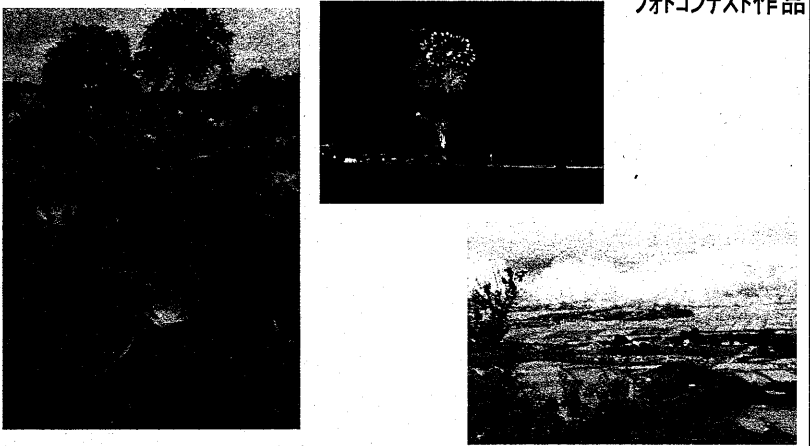
予算書  
45～47頁

# 令和3年度「新産業創造プロジェクト事業」の概要

所管課名	企画情報課		所管係名	総合政策室	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度当初予算額	0千円	
	政 策 名	2	魅力あふれる働きがいのあるまち		増 減 額	40,000千円	
	施 策 名	2	新産業創出と起業家支援		増 減 率	皆増%	
予 算 額	総事業費		特定財源			一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債		その他
	金 額	40,000千円	20,000千円	0千円	0千円	20,000千円	0千円
	構成比	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	特定財源の名称		●地方創生推進交付金(20頁)		●企業版ふるさと納税(28頁)		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
2		総務費	12	委託料	40,000千円	官民連携新産業創造プロジェクト	
項		項名称					
1		総務管理費					
目		目名称					
8		企画費					
事業の目的	企業版ふるさと納税を活かした民間企業との連携により、防災レジリエンスに向けた新産業創出をめざし、町全域をフィールドにした新たな産業創出に向けた取り組みを進める。						
事業の概要	官民連携による新産業創造プロジェクト						
事業の効果	新規産業創出の起点となる取り組みにより、交流人口、関係人口の拡大、雇用の拡大が図られる。						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。						

予算書  
45頁

# 令和3年度「まちづくり推進事業」の概要

所管課名	企画情報課		所管係名	総合政策室	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前年度当初予算額	21,448 千円		
	政 策 名	1	力をあわせてつくるまち(協働)		増 減 額	△ 6,571 千円		
	施 策 名	1	協働のまちづくりの推進		増 減 率	△ 30.6 %		
予 算 額	総事業費		特 定 財 源			一般財源		
			国庫支出金	県支出金	地方債		その他	
	金 額	14,877 千円		0 千円	1,005 千円	0 千円	6,383 千円	7,489 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	6.8 %	0.0 %	42.9 %	50.3 %
	特定財源の名称				●消費者風評対策市町村支援事業交付金(25頁)	●参加料収入(32頁) ●みらいを描く助成金(33頁)	-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	7	報償費	48 千円	イベントアトラクション謝礼20 記念品28	
				8	旅費	152 千円	普通旅費	
		1	総務管理費	10	需用費	143 千円	消耗品費22 対外交流費55 印刷製本費66	
				11	役務費	154 千円	郵便料84 宅配料22 保険料15 クリーニング33	
目		目名称	12	委託料	4,580 千円	東京くにみ会880 武者行列3,700		
			18	負担金補助及び交付金	9,800 千円	まちづくり推進協議会補助金		
8	企画費							
事業の目的	地域づくり・地域活性化に関する事業の支援を行うことで、国見町全体の活性化を主な目的とする。					 フォトコンテスト作品		
事業の概要	①まちづくり推進協議会の運営補助・フォトコンテストの開催 ②義経まつりの武者行列の実施委託 ③(仮称)東京ふるさと国見会の設立及び交流会の開催							
事業の効果	各事業・イベントについて実行委員会と協力して実施したことによる協働意識の醸成、補助団体ごとの企画のブラッシュアップが図られている。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。							

予算書  
45～47頁

# 令和3年度「定住化促進総合対策事業」の概要

所管課名	企画情報課		所管係名	総合政策室	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前年度当初予算額	3,016 千円		
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち(交流連携)		増 減 額	2,645 千円		
	施 策 名	2	移住定住と関係人口創出		増 減 率	87.7 %		
予 算 額	金 額	総事業費		特定財源				一般財源
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
	構 成 比	5,661 千円	0 千円	1,200 千円	0 千円	2,332 千円	2,129 千円	
		100.0 %	0.0 %	21.2 %	0.0 %	41.2 %	37.6 %	
	特定財源の名称		●地方創生推進交付金(移住・起業・就業タイプ)(20頁)			●みらいを描く助成金(33頁)		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	7	報償費	100 千円	UIターン奨励金	
				8	旅費	100 千円	普通旅費	
		項	項名称	10	需用費	11 千円	消耗品費	
		1	総務管理費	12	委託料	3,498 千円	プロモーションビデオ作成	
			18	負担金補助及び交付金	1,951 千円	移住定住セミナー負担金101 移住者支援金補助1,600 利子補給報奨金250		
目	目名称	27	繰出金	1 千円	土地開発事業特別会計へ(存目)			
8	企画費							
予算書 45~47頁								
事業の目的	国見ニュータウン購入者への各種補助、首都圏からの移住定住、二地域居住を図り、人口減少に歯止めをかける。							
事業の概要	①首都圏での移住・定住・二地域居住セミナーへの参加 ②県や圏域と連携したPR事業への参加 ③移住者に対する支援金の交付事業 ④定住化促進総合対策支援事業							
事業の効果	町の魅力をPRし、移住、定住、二地域居住者を誘導することによって、地域活性化が図られる。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。							
								



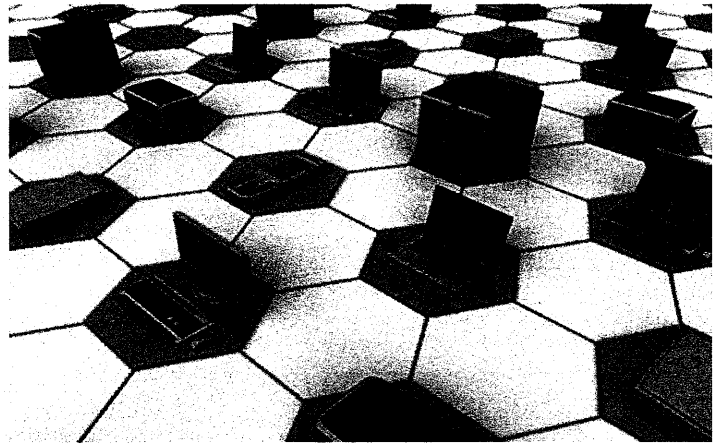
## 令和3年度「地域公共交通支援事業」の概要

所管課名	企画情報課	所管係名	総合政策室	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり	前年度当初予算額	12,267 千円		
	政 策 名	2	便利で快適なまち(都市基盤)	増 減 額	7,957 千円		
	施 策 名	2	利用しやすい公共交通	増 減 率	64.9 %		
予 算 額	総事業費			特定財源			一般財源
	金 額	20,224 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	構成比	100.0 %		7,507 千円	597 千円	0 千円	1,700 千円
	特定財源の名称			37.1 %	3.0 %	0.0 %	8.4 %
	●地方創生推進交付金(20頁)			●市町村生活交通対策事業(23頁)		●デマンドタクシー伊達市負担分(31頁)	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		2	総務費	8	旅費	80 千円	地域公共交通会議委員63 福祉有償運送運営協議会委員13 普通旅費4
				10	需用費	1,054 千円	燃料費
		項	項名称	12	委託料	10,393 千円	MaaS事業委託
		1	総務管理費	13	使用料及び賃借料	3,571 千円	MaaS使用料3,567 貝田駅自転車置場借地料4
			18	負担金補助及び交付金	5,126 千円	鉄道活性化4 福島空港17 相馬港1 中央道建設4 ハス500 まちなか4,600	
目	目名称						
8	企画費						
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">                     予算書 45～47頁                 </div>							
事業の目的	地域住民の日常生活に必要な生活交通の確保を図る。						
事業の概要	①MaaS事業実証実験の継続(地方創生) ②まちなかタクシー運営主体への補助(商工会) ③地域公共バス運行補助(福島交通) ④地域公共交通の総合的な見直しの検討(各委員会の開催)						
事業の効果	まちなかタクシー及び福島交通バスへの補助により、町民の移動手段の確保がなされている。						
次年度以降の見込み	総合的な見直しの検討を進めながら、効率的な公共交通の構築へ向けて事業を継続する。						



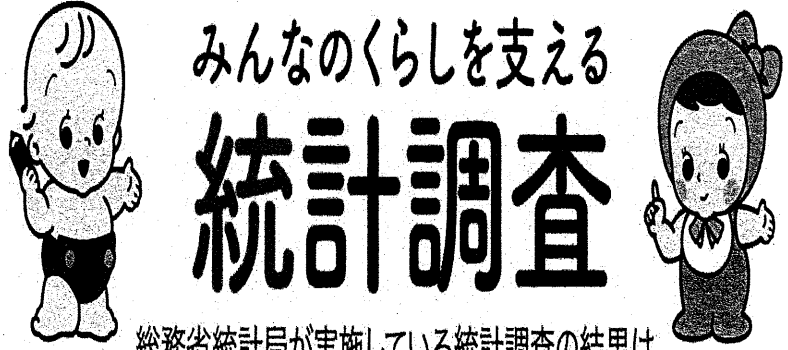
## 令和3年度「情報管理事業」の概要

所管課名	企画情報課	所管係名	情報統計係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	前年度当初予算額	82,276 千円			
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち(行財政)	増 減 額	2,813 千円			
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営	増 減 率	3.4 %			
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源	
			金額	85,089 千円	国庫支出金 720 千円	県支出金 0 千円		地方債 0 千円
	構成比		100.0 %	0.8 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	99.2 %
	特定財源の名称			●社会保障・税番号制度システム整備費補助金(20頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	7	報償費	10 千円	情報アドバイザー謝礼	
				8	旅費	23 千円	情報アドバイザー費用弁償10 普通旅費13	
		1	総務管理費	10	需用費	7,316 千円	消耗品費543 印刷製本費5,453 修繕料1,320	
				11	役務費	5,014 千円	回線使用料4,861 情報機器処分料22 共済131	
		目	目名称	12	委託料	58,279 千円	イントラネット保守21,604 総合行政保守33,700 番号法保守2,975	
13				使用料及び賃借料	9,776 千円	共架電柱使用料468 基幹系システム使用料9,308		
9		情報管理費	14	工事請負費	742 千円	イントラネット光回線移設工事		
	18		負担金補助及び交付金	3,929 千円	高度情報化7 RASDEC45 中間サーバ2,815 セキュリティクラウド1,062			
予算書 47～49頁								
事業の目的	職員が業務上利用する端末、システムの管理運用及び行政が保有する様々な個人情報データの適正な管理を行い、安全安心な環境の維持を行う。							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>①庁内ネットワーク及び基幹系システムの保守管理</li> <li>②番号制度(マイナンバーによる情報連携)対応</li> <li>③端末、プリンタ等業務で使用する情報機器の購入</li> <li>④非常時におけるリモート、テレワーク環境の維持整備</li> </ul>							
事業の効果	職員が利用している業務端末や情報機器、業務システムを集中管理することにより、効率的かつ正確な住民サービスの提供が可能となる。また、ネットワークの保守管理を外部専門業者へ委託することにより、正確で安全なネットワークの運用を行うことができる。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。							



## 令和3年度「各種統計調査事業」の概要

所管課名	企画情報課	所管係名	情報統計係									
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	3,958 千円						
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち(行財政)		増 減 額	△ 3,470 千円						
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		増 減 率	△ 87.7 %						
予 算 額	内 訳	総事業費		特定財源			一般財源					
		金 額	488 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	487 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	1 千円
		構 成 比	100.0 %	0.0 %	99.8 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.2 %			
		特定財源の名称					●統計調査費委託金計4件(26頁)		-			
	予 算 額		款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
			2	総務費	8	旅費	3 千円	統計調査総務費 普通旅費				
					18	負担金補助及び交付金	90 千円	統計調査総務費 統計調査員協議会補助金				
			項	項名称	1	報酬	352 千円	各種統計調査費 調査員報酬				
					8	旅費	3 千円	各種統計調査費 普通旅費				
			5	統計調査費	10	需用費	20 千円	各種統計調査費 消耗品費				
11					役務費	20 千円	各種統計調査費 郵便料10 電話料10					
		目	目名称	1	統計調査総務費							
		2	各種統計調査費									
事業の目的	統計調査データをもとに、適切な施策の立案、実施が図られる。											
事業の概要	①現住人口調査 ②学校基本調査 ③工業統計調査(準備) ④国勢調査(審査) ⑤経済センサス(本調査) ⑥統計調査員協議会育成補助											
事業の効果	統計調査の結果が各種政策の資料として活用される。											
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。											



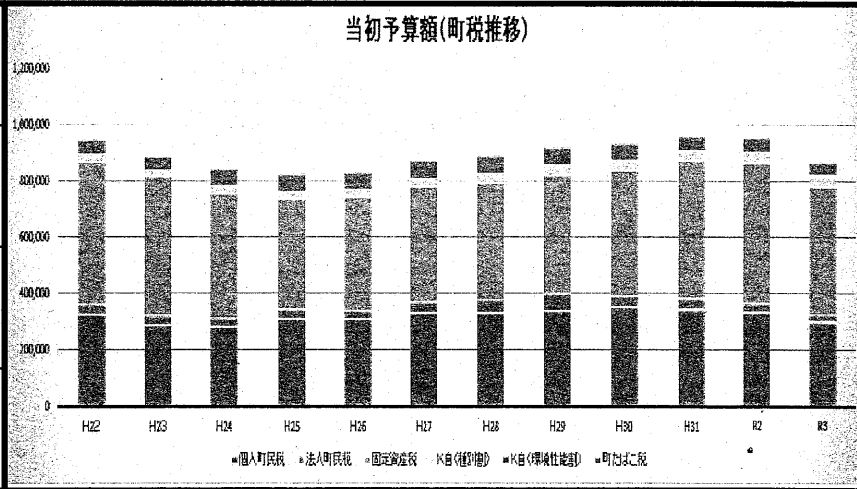
みんなの暮らしを支える  
統計調査

総務省統計局が実施している統計調査の結果は、  
私たちの暮らしのさまざまなところで活かされています。

# 令和3年度「課税管理事務」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	税務住民課	所管係名	課税係								
総合計画上の位置付け	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	6,829 千円					
	政策名	1	身近で信頼されるまち		増減額	△ 1,108 千円					
	施策名	1	持続可能な行財政運営		増減率	△ 16.2 %					
予算額	総事業費		特定財源			一般財源					
	金額	5,721 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	5,721 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
	特定財源の名称					-					
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">                     予算書 51～52頁                 </div>	内訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明細				
		2	総務費	8	旅費	18 千円	旅費(課税事務研修等)				
				10	需用費	536 千円	消耗品費(申告受付事務用品等)、対外交流費(地区税務協議会等)、印刷製本費(納税通知書用封筒等)				
		項	項名称	11	役務費	197 千円	通信運搬費(申告会場臨時電話料)、手数料(J-LIS軽自動車検査情報等)				
		2	徴税费	12	委託料	2,375 千円	委託料(給報等データ入力、土地鑑定評価、電子申告送信システム保守、確定申告受付業務)				
				13	使用料及び賃借料	50 千円	使用料及び賃借料(申告会場用コピー機使用料、申告用携帯電話レンタル料)				
		目	目名称	18	負担金補助及び交付金	45 千円	負担金(資産評価システム研修センター負担金)				
		2	賦課徴收費	22	償還金利息及び割引料	2,500 千円	償還金(町税還付金、町税還付加算金)				
事業の目的	法令に基づき、自主財源を確保する。										
事業の概要	地方税法や町税条例等に基づき、個人町民税、固定資産税等町税について、適正な課税を行なう。										
事業の効果	町税調定見込額 961,100千円										
次年度以降の見込み	次年度以降も継続										



# 令和3年度「eLTAX関連事務」の概要


所管課名	税務住民課		所管係名	課税係・収納係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	3,890 千円	
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち		増 減 額	14 千円	
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		増 減 率	0.4 %	
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	3,904 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	3,904 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		2	総務費	12	委託料	3,683 千円	委託料(eLTAX運用支援委託)
				18	負担金補助及び交付金	221 千円	負担金(地方税共同機構負担金)
		項	項名称			千円	
		2	徴税费			千円	
					千円		
目		目名称			千円		
2	賦課徴收費			千円			
事業の目的	納税者の利便性の向上を図るとともに、賦課徴収の効率化を図る。					<p>The diagram illustrates the eLTAX service flow. On the left, '自宅' (Home) and 'オフィス' (Office) are shown with a person at a computer. An arrow labeled 'インターネット' (Internet) points to the 'eLTAXポータルセンター' (eLTAX Portal Center), represented by a server tower. From the center, arrows point to a box labeled '地方公共団体' (Local Public Entities), which contains icons for various municipalities and services.</p>	
事業の概要	IT社会に対応した税務行政を推進し、インターネットを利用した税に関する申告、届出、報告等ができる環境整備を図る。						
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税に関する申告書、届出書等の提出、受理</li> <li>①給与等支払報告書 ②法人町民税申告書 ③固定資産(償却資産)税申告書 ④特別徴収に係る給与支払異動報告書 ⑤法人開設等届出書 ⑥扶養連絡箋</li> <li>・地方税共通納税システムの普及促進(R元年10月より運用)</li> </ul>						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続						

予算書  
51～52頁

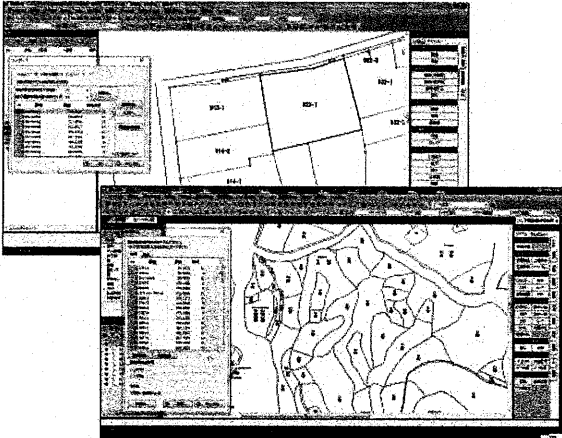
# 令和3年度「収納管理事務」の概要

所管課名	税務住民課		所管係名	収納係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	1,135 千円		
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち		増 減 額	△ 130 千円		
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		増 減 率	△ 11.5 %		
予 算 額	金額	総事業費		特定財源			一般財源	
		国庫支出金	0 千円	県支出金	1,005 千円	地方債		0 千円
		金額	1,005 千円	0 千円	1,005 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		構成比	100.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	特定財源の名称			●個人県民税徴収取扱費交付金(25頁)			-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	8	旅費	2 千円	旅費(収納事務研修)	
				10	需用費	169 千円	消耗品費(用紙、参考図書等)、対外交渉費(地区税務協議会)、印刷製本費(封筒)	
		項	項名称	11	役務費	834 千円	手数料(コンビニ収納代行業務費用、口座振替手数料 等)	
		2	徴税费			千円		
					千円			
目		目名称			千円			
2	賦課徴収費			千円				
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     予算書 51頁                 </div>								
事業の目的	納期内納税を目指し、滞納を増やさないように努める。							
事業の概要	①税に関する関心と正しい知識の動機付けを行い、一層の収納率向上を目指す。 ・租税教室の実施 ※税の作品コンクールは令和2年度で廃止 ②納税し易い環境を整え、納税者の利便性を図るとともに、徴収の効率化を図る。 ・コンビニ収納・スマホ決済(R3.4~)・口座振替・地方税共通納税システム(R1.10~)							
事業の効果	個人県民税優良市町村に対する知事感謝状を14回連続受賞。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続。							

# 令和3年度「滞納整理事務」の概要

所管課名	税務住民課		所管係名	収納係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	265 千円	
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち		増 減 額	45 千円	
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		増 減 率	17.0 %	
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	310 千円	0 千円	310 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	特定財源の名称		●個人県民税徴収取扱費交付金(25頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		2	総務費	8	旅費	13 千円	旅費(滞納整理研修)
				10	需用費	43 千円	消耗品費(各種調査時返信用封筒代・資料コピー代)、印刷製本費(催告書用封筒)
		項	項名称	11	役務費	172 千円	手数料(Web預金調査利用料、Web債権管理コンサルジュ利用料、搜索費用、公売手数料)
				12	委託料	77 千円	委託料(滞納者の居所調査(サービサー))
2		徴税费	13	使用料及び賃借料	5 千円	使用料及び賃借料(臨店差押時等駐車料金代)	
目		目名称			千円		
2	賦課徴収費			千円			
予 算 書 51頁					千円		
事業の目的	税の公平性を担保するため、滞納を解消し自主納付を促進する。						
事業の概要	①滞納事案を効率的に処理し、一層の収納率向上を目指す。 ②『取る(収納)』・『押さえる(差押)』・『止める(処分停止)』を完結に整理する。						
事業の効果	個人県民税優良市町村に対する知事感謝状を14回連続受賞。						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続。						

# 令和3年度「地籍管理事務」の概要

所管課名	税務住民課		所管係名	課税係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり		前年度当初予算額	1,836 千円		
	政 策 名	2	便利で快適なまち		増 減 額	598 千円		
	施 策 名	1	有効な土地利用		増 減 率	32.6 %		
予 算 額	金 額	総事業費		特定財源			一般財源	
		国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債		0 千円
	構 成 比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称							-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	10	需用費	22 千円	消耗品費(プリンタートナー等)	
				12	委託料	960 千円	委託料(貝田ほ場整備地図作成、地籍測定業務、土地情報管理システム保守)	
項		項名称	13	使用料及び賃借料	1,452 千円	使用料及び賃借料(土地情報管理システムリース)		
2		徴税费			千円			
					千円			
目	目名称				千円			
	3 地籍管理費				千円			
					千円			
事業の目的	完了した国土調査事業成果を確実に管理し、社会的インフラの活用に寄与する。							
事業の概要	①地籍情報の管理、更新 ②不動産情報の調査 ③システムの維持管理、保守							
事業の効果	正確な地籍情報により、土地に対する紛争が減少し、土地の利用や開発又は公正な賦課等を遅滞なく行うことができる。又、諸分野におけるGISシステムの活用を促進し、官民部門の事業効率化が見込める。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。							



# 令和3年度「戸籍事務」の概要

所管課名	税務住民課		所管係名	戸籍係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり			前年度当初予算額	5,242 千円
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち			増 減 額	120 千円
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営			比 率	2.3 %
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	5,362 千円	0 千円	15 千円	0 千円	2,106 千円	3,241 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.3 %	0.0 %	39.3 %	60.4 %
	特定財源の名称		●人口動態調査事務委託金(26頁)		●戸籍関連手数料(19頁)		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		2	総務費	8	旅費	6 千円	普通旅費6
				10	需用費	139 千円	消耗品費112、印刷製本費(窓口用封筒)27
		3	戸籍住民基本台帳費	12	委託料	1,980 千円	戸籍システム保守1,848、戸籍副本データ管理システム保守132
				13	使用料及び賃借料	3,236 千円	戸籍システム(ハード、ソフト)3,236
目		目名称	18	負担金補助及び交付金	1 千円	福島県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金1	
				千円			
				千円			
				千円			
事業の目的	・戸籍届出等による身分変動を戸籍簿に記録し、身分関係の公証を行う。						
事業の概要	・戸籍届出等の受付・異動処理を行う。戸籍証明書等の公証を迅速に行うため、戸籍システムによる管理を行う。また、緊急時に備え、戸籍簿の副本データをLGWANを利用し、国の副本データ管理センターへ日々送信している。						
事業の効果	・戸籍のシステム化により、戸籍事務の正確化・効率化が図られ、窓口の待ち時間短縮など、住民サービスの向上に繋がる。また、戸籍簿の副本データを国のデータ管理センターに保管することにより、緊急時に備え、万全の体制が図られている。						
次年度以降の見込み	・システムを維持管理し、継続して戸籍事務を行う。						

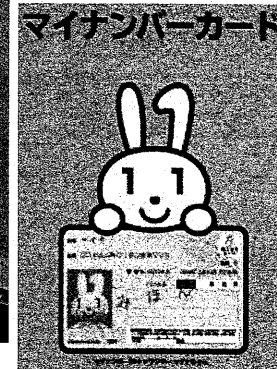
# 令和3年度「住民基本台帳事務」の概要

所管課名	税務住民課		所管係名	戸籍係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	162 千円	
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち。		増 減 額	28 千円	
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		比 率	17.3 %	
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	190 千円	0 千円	0 千円	0 千円	190 千円	0 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %
	特定財源の名称					●住民基本台帳関連手数料(19頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		2	総務費	10	需用費	190 千円	消耗品費32、印刷製本費(住民異動届書用紙等)158
				12	委託料	0 千円	※住民基本台帳及び印鑑登録システム機器保守(企画情報課)
		項	項名称	13	使用料及び賃借料	0 千円	※住民基本台帳及び印鑑登録システム機器使用料及び賃借料(企画情報課)
		3	戸籍住民基本台帳費			千円	
					千円		
目		目名称			千円		
1	戸籍住民基本台帳費			千円			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">                     予算書 53頁                 </div>							
事業の目的	・住民異動届による異動情報を住民基本台帳及び印鑑登録台帳に記録し、住民の居住関係を公証する。						
事業の概要	・住民の届出により住民基本台帳に居住関係を記録し公証する。住民基本台帳を基に個人の印鑑を登録し公証する。						
事業の効果	・住民基本台帳のシステム化により、事務処理の正確化・効率化が図られ、窓口の待ち時間短縮など、住民サービスの向上に繋がる。						
次年度以降の見込み	・システムを維持管理し、継続して住民基本台帳事務を行う。						



# 令和3年度「住民基本台帳ネットワーク事務」の概要

所管課名	税務住民課		所管係名	戸籍係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり			前年度当初予算額	10,127 千円				
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち			増 減 額	△ 828 千円				
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営			比 率	△ 8.2 %				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	9,299 千円	国庫支出金	6,248 千円	県支出金	0 千円		地方債	0 千円	その他	1,905 千円
	構成比	100.0 %	67.2 %	0.0 %	0.0 %	20.5 %	12.3 %				
	特定財源の名称		●個人番号カード交付事業費(20頁)●個人番号カード交付事務費(20頁)●中長期在留者届出事務(22頁)				●住民基本台帳関連手数料(19頁)●通知カード等再交付手数料(19頁)		-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		2	総務費	8	旅費	6 千円	普通旅費6				
				10	需用費	178 千円	消耗品費151、印刷製本費(マイナンバーカード送付用封筒)27				
3		戸籍住民基本台帳費	11	役務費	188 千円	郵便料(マイナンバーカード郵送代)188					
			12	委託料	1,747 千円	住民基本台帳ネットワーク機器保守1,710、裏書印字機器保守37					
			13	使用料及び賃借料	1,750 千円	住民基本台帳ネットワーク機器賃借料1,750					
目	目名称	18	負担金補助及び交付金	5,430 千円	個人番号カード関連事務の委任に係る事業交付金(J-LIS)5,430						
1	戸籍住民基本台帳費			千円							
						千円					
事業の目的	・住民基本台帳、戸籍届出等をもとに、「住民基本台帳ネットワーク」による全国市区町村への住民異動等の通知及び官公庁における本人確認情報の利用に供し、円滑な事務処理を行う。										
事業の概要	・市区町村の区域を越えた住民基本台帳事務処理及び国・地方を通じ、各種証明の基礎となる居住関係を公証する。社会保障・税番号制度によるマイナンバーの付番やマイナンバーカードの交付を行う。										
事業の効果	・市町村の区域を超えた住民基本台帳に関する事務処理や全国市町村における広域交付住民票の交付など、手続き時間の短縮が図られる。また、マイナンバー制度開始により、各種申請時に必要だった住民票等の添付が不要となるなど、申請手続きの負担が軽減される。										
次年度以降の見込み	・システムを維持管理し、継続して住民基本台帳ネットワーク事務を行う。										



# 令和3年度「中長期在留者居住地届出等事務」の概要

所管課名	税務住民課		所管係名	戸籍係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。						
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	4 千円					
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち		増 減 額	1 千円					
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		比 率	25.0 %					
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	5 千円	国庫支出金	5 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	0 千円
	構成比	100.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
	特定財源の名称		●中長期在留者届出等事務委託金(22頁)								-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		2	総務費	8	旅費	2 千円	普通旅費2				
10				需用費	3 千円	消耗品費3					
3		戸籍住民基本台帳費			千円						
					千円						
1		戸籍住民基本台帳費			千円						
				千円							
事業の目的	・在留外国人制度により外国人等の住所地を法務大臣に届出するため、外国人等が住所地の市区町村に居地情報を届出し、法務省連携システムにより市区町村から法務省に居住地情報等を送信する。										
事業の概要	・外国人等が住所地の市区町村に居住地情報を届出し、届出された居住地情報を法務省連携システムにより法務省に送る。市区町村では届出された居住情報により、在留カード等への記載し、住民基本台帳の作成、修正等を行う。										
事業の効果	・外国人等の居住地を届出され、連携システムによる法務省へのLGWAN経由での報告が行われる。外国人等の居住地の届出により、住民基本台帳の届出がされるため、住民票等の居住地を公証することができる。										
次年度以降の見込み	・出入国管理及び難民認定法(第19条の7、19条の8、第19条の9)、住民基本台帳法(第30条の45)に基づく届出等事務を継続して行う。										

## 令和3年度「自動車臨時運行許可事務」の概要


所管課名	税務住民課	所管係名	戸籍係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前年度当初予算額	36 千円		
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち		増 減 額	0 千円		
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営		比 率	0.0 %		
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 53頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			金額	36 千円	国庫支出金 0 千円	県支出金 0 千円		地方債 0 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	
	特定財源の名称					●臨時運行許可手数料 (19頁)		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	10	需用費	36 千円	印刷製本費(臨時運行許可申請書)36	
		項	項名称			千円		
		3	戸籍住民基本台帳費			千円		
		目	目名称			千円		
		1	戸籍住民基本台帳費			千円		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車運送車両法上の運行要件を満たしていない自動車の運行について、臨時運行許可番号標(仮ナンバー)の貸出を行う。</li> </ul>							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未登録自動車の検査、登録、販売、整備などの目的で、自動車の運行要件を満たしていない自動車の運行要件を具備するため、運行する必要があると認められる場合、臨時運行許可番号標を貸出する。</li> </ul>							
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行要件を具備していない自動車の運行を例外的に認め、自動車の運行要件を速やかに満たすため、臨時運行許可番号標及び許可証を発行する。</li> </ul>							
次年度以降の見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時運行許可番号標及び許可証の発行事務を継続して行う。</li> </ul>							



## 令和3年度「交通安全対策事業」の概要

所管課名	環境防災課	所管係名	環境防災係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり	前年度当初予算額	2,848 千円			
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまち	増 減 額	△ 66 千円			
	施 策 名	3	交通安全・防犯の推進	比 率	△ 2.3 %			
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	2,782 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	2,782 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	1	報酬	1,062 千円	交通教育専門員2人(会計年度任用職員報酬)	
				7	報償費	70 千円	新入生児ランドセルカバー19千円、交通安全標語コンクール37千円、記念品14千円	
				8	旅費	87 千円	各種会議、研修会等	
		項	項名称	10	需用費	226 千円	交通安全啓発用資材等消耗品216千円、対外交流費10千円	
11				役務費	119 千円	新聞広告料33千円、啓発用看板作製手数料86千円		
1		総務管理費	12	委託料	28 千円	県境キャンペーンバス代28千円		
			14	工事請負費	545 千円	カーブミラー設置等(約5箇所)		
目		目名称	18	負担金補助及び交付金	630 千円	各種団体負担金270千円、関係団体補助金360千円		
			19	扶助費	15 千円	交通遺児激励金15千円		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     予算書 42～44頁                 </div>	事業の目的		交通安全活動の推進により、安全で住みよい街づくりを目指す					
	事業の概要		①交通安全の啓発活動により、意識の高揚を図る。 ②関係団体等と連携し、交通安全の推進を図る。 ③カーブミラーの整備により、危険個所の整備を図る。					
	事業の効果		関係各所と連携し交通安全活動に推進してきた。危険個所等の情報共有を行い、啓発活動等を通して交通安全に寄与している。					
	次年度以降の見込み		交通事故を1件でも少なくするため、継続的な取り組みが不可欠である。令和元年12月13日に交通死亡事故が起きてしまったが、今後も継続的に交通安全に取り組んで参りたい。					
								

# 令和3年度「防犯活動事業」の概要

所管課名	環境防災課		所管係名	環境防災係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり			前年度当初予算額	7,284 千円				
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまち			増 減 額	150 千円				
	施 策 名	3	交通安全・防犯の推進			比 率	2.1 %				
予 算 額  予算書 42～44頁	総事業費		特定財源				一般財源				
			金額	7,434 千円	国庫支出金	0 千円		県支出金	0 千円	地方債	0 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
	特定財源の名称							-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		2	総務費	8	旅費	3 千円	各種会議				
				10	需用費	5,293 千円	懇親会等5千円、防犯灯電気料4,102千円、防犯灯修繕費1,186千円				
		1	総務管理費	12	委託料	695 千円	安全施設台帳管理システム保守695千円				
				14	工事請負費	1,212 千円	防犯灯新設・建替工事(約8箇所)				
				18	負担金補助及び交付金	231 千円	各種負担金156千円、防犯協会各支部補助金75千円(@15千円×5)				
目	目名称			千円							
6	交通安全対策費			千円							
事業の目的	防犯活動の推進により、安全で住みよい街づくりを目指す										
事業の概要	①防犯灯の設置、修繕及び維持管理 ②安全施設(防犯灯、カーブミラー、消防水利)台帳のシステムによる管理 ③防犯関係団体への負担金と補助金										
事業の効果	①防犯灯は、安全・安心な街づくりに大いに寄与している。 ②台帳のシステム化により、業務の効率化が図られている。 ③防犯活動の啓発等に、活用されている。										
次年度以降の見込み	安全・安心な街づくりに防犯活動は不可欠なもので、継続的な取り組みが必要である。										

## 平成3年度「町内会事業」の概要

所管課名	環境防災課	所管係名	環境防災係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の 位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前年度当初予算額	11,224 千円		
	政 策 名	1	力をあわせてつくるまち		増 減 額	1,467 千円		
	施 策 名	1	協働のまちづくりの推進		増 減 率	13.1 %		
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 44頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			金 額	12,691 千円	0 千円	0 千円		0 千円
	構 成 比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称							-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	7	報償費	12,176 千円	町内会長、班長報償	
				8	旅費	87 千円	特別旅費(町内会長連絡協議会視察研修旅行随付)	
		項	項名称	10	需用費	8 千円	会議費(町内会長会議時飲物代)	
		1	総務管理費	12	委託料	270 千円	町内会長研修業務委託料	
				18	負担金補助及び交付金	150 千円	町内会長連絡協議会運営補助、町内会掲示板等設置補助	
目		目名称			千円			
7	自治振興費			千円				
事業の目的	各種行政事務の円滑な実施のため、町内会長を置き、町内会長相互の親睦と地域住民との事務連絡を図るため町内会長連絡協議会を組織する。							
事業の概要	町内会長としての見識を高めるための視察研修の実施 協議会の運営補助、集会施設改修に対する補助							
事業の効果	町と住民の重要なパイプ役として、行政事務の円滑な進行が図られる。							
次年度以降の見込み	継続							



# 令和3年度「ごみ減量化対策事業」の概要

所管課名	環境防災課		所管係名	環境防災係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり			前年度当初予算額	1,937 千円	
	政 策 名	3	環境に優しいまち			増 減 額	△ 50 千円	
	施 策 名	1	循環・再生型社会の実現			比 率	△ 2.6 %	
予 算 額  予算書 77～78頁	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	1,887 千円		0 千円	0 千円	0 千円	90 千円	1,797 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	4.8 %	95.2 %
	特定財源の名称						●不燃物収集容器売却代(32頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	衛生費	7	報償費	1,200 千円	資源ごみ再生化促進事業(約70団体)	
				10	需用費	108 千円	クリーンボックス100千円、小型家電回収ポリ袋8千円	
		2	清掃費	12	委託料	400 千円	資源ごみ回収業務委託(雑誌・紙パック:4円/kg、段ボール3円/kg)	
				13	使用料及び賃借料	53 千円	使用済小型家電リサイクルボックスセンサーレンタル料53千円	
目		目名称	18	負担金補助及び交付金	126 千円	ごみ置場改修等補助(約30箇所)		
					千円			
3	ごみ減量化対策費			千円				
				千円				
事業の目的	家庭から排出されるごみの減量化とリサイクルの促進							
事業の概要	①家庭から排出されるごみの減量化とリサイクル促進のため、リサイクルの日(毎月1回)の資源ごみの分別収集、資源回収団体報奨金交付事業 ②ごみの分別収集に係る不燃物専用容器の購入と啓発用チラシの作成 ③ごみ置場の整備に係る補助事業							
事業の効果	①ごみの減量化及び資源化に大きく寄与している。 ②ごみの分別収集もかなり定着している。 ③ごみ置場の環境保持が図られている。							
次年度以降の見込み	環境問題の一環として、継続的な取り組みが不可欠である。							

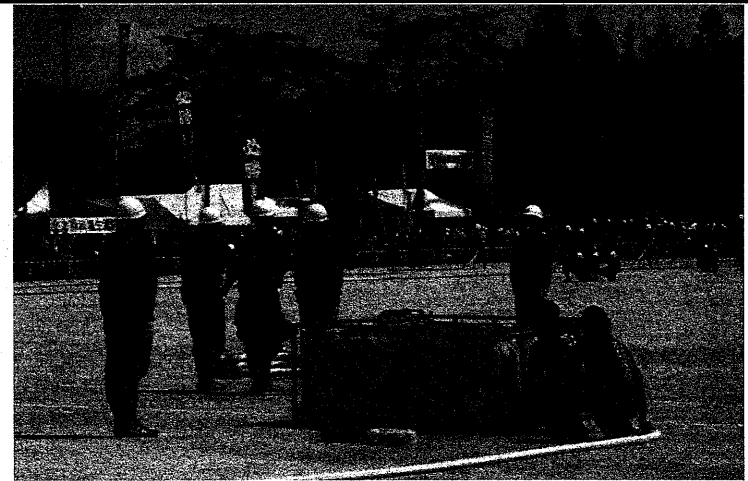


## 令和3年度「消防団運営事業」の概要


所管課名	環境防災課	所管係名	環境防災係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり	前年度当初予算額	23,222 千円						
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまち	増 減 額	△ 728 千円						
	施 策 名	2	消防・救急体制の充実	増 減 率	△ 3.1 %						
予 算 額  予算書 99～100頁	内 訳	総事業費		特定財源				一般財源			
		金 額	22,494 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	31 千円
	構 成 比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.1 %	99.9 %			
	特定財源の名称						●取扱事務経費/総務管理費委託金(32頁)		-		
	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
	9	消防費	1	報酬	10,089 千円	団員報酬(条例定数266名)					
			7	報償費	939 千円	団員報奨金(機関団員・訓練指導員・優良団員等)、分団報奨金					
	項	項名称	8	旅費	1,696 千円	費用弁償(定期点検等)、普通旅費、特別旅費					
	1	消防費	10	需用費	3,038 千円	消耗品(団員制服等)、式典費(定期点検、初午)					
			11	役務費	36 千円	手数料(クリーニング)					
目	目名称	12	委託料	38 千円	バス送迎委託(定期点検)						
2	非常備消防費	13	使用料及び賃借料	48 千円	自動車借り上げ						
		18	負担金補助及び交付金	6,610 千円	災害補償組合負担金等、女性防火クラブ補助						
事業の目的	国見町消防団の運営										
事業の概要	消防団の運営、活動に関する経費										
事業の効果	消防団活動の推進										
次年度以降の見込み	町民の生命、身体、財産を守るため、継続的な取り組みが必要である。										

# 令和3年度「福島県消防操法大会事業」の概要


所管課名	環境防災課		所管係名	環境防災係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり			前年度当初予算額	1,581 千円		
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまち			増 減 額	76 千円		
	施 策 名	2	消防・救急体制の充実			増 減 率	4.8 %		
予 算 額	金額	総事業費		特定財源				一般財源	
		国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	千円		その他
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	
	特定財源の名称		-						
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
		9	消防費	8	旅費	1,040 千円	選手費用弁償		
				10	需用費	463 千円	消耗品費、式典費		
項		項名称	12	委託料	154 千円	バス送迎委託			
1		消防費			千円				
					千円				
目	目名称			千円					
2	非常備消防費			千円					
				千円					
事業の目的	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から1年延期された第42回福島県消防操法大会に出場するもの。								
事業の概要	県及び県消防協会が主催する福島県消防操法大会へ出場するもの。国見町消防団の本大会への出場は6大会13年振りとなる。								
事業の効果	消防操法の基準(昭和47年5月11日消防庁告示第2号)に則り競技し、消防操法、消防訓練礼式の円熟をはかる。								
次年度以降の見込み	令和4年度の第43回大会には消防協会伊達支部管内より2枠の出場枠があり、伊達市、桑折町の2消防団が出場する。それ以降の出場団体は未定。								



## 令和3年度「消防施設整備事業(防火水槽、消火栓等)」の概要

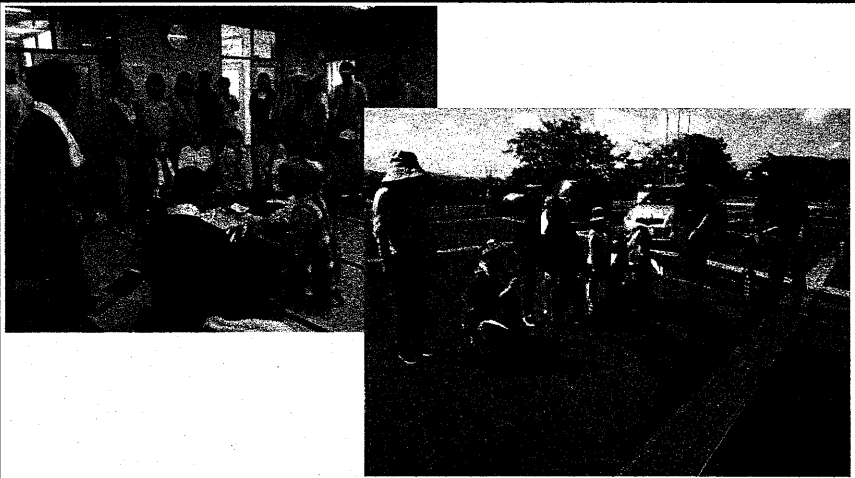
所管課名	環境防災課	所管係名	環境防災係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の 位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり		前年度当初予算額	10,820 千円		
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまち		増 減 額	△ 820 千円		
	施 策 名	2	消防・救急体制の充実		増 減 率	△ 7.6 %		
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 100頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			金額	10,000 千円	0 千円	0 千円	10,000 千円	0 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %
	特定財源の名称					●防火水槽設置事業債(33頁) ●消火栓等設置事業債(33頁)	-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		9	消防費	12	委託料	500 千円	防火水槽設置測量設計業務	
				14	工事請負費	8,000 千円	防火水槽設置工事	
		項	項名称	14	工事請負費	1,500 千円	消火栓等設置工事	
		1	消防費			千円		
						千円		
					千円			
目	目名称			千円				
3	消防施設費			千円				
				千円				
事業の目的	消防施設の整備							
事業の概要	消防水利の整備							
事業の効果	消防水利の確保							
次年度以降の見込み	町民の生命、身体、財産を守るため、消防施設の整備を行う必要がある。							

# 令和3年度「災害対策事業」の概要

所管課名	環境防災課		所管係名	環境防災係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり			前年度当初予算額	88,491 千円
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまち			増 減 額	△ 82,315 千円
	施 策 名	1	防災と災害時対策の充実			増 減 率	△ 93.0 %
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	6,176 千円	500 千円	0 千円	0 千円	0 千円	5,676 千円
	構成比	100.0 %	8.1 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	91.9 %
	特定財源の名称		●防災・安全交付金(21頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		9	消防費	1	報酬	65 千円	非常勤職員(防災会議、国民保護協議会)
				8	旅費	13 千円	普通旅費
		1	消防費	10	需用費	2,012 千円	消耗品、備蓄品、印刷製本費、燃料費、電気料、修繕料
				11	役務費	456 千円	通信運搬費、車検整備手数料、火災保険料、車両保険
5		災害対策費	12	委託料	1,635 千円	防災行政無線設備保守点検、戸別受信機設置	
			13	使用料及び賃借料	643 千円	飛沫感染防止車両リース料、電波使用料	
26		公課費	17	備品購入費	100 千円	災害対策用備品	
	18		負担金補助及び交付金	1,227 千円	県総合情報通信ネットワーク事業負担金等、各地区自主防災会連絡協議会補助		
26	公課費	25 千円	自動車重量税				
事業の目的	災害に対応するための経費						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線維持管理</li> <li>・県総合情報通信ネットワーク維持管理</li> <li>・各地区自主防災会連絡協議会補助金</li> <li>・防災マップ更新(新規)</li> </ul>						
事業の効果	災害対応機器の維持、自主防災会の育成を図る。						
次年度以降の見込み	町の防災体制を強固にし、維持していくために、継続した取り組みが必要である。						

予算書  
101~102頁

# 令和3年度「防災訓練事業」の概要

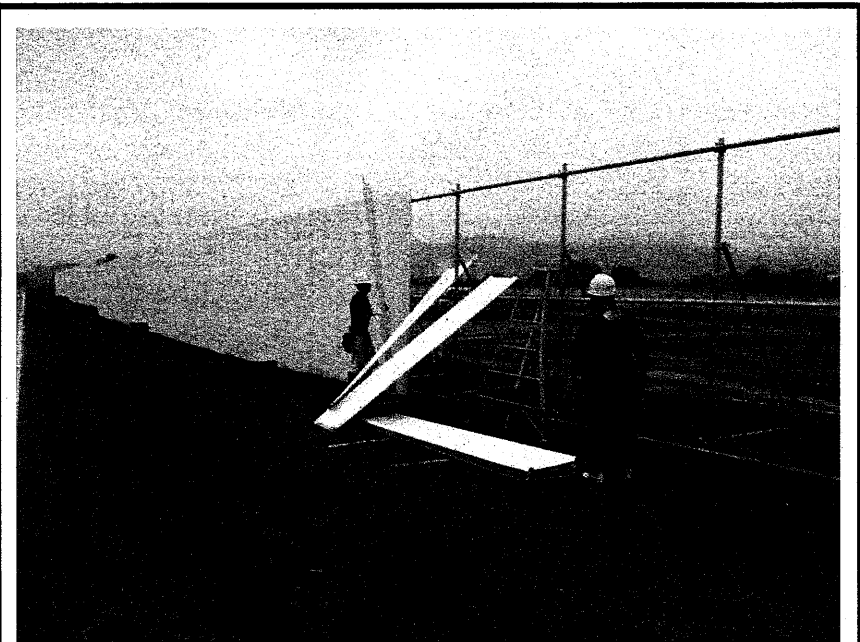
所管課名	環境防災課		所管係名	環境防災係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり			前年度当初予算額	242 千円	
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまち			増 減 額	0 千円	
	施 策 名	1	防災と災害時対策の充実			増 減 率	0.0 %	
予 算 額  予算書 101頁	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	242 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	242 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	
	特定財源の名称						-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		9	消防費	10	需用費	134 千円	訓練用資材	
				11	役務費	108 千円	消火器処分料	
		項	項名称			千円		
		1	消防費			千円		
					千円			
目		目名称			千円			
5	災害対策費			千円				
				千円				
事業の目的	大規模災害の発生に備え、国見町地域防災計画に定める防災訓練を実施する。							
事業の概要	町内各地区で地域の実情に応じた実践的な防災訓練を実施する。							
事業の効果	自助・共助の醸成に向けた、実践的な訓練を行うことにより、防災意識の高揚と、対応能力を高める。							
次年度以降の見込み	大震災以降、防災に対する関心が高まりを見せているため、継続した訓練の展開をする必要がある。							

# 令和3年度「除染対策事業」の概要

所管課名	環境防災課	所管係名	原発災害対策室	※構成比の不一致は端数整理によるものです。									
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり	前年度当初予算額	464,249 千円								
	政 策 名	3	環境に優しいまち	増 減 額	△ 64,548 千円								
	施 策 名	1	循環・再生型社会の実現	増 減 率	△ 13.9 %								
予 算 額	総事業費			特定財源									
	金 額	399,701 千円		国庫支出金	0 千円	県支出金	399,701 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	一般財源	0 千円
	構 成 比	100.0 %		0.0 %	100.0 %		0.0 %	0.0 %		0.0 %	0.0 %		
	特定財源の名称			●除染対策事業交付金 (25頁)				-					
	内 訳	2 総務費	1 総務管理費	1 一般管理費	4	共済費	360 千円	社会保険料 ※総務課配当					
		9 消防費	2 原発災害対策費	1 対策発災総務災害費	7	報償費	31 千円	町政アドバイザー報酬					
					8	旅費	12 千円	町政アドバイザー旅費					
					10	需用費	90 千円	町民会議関係事務用品、飲物代					
					1	報酬	1,911 千円	会計年度任用職員報酬 ※総務課配当					
					3	職員手当等	396 千円	会計年度任用職員期末手当 ※総務課配当					
8					旅費	175 千円	①会計年度任用職員費用弁償 62千円 ※総務課配当 ②各種会議等旅費 113千円						
10					需用費	3,030 千円	①パフォーマンスチャージ、コピー用紙 1,120千円 ※総務課配当 ②事務用品、トナー、燃料代 1,910千円						
11					役務費	532 千円	①電話料、郵便料 300千円 ※総務課配当 ②測定機器校正手数料、損害共済分担金等 232千円						
12					委託料	197,289 千円	仮置場 ①管理業務 2,000千円 ②点検業務 9,000千円 ③復旧測量設計業務 45,000千円 ④境界復元測量業務 10,000千円 ⑤仮置場残置物撤去業務 106,000千円 その他 ①継続モニタリング 3,377千円 ②発注者支援業務委託及びシステム保守等 21,912千円						
13	使用料及び賃借料				13,875 千円	①コピー機借上 580千円 ※総務課配当 ②用地賃借料、積算システム機借上、公用車リース 13,295千円							
14	工事請負費	182,000 千円	①補修工事 2,000千円 ②施設撤去工事 125,000千円 ③本復旧工事 55,000千円										

予算書  
102~104頁

事業の目的	原発事故由来の放射性物質による環境汚染が、町民の健康又は生活環境に及ぼす影響について低減することを目的とする。
事業の概要	<p>仮置場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①管理及び点検業務 4箇所</li> <li>②仮置場原形復旧測量設計 4箇所</li> <li>③仮置場境界復元測量 3箇所</li> <li>④仮置場残置物撤去業務 3箇所</li> <li>⑤仮置場原形回復(施設撤去)工事 3箇所</li> <li>⑥仮置場原状回復(本復旧)工事 3箇所</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①継続モニタリング 181区画+64町内会</li> </ul> <p>※R1返地 : 藤田方部1号、大枝方部1号  R2返地 : 小坂方部1号、森江野方部1号  R3返地予定: 藤田方部2号、藤田方部3号、小坂方部2号、大木戸方部2号  R4返地予定: 藤田方部4号、森江野方部2号、大木戸方部3号</p>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>①仮置場を適正に管理することにより、周辺住民等の不安を解消する。</li> <li>②除染の効果が維持されていることを確認することにより、周辺住民等の不安を解消する。</li> <li>③仮置場の解消により、周辺住民等の不安を解消する。</li> </ul>
次年度以降の見込み	残るすべての仮置場の原形復旧、返地を行い、事業完了を目指す。



藤田方部3号仮置場原状回復(施設撤去)工事



# 令和3年度「放射能検査事業」の概要

所管課名	環境防災課		所管係名	原発災害対策室		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり			前年度当初予算額	4,258 千円	
	政 策 名	3	環境に優しいまち			増 減 額	48 千円	
	施 策 名	1	循環・再生型社会の実現			増 減 率	1.1 %	
予 算 額  予算書 103~104頁	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	4,306 千円		4,306 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	構成比	100.0 %		100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
	特定財源の名称		●福島再生加速化交付金(21頁)					
	内 訳	款	款名称		節	節名称	予算額	明 細
		2総務費	1総務管理費	1一般管理費	4	共済費	359 千円	社会保険料 ※総務課配当
		9 消防費	2 原発災害対策費	2 原発災害対策費	1	報酬	1,884 千円	会計年度任用職員報酬 ※総務課配当
					3	職員手当等	391 千円	会計年度任用職員期末手当 ※総務課配当
					8	旅費	62 千円	会計年度任用職員費用弁償 ※総務課配当
10					需用費	400 千円	検査用消耗品	
11					役務費	1,210 千円	個人線量管理・線量低減活動支援事業 放射能簡易分析器校正手数料	
								千円
					千円			
事業の目的		自家消費野菜等の放射性物質測定、個人線量計の貸出し、公共施設等のモニタリングを行い、放射能汚染に関する住民の不安を解消する。						
事業の概要		自家消費野菜等の放射性物質測定 …放射能簡易分析器6台 役場検査室他2箇所 空間線量率測定…公共施設11箇所、農地12箇所、森林26箇所						
事業の効果		安心・安全な生活環境の確保と放射性物質に対する不安を解消する。						
次年度以降の見込み		継続して取り組みを進める。						




自家消費野菜等放射能測定

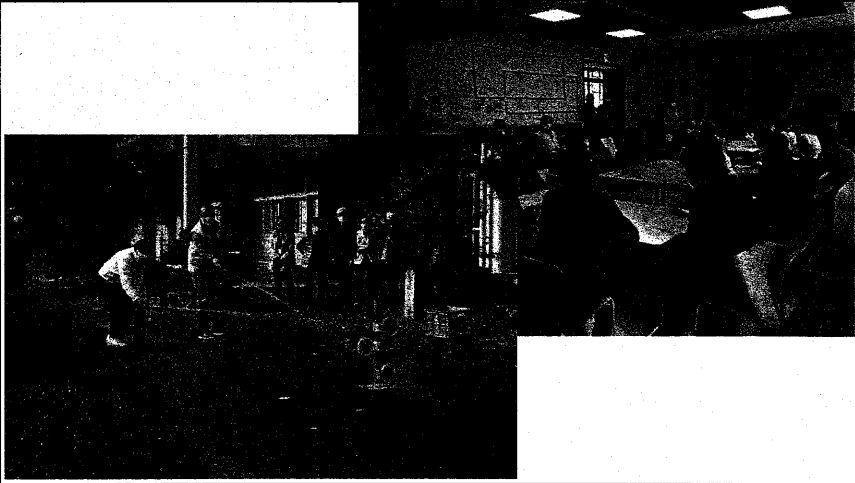


空間線量率測定

# 令和3年度「若者交流事業」の概要

所管課名	保健福祉課		所管係名	社会福祉係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	188 千円
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち			増 減 額	80 千円
	施 策 名	1	子育て支援の推進			比 率	42.6 %
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	268 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	268 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">                     予算書 57～59頁                 </div>	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額
3			民生費	7	報償費	90 千円	結婚世話やき人への謝礼、研修講師謝礼
				10	需用費	161 千円	消耗品費、印刷製本費
項			項名称	13	使用料及び賃借料	17 千円	会場使用料(道の駅)
1			社会福祉費			千円	
						千円	
目			目名称			千円	
1	社会福祉総務費			千円			
事業の目的	結婚世話やき人制度を活用し、結婚したい独身男女の出会い・交流の機会を創出することにより、町内外の若者の交流活性化を促す。						
事業の概要	結婚世話やき人の研修会・情報交換会を開催し、スキルアップを図るとともに、若者が出会い、交流することのできる機会(イベント)や相談の場を創出する。						
事業の効果	結婚世話やき人の町内外への情報発信(独身男女の出会いの場・相談の場の提供)により、国見への交流人口・定住人口の増加が図られる。						
次年度以降の見込み	継続予定						

## 令和3年度「国見町小坂くらし館(こさかふるさと館)運営事業」の概要

所管課名	保健福祉課	所管係名	長寿介護係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり	前年度当初予算額	1,277 千円			
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち	増 減 額	20 千円			
	施 策 名	1	高齢者の日常生活支援	増 減 率	1.6 %			
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 58～59頁</div>	総事業費		特定財源				一般財源	
			金額	1,297 千円	国庫支出金 0 千円	県支出金 0 千円		地方債 0 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		3	民生費	10	需用費	488 千円	消耗品費、光熱水費、修繕費	
				11	役務費	140 千円	電話料、浄化槽法定検査、火災保険料	
		項	項名称	12	委託料	669 千円	消防設備保守点検、浄化槽管理、施設警備、自動ドア保守点検、施設管理	
		1	社会福祉費			千円		
						千円		
目	目名称			千円				
1	社会福祉総務費			千円				
				千円				
事業の目的	こさかふるさと館(旧小坂小学校)を活用し、高齢者の介護予防事業の拠点として、また、子供から高齢者まで多世代にわたり利用可能な交流施設として活用する。							
事業の概要	こさかふるさと館の維持管理に係る経費							
事業の効果	こさかふるさと館を拠点として、高齢者の介護予防教室等の会場、小坂地区の交流の場として活用されている。令和2年12月末現在 月平均5.1日利用 利用者数496人 (緊急事態宣言による休館4/9～5/31)							
次年度以降の見込み	継続して維持管理を行う。							

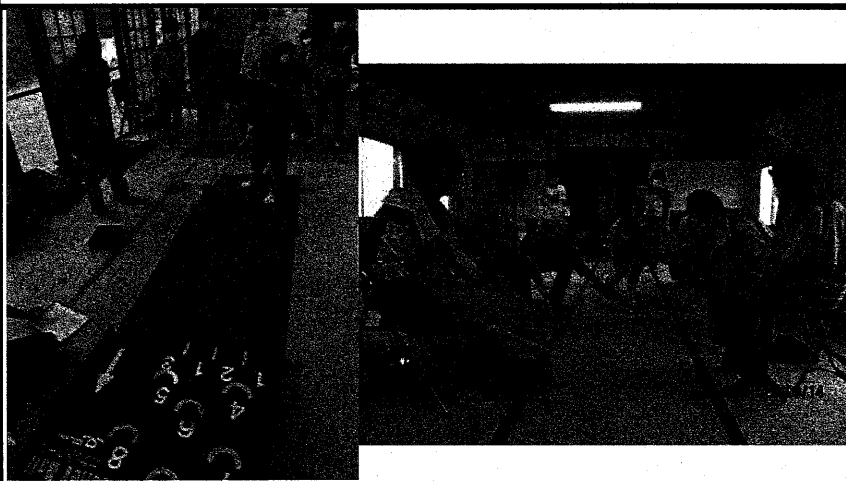
## 令和3年度「生きがい対応型デイサービス事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	保健福祉課	所管係名	長寿介護係					
総合計画上の 位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり	前年度当初予算額	5,966 千円			
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち	増 減 額	△ 46 千円			
	施 策 名	1	高齢者の日常生活支援	増 減 率	△ 0.8 %			
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 60～61頁</div>	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	5,920 千円		0 千円	0 千円	0 千円	975 千円	4,945 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	16.5 %	83.5 %
	特定財源の名称						●生きがいデイサービス 利用者負担分(31頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		3	民生費	12	委託料	4,640 千円	社会福祉協議会委託(生活指導員、臨時看護師)3,665千円、給食委託975千円	
				13	使用料及び賃借料	1,280 千円	送迎車(まちなかタクシー)	
		項	項名称			千円		
		1	社会福祉費			千円		
	目	目名称			千円			
	2	老人福祉費			千円			
事業の目的	在宅の高齢者に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、高齢者の心身機能の維持向上等を図り、健康でいきいきと日常生活を営むことができるよう支援することを目的とする。							
事業の概要	概ね65歳以上の介護保険認定を受けていない方々を対象に、月に3回程度、日帰りで、給食、健康チェック、趣味活動などの各種サービスを楽しむことができるよう支援する通所サービス。1回500円(昼食代相当)の自己負担あり。							
事業の効果	令和2年12月末で68人が登録し、月3回のデイサービスを利用 【令和2年12月実績 月延べ利用人数 135人 1日平均 7.5人】							
次年度以降の見込み	継続実施、事業のPRをして利用者の増を図る。							

# 令和3年度「高齢者いきいきサロン交流事業」の概要

所管課名	保健福祉課		所管係名	長寿介護係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり			前年度当初予算額	3,746 千円
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			増 減 額	66 千円
	施 策 名	1	高齢者の日常生活支援			増 減 率	1.8 %
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	3,812 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	3,812 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		3	民生費	7	報償費	100 千円	いきいきサロン講師謝金
11				役務費	130 千円	いきいきサロン講師派遣手数料	
項		項名称	12	委託料	3,582 千円	社会福祉協議会委託(生活指導員、臨時看護師ほか)	
1		社会福祉費			千円		
					千円		
目	目名称			千円			
2	老人福祉費			千円			
				千円			
事業の目的	高齢者の閉じこもり防止や、高齢者の社会的孤立を解消し、その生きがいがづくりや健康増進に寄与することを目的とする。						
事業の概要	高齢化社会を迎え、高齢者の認知症や寝たきりのきっかけとなる家への閉じこもり等を防ぐために、地区集会所等を利用して、健康増進、健康相談、健康チェック、趣味活動、各種講演会、ゲーム、レクリエーションを実施して高齢者の仲間づくり及び社会参加を促進する。						
事業の効果	歩いて行ける場所での開催のため、高齢者でも安心して参加することができている。月1回の開催のため、参加者、協力者の負担にならないため、毎月楽しみに参加していただいている。 【令和2年12月末 町内24か所で開催 月延べ参加者 214人 協力者 61人】						
次年度以降の見込み	継続実施。男性も参加しやすい内容の工夫が必要。						



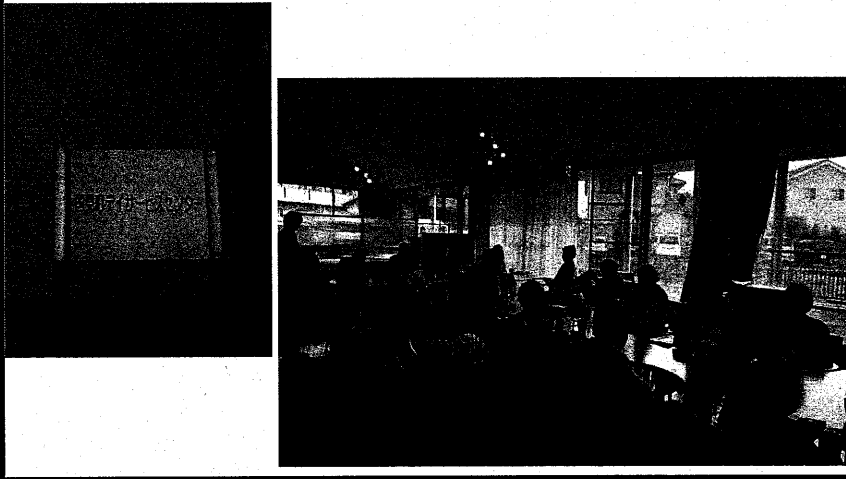
## 令和3年度「敬老会事業」の概要

所管課名	保健福祉課	所管係名	長寿介護係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の 位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり	前年度当初予算額	7,403 千円						
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち	増 減 額	△ 1,495 千円						
	施 策 名	1	高齢者の日常生活支援	増 減 率	△ 20.2 %						
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 60～61頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	5,908 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	5,908 千円
	構成比	100.0 %	国庫支出金	0.0 %	県支出金	0.0 %	地方債	0.0 %	その他	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-				
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		3	民生費	7	報償費	4,929 千円	敬老会町記念品2,279千円、敬老祝金2,650千円				
				10	需用費	855 千円	敬老会赤飯等647千円、消耗品53千円、印刷製本155千円				
		項	項名称	12	委託料	124 千円	敬老会送迎バス				
		1	社会福祉費			千円					
		目	目名称			千円					
2		老人福祉費			千円						
事業の目的	多年にわたって社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに高齢者が健康を守り、生きる意欲を高め、健康で生きがいのある社会が築かれるよう敬老会を開催するとともに、敬老祝金を支給する。										
事業の概要	75歳以上の高齢者を対象に、町内3か所で敬老会(式典及びアトラクション)を開催し、小坂地区、石母田地区、大木戸地区は会場へのバス送迎をする。 敬老祝金は90歳10,000円、99歳50,000円、100歳200,000円(施設入所者50,000円)支給。										
事業の効果	敬老会を通して、高齢者が地域の人から祝福され、新たな生きがいを見出し、生きる意欲につなげることができる。 【令和2年度敬老会 対象者1,830人 ※新型コロナにより中止】										
次年度以降の見込み	敬老会は継続実施、敬老祝金は見直し後の内容で継続実施する。										

# 令和3年度「障がい者福祉事業」の概要

所管課名	保健福祉課		所管係名	社会福祉係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり			前年度当初予算額	211,616 千円	
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			増 減 額	11,730 千円	
	施 策 名	3	障がい者の自立支援			比 率	5.5 %	
予 算 額  予算書 62～64頁	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	223,346 千円	94,129 千円	56,826 千円	0 千円	3,776 千円	68,615 千円	
	構成比	100.0 %	42.1 %	25.4 %	0.0 %	1.7 %	30.7 %	
	特定財源の名称		●更生医療(19頁) ●障害者自立支援(19頁) ●育成医療(20頁) ●地域生活支援(20頁)		●障害者自立(23頁) ●重度心身障害(23頁) ●地域生活支援(23頁) ●軽度・中等度(23頁)		●重度医療高額分(33頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		3	民生費	7	報償費	252 千円	障害者支援区分認定審査会委員報償	
				8	旅費	11 千円	審査会委員交通費、旅費	
		1	社会福祉費	10	需用費	84 千円	消耗品費、印刷製本費	
				11	役務費	675 千円	主治医意見書作成料、国保連事務手数料、成年後見制度手数料	
目		目名称	12	委託料	2,316 千円	相談支援、基幹相談支援・虐待防止センター、点字・声の広報等発行事業ほか		
			18	負担金補助及び交付金	199 千円	各種負担金、補助金		
3		障がい者福祉費	19	扶助費	219,478 千円	障がい者福祉サービス等(重度医療費、介護給付費、地域生活支援事業ほか)		
	22		償還金利子及び割引料	331 千円	前年度高額合算等精算による償還金			
事業の目的	障がいのある方が、安心して自立した生活を送ることができるよう、各種障がい福祉サービスの提供や助成を行う。							
事業の概要	障害者総合支援法に基づく福祉サービスの提供、医療費等の給付(重度心身障がい者医療費、人工透析患者通院費、在宅重度障がい者対策事業、更生医療給付費、補装具給付費、福祉タクシー助成事業、介護給付費、訓練給付費、地域生活支援事業、障がい者通所交通費助成事業、在宅酸素濃縮器利用助成事業、計画相談支援給付費、育成医療給付費、軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業)手帳所持者(身体 334、精神 63、療育 72)※R3.1.31現在							
事業の効果	障がい者の日常生活を支援することで、地域社会において安心して生活を送ることができるようになる。							
次年度以降の見込み	継続実施。 重度心身障がい者医療費にかかる町単独分の見直し検討。							

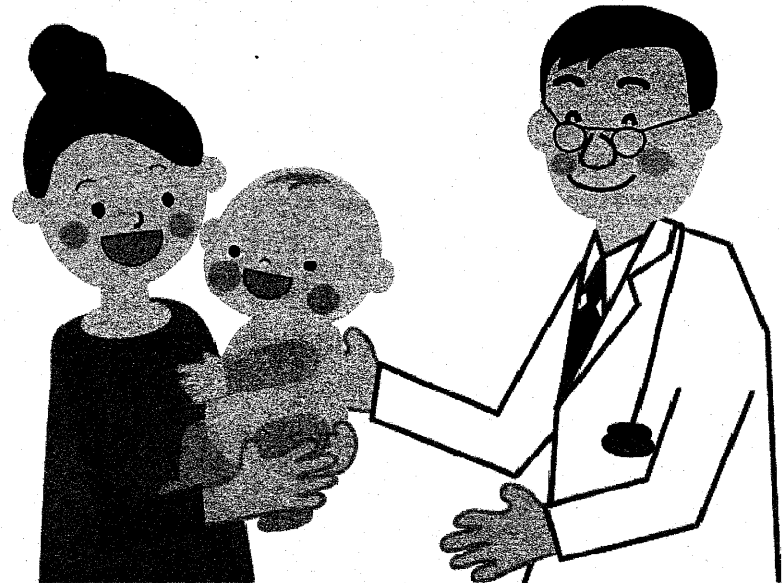
## 令和3年度「デイサービスセンター事業」の概要

所管課名	保健福祉課	所管係名	長寿介護係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり	前年度当初予算額	8,938 千円			
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち	増 減 額	4,846 千円			
	施 策 名	2	介護予防・支援の推進	増 減 率	54.2 %			
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 64～65頁</div>	総事業費		特定財源				一般財源	
			金額	13,784 千円	国庫支出金 0 千円	県支出金 0 千円		地方債 0 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	50.0 %	50.0 %
	特定財源の名称						●デイサービスセンター 事業収入(31頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		3	民生費	10	需用費	6,296 千円	光熱水費、修繕費	
				11	役務費	182 千円	手数料、建物火災共済	
		1	社会福祉費	12	委託料	956 千円	各種保守管理委託	
				17	備品購入費	6,350 千円	浴室機械浴購入	
		目	目名称			千円		
4		高齢者福祉施設費			千円			
				千円				
事業の目的	通所介護事業を行う国見町デイサービスセンターの維持管理に関する事業。 燃料費、光熱水費、建物火災共済、各種保守管理委託等について予算措置するもの。							
事業の概要	国見町デイサービスセンターの維持管理を指定管理者である国見町社会福祉協議会が行っている。同施設の維持管理費を町が予算措置し、年度末に町から国見町社会福祉協議会に請求する。ただし、10万円以上の経年劣化に伴う施設修繕については、町が負担する。							
事業の効果	令和2年12月の利用者数(延べ人数)587人(一般型417人、認知症型170人)1日当たり利用者数は、24.5人							
次年度以降の見込み	継続実施。							



# 令和3年度「子ども医療費事業」の概要

所管課名	保健福祉課		所管係名	国保係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前年度当初予算額	38,930 千円	
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち		増 減 額	0 千円	
	施 策 名	1	子育て支援の推進		比 率	0.0 %	
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	38,930 千円	0 千円	21,258 千円	0 千円	0 千円	17,672 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	54.6 %	0.0 %	0.0 %	45.4 %
	特定財源の名称		●乳幼児医療費(23頁) ●子ども医療費(24頁)				-
予算書 65～66頁	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		3	民生費	12	委託料	1,003 千円	子ども医療費取扱手数料
		項	項名称	19	扶助費	32,599 千円	子ども医療費助成(社保)
		2	児童福祉費	27	繰出金	5,328 千円	子ども医療費助成分国保繰出金
		目	目名称			千円	
		1	児童福祉総務費			千円	
事業の目的	子どもの医療費の一部を助成することにより、その疾病又は負傷の治療を促進し、子育て家庭の負担の軽減と子どもの健やかな成長に寄与することを目的とする。						
事業の概要	健康保険に加入している子ども(出生から満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者で国見町に住所を有する者)の保護者等に、子どもの疾病または負傷について、医療機関等で支払った医療費の自己負担額を限度として助成する。 県補助事業 就学前(0歳～6歳) 自己負担額×50%(対象:前年所得622万円未満) 小学校4年生～高校3年生(9歳～18歳) 自己負担額×100% 町単独事業 就学前(0歳～6歳) 自己負担額×50% 小学校1年生～小学校3年生(6歳～8歳)						
事業の効果	令和2年度 助成見込 ※市町村支出分 件数 13,044件 (乳幼児4,928件、子ども 8,116件) 金額 26,578千円(乳幼児8,060千円、子ども18,518千円)						
次年度以降の見込み	継続実施						

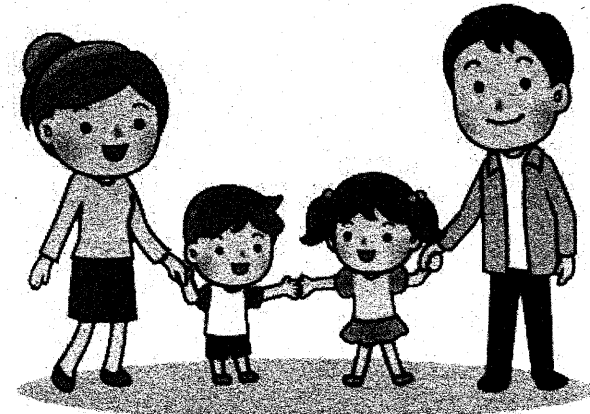


# 令和3年度「子育て世代包括支援センター事業」の概要

所管課名	保健福祉課		所管係名	保健係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。						
総合計画上の位置付け	目標	3	未来へつなげるまちづくり		前年度当初予算額	309 千円					
	政策名	1	安心して子どもを産み育てられるまち		増減額	3,315 千円					
	施策名	1	子育て支援の推進		増減率	1,072.8 %					
予算額	総事業費		特定財源			一般財源					
	金額	3,624 千円	国庫支出金	159 千円	県支出金	112 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	3,353 千円
	構成比	100.0 %	4.4 %	3.1 %	0.0 %	0.0 %	92.5 %				
	特定財源の名称		●地域の子ども・子育て支援事業交付金(20頁) ●母子保健衛生費(21頁)			●地域の子ども・子育て支援事業交付金(24頁) ●子育て世代包括支援センター機能充実(24頁)			-		
	内訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明細				
		4	衛生費	7	報償費	100 千円	講師謝礼(ニコニコ相談会、ママカフェ、職員研修(イハナ会))				
				8	旅費	47 千円	講師費用弁償(ニコニコ相談会、ママカフェ、職員研修(イハナ会))				
項		項名称	10	需用費	477 千円	消耗品費(妊婦訪問啓発物品、子育てパンフレット等)、印刷製本費(ももさぼ周知)					
1		保健衛生費	18	負担金補助及び交付金	3,000 千円	すくすくももさぼ祝金※新生児誕生祝金					
					千円						
	目	目名称			千円						
	1	保健衛生総務費			千円						
予算書 71~73頁					千円						
事業の目的	妊娠期から子育て期にわたるまでの出産や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため令和元年10月に「子育て世代包括支援センター『ももさぼ』」を設置し、保健師等が専門的な見地から相談支援等を行い、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行う。										
事業の概要	①妊産婦等の支援に必要な実情の把握(ニコニコ相談会、ママカフェ等) ②妊娠、出産、育児に関する相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導(妊婦訪問、赤ちゃん訪問、ももさぼ相談一む等) ③対象者のニーズに沿った支援プランの立案 ④保健医療または福祉の関係機関との連絡調整 ⑤母子保健事業(乳幼児健診等) ⑥子育て支援事業(幼児教育課と連携して実施)。										
事業の効果	ニコニコ相談会、ママカフェをはじめ、妊婦・赤ちゃん訪問や個別相談(ももさぼ相談一む)等により、妊産婦、子育て家庭の個別ニーズを把握することで、「よりそう(相談)」、「ささえる(支援)」、「みまもる(連携)」きめ細かな支援を提供できる。										
次年度以降の見込み	継続実施										

# 令和3年度「児童福祉事業」の概要

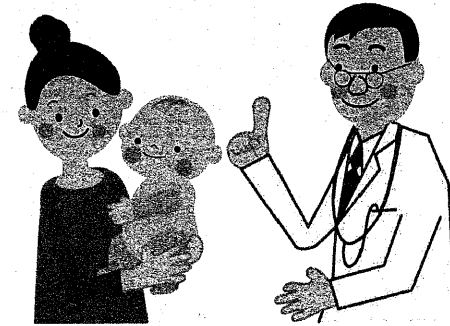
所管課名	保健福祉課		所管係名	社会福祉係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	109,608 千円
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち			増 減 額	△ 9,952 千円
	施 策 名	1	子育て支援の推進			比 率	△ 9.1 %
予 算 額  予算書 65～66頁	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金額	99,656 千円	63,493 千円	17,941 千円	0 千円	0 千円	18,222 千円
	構成比	100.0 %	63.7 %	18.0 %	0.0 %	0.0 %	18.3 %
	特定財源の名称		●児童手当交付金(20頁)	●児童手当負担金(23頁)			
			●障害児施設措置費(20頁)	●障害児施設措置費(23頁)			
			●特別児童扶養手当(22頁)	●ひとり親家庭医療費(23頁)			-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	3	民生費	10	需用費	38 千円	印刷製本費	
			11	役務費	45 千円	国保連事務手数料	
	2	児童福祉費	19	扶助費	234 千円	就学遺児激励金	
			19	扶助費	1,800 千円	ひとり親家庭医療費助成	
	目	目名称	19	扶助費	78,450 千円	児童手当	
			19	扶助費	18,007 千円	障害児通所給付費	
1	児童福祉総務費	19	扶助費	1,082 千円	障害児計画相談支援給付費		
					千円		
事業の目的	各種児童福祉サービスの提供、手当の支給、医療費助成等を行うことにより、子どもが安心して健全な生活を送ることができるよう支援する。						
事業の概要	就学遺児激励金(図書カード3,000円)、ひとり親医療費助成(月1,000円を超える額)、児童手当の支給、障がい児福祉サービスの提供を行う。						
事業の効果	子どもの日常生活を支援することで、地域社会において安心した生活を送ることができるようになる。						
次年度以降の見込み	継続実施。						



# 令和3年度「母子保健事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

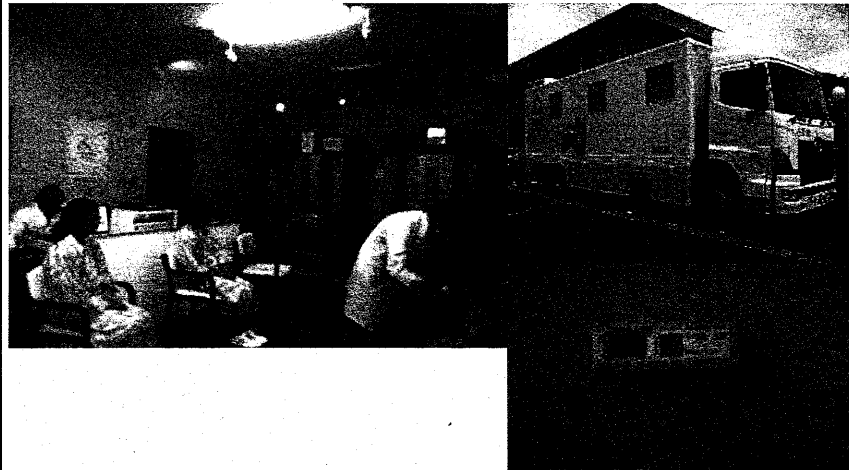
所管課名	保健福祉課		所管係名	保健係							
総合計画上の位置付け	目標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	7,417 千円				
	政策名	1	安心して子どもを産み育てられるまち			増減額	1,684 千円				
	施策名	1	子育て支援の推進			増減率	22.7 %				
予算額	総事業費		特定財源				一般財源				
	金額	9,101 千円	国庫支出金	475 千円	県支出金	87 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	8,539 千円
	構成比	100.0 %		5.2 %		1.0 %		0.0 %		0.0 %	93.8 %
	特定財源の名称		●養育医療給付費(20頁) ●妊娠・出産包括支援(21頁) ●産婦健康診査(21頁) ●児童虐待・DV対策(21頁)		●養育医療給付費(23頁)						-
	内訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明細				
		4	衛生費	7	報償費	779 千円	乳幼児健診報償739千円、総合支援専門委員40千円				
8				旅費	100 千円	費用弁償(乳幼児健診49千円、専門委員43千円)、普通旅費(専門委員8千円)					
項		項名称	10	需用費	72 千円	消耗品費(母子手帳、乳幼児健診関係)					
1		保健衛生費	11	役務費	538 千円	健診医師派遣手数料495千円、審査手数料40千円(妊産婦健診・養育医療)、計量器検査3千円					
			12	委託料	6,707 千円	妊婦健診5,970千円、乳幼児健診191千円、産後ケア101千円、聴力・尿97千円、聴覚348千円					
目	目名称	17	備品購入費	97 千円	乳幼児健診用体重計1台						
1	保健衛生総務費	19	扶助費	808 千円	妊産婦一般健診149千円、養育医療給付費350千円、新生児聴覚検査9千円、不妊治療300千円						
						千円					
事業の目的		一貫した母子保健事業の実施により健やかな子どもの成長を促進する。									
事業の概要		①母子健康手帳交付(妊娠届受付) ②妊婦健康診査(妊婦16回分+産後1回公費負担) ③乳幼児健診・相談等(乳児股関節検診、3・9か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診、思春期体験講座等) ④養育医療給付事業(未熟児の入院医療費公費助成) ⑤産後ケア(宿泊・日帰り) ⑥子ども家庭総合支援拠点事業 ⑦不妊治療助成事業									
事業の効果		①母子の一貫した健康管理に役立てる。②健やかな妊娠・出産につなげる。③乳幼児の心身の健康管理、育児支援 ④未熟児(2,000g以下等)の健全な発育 ⑤産婦への母乳育児支援、心身のケア ⑥子ども家庭支援全般に係る業務の総合調整を担う「子ども家庭総合支援拠点」設置。⑦不妊治療を行う夫婦の経済的負担を軽減するため治療の一部助成。									
次年度以降の見込み		継続実施									



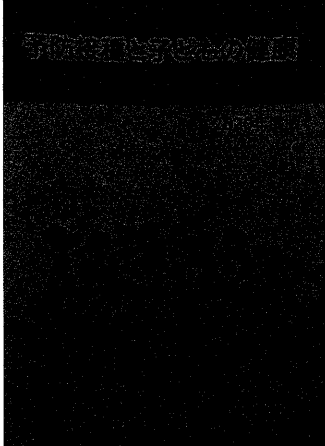
# 令和3年度「減塩対策事業」の概要

所管課名	保健福祉課		所管係名	保健係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり			前年度当初予算額	1,439 千円
	政策名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			増減額	1,831 千円
	施策名	2	健康づくりの推進			増減率	127.2 %
予算額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金額	3,270 千円	0 千円	2,452 千円	0 千円	0 千円	818 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	75.0 %	0.0 %	0.0 %	25.0 %
	特定財源の名称		●地域創生総合支援事業(24頁)				-
	内訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明細
		4	衛生費	10	需用費	651 千円	印刷製本費531千円(チラシ等)、賄材料費120千円(料理教室)
			11	役務費	252 千円	減塩アンケート返信用郵便料	
項		項名称	12	委託料	2,367 千円	減塩料理教室783千円、尿中塩分測定99千円、調査集計分析1,485千円	
1		保健衛生費			千円		
					千円		
	目	目名称			千円		
	2	予防費			千円		
事業の目的	町では、特定健診において高血圧症及び血糖関連項目の有所見率が高く、生活習慣病の増加が懸念される状況である。高血圧及び脳・心臓・腎臓の疾病予防のために、減塩の必要性や減塩方法についての普及に向けた取り組みを行うことで、継続的な食生活改善を図り、健康寿命の延伸を目指す。						
事業の概要	①減塩料理教室 ②減塩カレンダー作成及び減塩啓発PR、調査集計分析業務						
事業の効果	①実際に講師の指導のもと減塩料理を作ることで、美味しく無理なく減塩する調理方法を学ぶことができる。 ②減塩レシピを紹介したカレンダーを作成、また様々な機会でもパンフレットを活用し、減塩啓発活動をすることで、町民の減塩意識の向上や減塩習慣の定着化につながる。						
次年度以降の見込み	継続実施。						

# 令和3年度「放射線対策健康管理事業」の概要

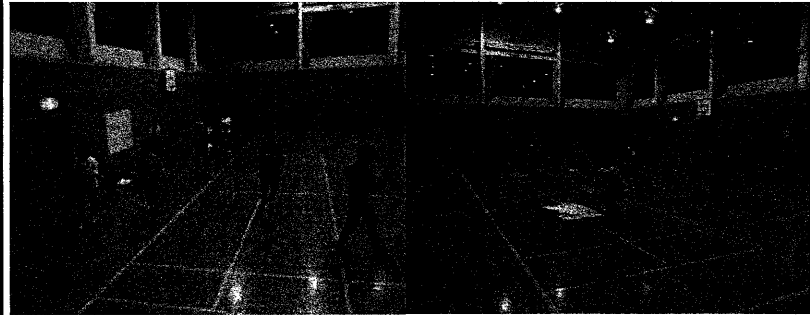
所管課名	保健福祉課		所管係名	保健係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり			前年度当初予算額	4,688 千円
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			増 減 額	△ 2,741 千円
	施 策 名	2	健康づくりの推進			増 減 率	△ 58.5 %
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	1,947 千円	1,656 千円	288 千円	0 千円	0 千円	3 千円
	構成比	100.0 %	85.1 %	14.8 %	0.0 %	0.0 %	0.2 %
	特定財源の名称		●福島再生加速化交付金(21頁)	●放射線健康対策事業(24頁)			-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
4		衛生費	10	消耗品費	1 千円	長3封筒(同意書返信用)	
			11	役務費	66 千円	ガラスバッジ関係郵便料 ※2-1-2文書広報費(総務課配当)	
項		項名称	12	委託料	1,880 千円	ガラスバッジ223千円、健診付加検査1,657千円	
1		保健衛生費			千円		
					千円		
目		目名称			千円		
1	保健衛生総務費			千円			
予算書 72頁					千円		
事業の目的	原発事故に伴う町民の健康不安解消と、長期的に町民の健康を見守り安心・安全と将来への健康維持、増進につなげる。						
事業の概要	①ガラスバッジによる外部被ばく検査 ②ホールボディカウンタ(WBC)による内部被ばく施設検査(検査費用は県負担) ③健診受診者への検査項目追加実施(血液検査)						
事業の効果	①②放射線に関する各検査環境を整え、数値による現状の確認により健康不安の解消につなげる。 ①～③検査データを蓄積し継続的健康管理、さらに健康維持、増進につなげる。						
次年度以降の見込み	継続実施						

# 令和3年度「予防接種事業」の概要

所管課名	保健福祉課		所管係名	保健係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり			前年度当初予算額	22,948 千円
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			増 減 額	3,809 千円
	施 策 名	2	健康づくりの推進			増 減 率	16.6 %
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	26,757 千円	507 千円	117 千円	0 千円	0 千円	26,133 千円
	構成比	100.0 %	1.9 %	0.4 %	0.0 %	0.0 %	97.7 %
	特定財源の名称		●風しん対策助成事業 (21頁)	●風しん対策助成事業 (24頁)			-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
4		衛生費	10	需用費	101 千円	消耗品費32千円、印刷製本費69千円	
			11	役務費	67 千円	風しんクーポン券郵便料	
1		保健衛生費	12	委託料	26,456 千円	各種予防接種委託料	
			19	扶助費	133 千円	任意予防接種の償還払い対応分 麻しん風疹混合(成人)、インフルエンザ(小児、妊婦)	
					千円		
					千円		
				千円			
	2	予防費			千円		
事業の目的	予防接種の実施により、各種感染症の発生、重症化、まん延を防ぎ、町民の健康を保持する。						
事業の概要	[定期予防接種] 乳幼児: BCG、四種混合、麻しん風しん、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎、ロタ 児童・生徒: 二種混合、日本脳炎 65歳以上高齢者: インフルエンザ、高齢者肺炎球菌 成人男性(39歳～56歳): 風しん抗体検査・予防接種  [任意予防接種]成人(麻しん)風しん、小児(18歳以下)及び妊婦: インフルエンザ						
事業の効果	適正な予防接種の勧奨、実施により、町民の疾病予防につなげる。						
次年度以降の見込み	継続実施						

## 令和3年度「健康運動教室事業」の概要

所管課名	保健福祉課	所管係名	保健係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。								
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり	前年度当初予算額	730 千円							
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち	増 減 額	△ 89 千円							
	施 策 名	2	健康づくりの推進	増 減 率	△ 12.2 %							
予 算 額  予算書 73～74頁	総事業費			特 定 財 源				一般財源				
	金 額	641 千円		国庫支出金	0 千円	県支出金	504 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	137 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	78.6 %		0.0 %	0.0 %		0.0 %	21.4 %	
	特定財源の名称							-				
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
		4	衛生費	10	需用費	42 千円	消耗品費(パンフレット等)					
				11	役務費	6 千円	郵便料					
				12	委託料	593 千円	講師派遣料、データ管理・集計・評価 ※別途、国保特会に319千円あり					
		1	保健衛生費			千円						
		目	目名称			千円						
2		予防費			千円							
2	予防費			千円								
事業の目的	<p>町では、特定健診においてメタボ該当者及び予備軍が全国平均を常に上回り、増加傾向にあったことから、平成28年度より運動教室を毎年開催して、習慣的な運動促進に努めている。その結果、令和2年度の特定健診では、メタボ該当者(18.4%)が全国平均(20.9%)を下回る成果がみられた。しかし「1日30分以上の運動習慣がない」と回答した方(71.8%)は、全国平均(58.3%)を大幅に上回っていることから、さらに一定期間の継続した運動教室を実施し、生活習慣病の予防及び運動習慣の定着を図り、健康寿命の延伸を目指す。</p>											
事業の概要	<p>健康運動教室『内臓脂肪を燃やす会』(昼の部16回、夜の部16回):定員各20人                  ・身長、体重、血圧、腹囲、体脂肪率等の測定、及びデータ管理・集計・評価                  ・健康運動指導士による指導、トレーニング                  ※前年度各20回実施したが、熱中症を考慮して夏季実施をなくした。</p>											
事業の効果	<p>メタボ該当者及び予備軍の減少。                  運動習慣がない方の減少(運動習慣の定着)。                  ※令和2年度参加者の84.2%の方が腹囲減少。                  《昼》腹囲平均3.4cm減少、最大5.0cm減少 《夜》腹囲平均2.2cm減少、最大3.5cm減少</p>											
次年度以降の見込み	継続実施											






# 令和3年度「健(検)診事業」の概要

所管課名	保健福祉課		所管係名	保健係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり			前年度当初予算額	19,574 千円
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			増 減 額	2,012 千円
	施 策 名	3	継続的な保健事業の推進			増 減 率	10.3 %
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	21,586 千円	0 千円	600 千円	0 千円	1,843 千円	19,143 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	2.8 %	0.0 %	8.5 %	88.7 %
	特定財源の名称		●健康増進事業(24頁)		●国保特会繰入(28頁)		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
4		衛生費	7	報償費	69 千円	総合健診時保健師等報償	
			10	需用費	48 千円	消耗品費10千円、印刷製本費33千円、医薬材料費5千円	
1		保健衛生費	11	役務費	147 千円	予診票郵便料	
			12	委託料	21,322 千円	カルテ印字251千円、各種健(検)診21,071千円	
					千円		
				千円			
	2	予防費			千円		
予算書 73~74頁							
事業の目的	成人の健(検)診体制を整え、受診を勧奨し、生活習慣病等の早期発見・治療・予防につなげ、町民の健康の保持増進を図る。						
事業の概要	総合健診(胸部レントゲンによる結核・肺がん、胃がん(バリウム)、大腸がん、健康診査、肝炎・前立腺・骨粗鬆症の各検診)、胃がん(内視鏡)施設検査、肺がん喀痰検査、子宮頸部・乳がん検診、歯科健康診査、脳ドック(社保対象)、総合健診運営業務、健診予約コールセンター業務委託。						
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種健(検)診受診の環境を整え受診勧奨を行い、疾病の早期発見・治療につなげる。</li> <li>・健診結果から改善すべき生活習慣を知り、より良い生活習慣を身に付ける機会とし、疾病の予防及び重症化予防につなげる。</li> <li>・完全予約制にすることで、会場が密にならないよう感染症予防対策を考慮する。</li> </ul>						
次年度以降の見込み	継続実施						

# 令和3年度「新型コロナウイルス感染症対策事業」の概要

所管課名	保健福祉課		所管係名	新型コロナウイルス対策室		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり			前年度当初予算額	0千円	
	政策名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			増減額	54,155千円	
	施策名	1	地域医療連携の推進			増減率	皆増%	
予算額	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金額	54,155千円	54,155千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	構成比	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	特定財源の名称		<small>●新型コロナウイルスワクチン接種実施負担金(17頁) ●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金(21頁)</small>				-	
	内訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明細	
		4	衛生費	1	報酬	5,409千円	会計年度任用職員報酬 ※総務課配当	
				3	職員手当等	1,023千円	会計年度任用職員期末手当 ※総務課配当	
		項	項名称	4	共済費	998千円	会計年度任用職員社会保険料 ※2-1-1一般管理費(総務課配当)	
		1	保健衛生費	10	消耗品費	881千円	集団ワクチン接種時消耗品	
12				委託料	45,744千円	国保連審査委託、医師派遣料、医療用廃棄物処理委託、受付業務、システム改修		
目		目名称	13	使用料及び賃借料	100千円	救命救急セット借用		
1	保健衛生総務費			千円				
				千円				
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の発生状況に対処するため、ワクチンの予防接種の実施体制の整備に伴い、国が定める優先順位により予防接種を実施する。							
事業の概要	原則、居住地(住民票所在地)で接種する。(やむを得ない事情がある場合は町外でも接種可)ワクチン接種会場は、医療機関や町が設ける施設などで医師を派遣し集団接種を実施する。							
事業の効果	新型コロナウイルス感染症は、感染力が高く、高齢者や基礎疾患を有する者がり患すると重篤化する傾向があり、多くの方がワクチンを接種することで流行抑制の効果が期待できる。							
次年度以降の見込み	令和3年9月で補助事業は終了予定							

# 令和3年度「【国保特会】特定保健指導事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	保健福祉課	所管係名	国保係																		
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり	前年度当初予算額	2,361 千円																
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち	増 減 額	3,525 千円																
	施 策 名	3	継続的な保健事業の推進	比 率	149.3 %																
予 算 額	総事業費		特定財源																		
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他															
	金 額	5,886 千円	0 千円	5,886 千円	0 千円	0 千円															
	構成比	100.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %															
	特定財源の名称		●特別交付金(205頁)																		
	一般財源		-																		
予 算 書 214~215頁	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細														
		4	保健事業費	1	報酬	906 千円	会計年度任用職員報酬(報酬、超過勤務手当)														
				7	報償費	256 千円	特定保健指導員														
		項	項名称	8	旅費	33 千円	会計年度任用職員 通勤手当														
		1	保健事業費	10	需用費	126 千円	特定保健指導、糖尿病指導パンフレット														
				12	委託料	4,565 千円	健康教室、糖尿病性腎症重症化予防保健指導、特定健診受診率向上対策														
		目	目名称			千円															
1	疾病予防費			千円																	
事業の目的	第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の指標に基づき、国民健康保険被保険者の特定健康診査、特定保健指導により国民健康保険医療費の抑制と生活習慣病や糖尿病性腎症の重症化予防を図る。また、健康運動教室を実施して自らが健康状態を自覚して健康増進に取り組む支援をする。																				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診継続受診対策(丁寧な情報提供や健診結果説明会の実施)</li> <li>・糖尿病性腎症重症化予防対策(糖尿病重症化するリスクの高い未受診者や治療中断者を対象に電話や個別面談により保健指導を実施)</li> <li>・健康運動教室(運動を通して生活習慣病予防やメタボ解消に取り組む)</li> <li>・保健指導(特定健康診査の結果やレセプト情報等を利用して重複・頻回受診者や重複・多剤投薬者に対して残薬確認や訪問指導を行う)</li> </ul>																				
事業の効果	<table border="0"> <tr> <td>令和2年度(見込)</td> <td>特定健診受診率</td> <td>21.3%</td> <td>特定保健指導利用率</td> <td>52.5%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度実績</td> <td>特定健診受診率</td> <td>57.9%</td> <td>特定保健指導利用率</td> <td>41.4%</td> </tr> <tr> <td>平成30年度実績</td> <td>特定健診受診率</td> <td>57.5%</td> <td>特定保健指導利用率</td> <td>44.1%</td> </tr> </table>						令和2年度(見込)	特定健診受診率	21.3%	特定保健指導利用率	52.5%	令和元年度実績	特定健診受診率	57.9%	特定保健指導利用率	41.4%	平成30年度実績	特定健診受診率	57.5%	特定保健指導利用率	44.1%
令和2年度(見込)	特定健診受診率	21.3%	特定保健指導利用率	52.5%																	
令和元年度実績	特定健診受診率	57.9%	特定保健指導利用率	41.4%																	
平成30年度実績	特定健診受診率	57.5%	特定保健指導利用率	44.1%																	
次年度以降の見込み	継続実施																				



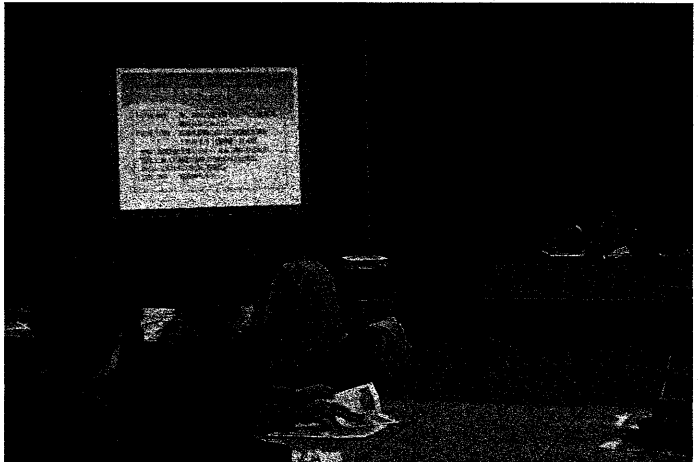
# 令和3年度「【介護特会】介護予防普及啓発事業(通いの場、いきいき百歳体操)」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	保健福祉課		所管係名	長寿介護係				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり			前年度当初予算額	3,986 千円	
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			増 減 額	△ 387 千円	
	施 策 名	2	介護予防・支援の推進			増 減 率	△ 9.7 %	
予 算 額  予算書 239頁	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	3,599 千円	900 千円	450 千円	0 千円	1,800 千円	449 千円	
	構成比	100.0 %	25.0 %	12.5 %	0.0 %	50.0 %	12.5 %	
	特定財源の名称		●介護予防・日常生活支援総合事業(230頁)		●介護予防・日常生活支援総合事業(231頁)		●介護保険料(229頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	地域支援事業費	1	報酬	2,291 千円	介護予防事業会計年度任用職員 ※4-1-1	
				3	職員手当等	475 千円	介護予防事業会計年度任用職員 ※4-1-1	
		1	地域支援事業費	8	旅費	59 千円	介護予防事業会計年度任用職員 ※4-1-1	
				10	需用費	648 千円	【百歳体操】 消耗品費	
目		目名称	11	役務費	111 千円	【百歳体操】 理学療法士等謝礼100千円 介護予防サポーター損害保険11千円		
			12	委託料	15 千円	【通いの場】 運動療法士15千円		
2	一般介護予防事業			千円				
				千円				
事業の目的	高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場を充実させ、地域づくりと介護予防の推進を図るために、身近な場所での「体操教室」の立上げや運営の支援をする。							
事業の概要	通いの場は平成28年度から実施し現在13カ所が自主化した。指導者がいないと続かない等課題があるため、令和元年度から「百歳体操」により運動教室を実施。町は5人以上集まれば重りとDVDを貸出し、初回は理学療法士を派遣、5回目からは自主的な運営とする。13ヶ所の通いの場のうち、6カ所が百歳体操へ移行、新規に6カ所で立ち上がり活動している。							
事業の効果	自主化した19カ所での体力測定の結果、多くの項目で記録は維持または向上している。百歳体操に移行した通いの場でも楽しみながら、高齢者が定期的、継続的に運動することで、介護予防につながることの理解が進んでいる。「通いの場」を住民の力で継続し、地域づくりにつなげる。							
次年度以降の見込み	実施地区を増やしていくとともに、継続して運動することの必要性を周知する。							

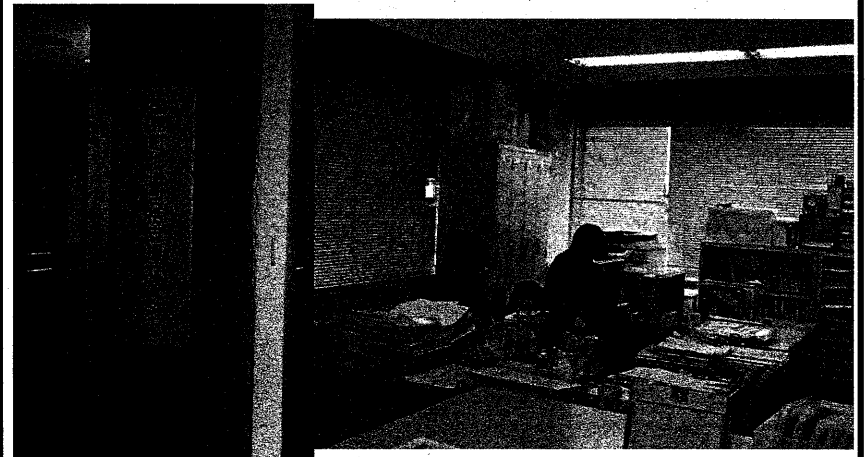


# 令和3年度「【介護特会】くにみささえ愛事業の概要

所管課名	保健福祉課		所管係名	長寿介護係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり			前年度当初予算額	2,036 千円	
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			増 減 額	△ 1 千円	
	施 策 名	4	地域で支える福祉の推進			増 減 率	0.0 %	
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	2,035 千円	783 千円	392 千円	0 千円	468 千円	392 千円	
	構成比	100.0 %	38.5 %	19.3 %	0.0 %	23.0 %	19.3 %	
	特定財源の名称		●介護予防・日常生活支援総合事業(230頁)		●介護予防・日常生活支援総合事業(231頁)		●介護保険料(229頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	地域支援事業費	10	需用費	20 千円	消耗品費、会議費	
12				委託料	2,015 千円	生活支援コーディネーター1,815 ささえ愛カフェ200		
項		項名称			千円			
1		地域支援事業費			千円			
					千円			
目	目名称			千円				
3	包括支援事業・任意事業			千円				
				千円				
事業の目的	地域の生活課題の解決に向けた生活支援サービスの開発・提供に向けた取り組みを推進する。							
事業の概要	地域の福祉関係者や関係団体の参画を得て平成28年度に協議体「くにみささえ愛」を設置。情報共有や連携強化を図るため、月1回の会議を実施。取り組みを推進するため、生活支援コーディネーターの配置し、「ささえ愛カフェ」を開催する。							
事業の効果	住民自身ができることをテーマに活動主体の把握に努めながら、地域のあったらいいねを提案し、住民同士の助け合い活動を生み出す「仕組みづくり」に向けた情報共有の場となっている。							
次年度以降の見込み	継続実施							

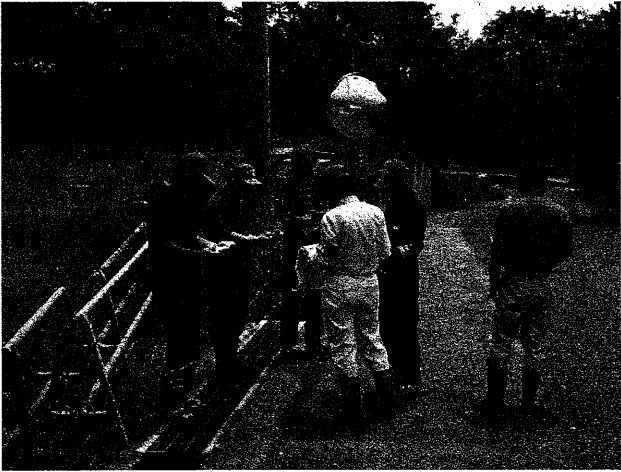
## 令和3年度「【介護特会】地域包括支援センター事業」の概要

所管課名	保健福祉課	所管係名	長寿介護係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり	前年度当初予算額	21,706 千円			
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち	増 減 額	1,875 千円			
	施 策 名	2	介護予防・支援の推進	増 減 率	8.6 %			
予 算 額  予算書 239～240頁	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	23,581 千円		9,079 千円	4,539 千円	千円	5,424 千円	4,539 千円
	構成比	100.0 %		38.5 %	19.2 %	0.0 %	23.0 %	19.2 %
	特定財源の名称			●介護予防・日常生活支援総合事業(230頁)	●介護予防・日常生活支援総合事業(231頁)		●介護保険料(229頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	地域支援事業費	12	委託料	23,581 千円	国見町地域包括支援センター事業委託(国見町社会福祉協議会)	
			項	項名称		千円		
		1	地域支援事業費			千円		
			目	目名称		千円		
3		包括支援事業・任意事業			千円			
事業の目的	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、様々な相談に応じるとともに、必要に応じて適切な機関、制度やサービスにつなぐなどの支援を行う。							
事業の概要	保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種を配置し、高齢者、ケアマネジャー、医療機関、民生児童委員からの様々な相談に応じ、必要な支援を行う。 平成27年度より社会福祉協議会に運営を委託。							
事業の効果	令和2年12月末の累計 ①介護予防支援事業・総合事業 契約者数 890人、 ②総合相談支援事業 相談件数 523件、 ③権利擁護事業 相談件数 32件							
次年度以降の見込み	継続実施。							




# 令和3年度「農業委員会事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農業委員会				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり			前年度当初予算額	8,144 千円	
	政 策 名	2	便利で快適なまち			増 減 額	△ 4 千円	
	施 策 名	1	有効な土地利用			比 率	0.0 %	
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	8,140 千円	0 千円	3,868 千円	0 千円	333 千円	3,939 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	47.5 %	0.0 %	4.1 %	48.4 %	
	特定財源の名称				●農業委員会交付金(24頁) ●機構集積支援事業(24頁) ●農地利用最適化(24頁)	●農業者年金事務(31頁)	-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	明 細		
		6	農林水産業費	1	報酬	5,564 千円	農業委員、農地利用最適化推進委員報酬	
				7	報償費	8 千円	農地等紛争処理仲介委員	
		項	項名称	8	旅費	461 千円	普通旅費、特別旅費	
				10	需用費	195 千円	消耗品費、対外交渉費	
1		農業費	12	委託料	1,203 千円	会議録調整、農家台帳保守管理、バス運行委託		
			13	使用料及び賃借料	220 千円	タブレット端末賃借料		
目	目名称	18	負担金補助及び交付金	489 千円	県農業会議、農委連合会、女性委員、農年協会、農業会議所			
1	農業委員会費			千円				
事業の目的	農業委員会の運営に係る事務。							
事業の概要	①農地法に基づく事務(農地転用等の許認可、利用権設定、農地の利用状況調査、利用意向調査、農地台帳の整備、耕作放棄地対策等)。 ②農業者年金に関する業務。							
事業の効果	農地利用の最適化(担い手への農地集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進)の推進を図ることができる。							
次年度以降の見込み	農地法に基づき継続的に事業を推進する。							

予算書  
79～80頁

# 令和3年度「農業経営基盤強化促進事業(新規就農者支援事業)」の概要

所管課名	産業振興課		所管係名	産業振興係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり			前年度当初予算額	2,740 千円	
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			増 減 額	△ 34 千円	
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援			増 減 率	△ 1.2 %	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	2,706 千円		0 千円	1,500 千円	0 千円	0 千円	1,206 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	55.4 %	0.0 %	0.0 %	44.6 %
	特定財源の名称			●農業次世代人材投資事業				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		6	農林水産業費	18	負担金補助及び交付金	456 千円	くにも農業ビジネス訓練所長期研修生家賃補助	
				18	負担金補助及び交付金	1,500 千円	農業次世代人材投資資金(1,500千円×1名)	
		項	項名称	18	負担金補助及び交付金	50 千円	認定農業者支援事業	
		1	農業費	20	貸付金	700 千円	経営開始支援資金(700千円×1名)	
						千円		
目		目名称				千円		
3	農業振興費				千円			
予算書 81~82頁					千円			
事業の目的	国見町の基幹産業である農業の新規就農促進を図ることを目的とする。							
事業の概要	①当町に居住し将来国見町で就農予定の方でくにも農業ビジネス訓練所長期研修を受けるため遠隔地より転入する方について1年間の家賃補助をおこなうもの。 ②新規就農者等を対象に、次世代人材投資資金(150万円)を給付する。 ③新規就農者に対し国見町経営開始支援資金(70万円)の貸付等を行う。							
事業の効果	複合した就農支援事業により確実に就農に結び付け育成する。							
次年度以降の見込み	今後も新規就農を推進するため、今後も継続して総合的な対策を実施する。							




# 令和3年度「水田農業構造改革対策(米の付加価値向上事業)」の概要


所管課名	産業振興課	所管係名	産業振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり	前年度当初予算額	200 千円						
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち	増 減 額	△ 100 千円						
	施 策 名	3	ブランド開発と販路拡大	増 減 率	△ 50.0 %						
予 算 額	金 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源			
		100 千円		国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円
	構 成 比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
		特定財源の名称							-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		6	農林水産業費	18	負担金補助及び交付金	100 千円	くにみ米PR補助金				
					千円						
項		項名称			千円						
1		農業費			千円						
					千円						
目	目名称			千円							
				千円							
	3	農業振興費			千円						
予算書 82頁											
事業の目的	安全・安心で高品質・良食味の付加価値をつけたブランド米「くにみ米」の生産に取り組み、消費者に顔の見える直売手法を用いて販売し、国産産の米をPRするほか、生産農家の所得向上による経営意欲の増大を目的とする。										
事業の概要	①令和3年度取組生産者・・・5名 ②実施ほ場・・・2.0ha ③生産栽培管理 ア)特別栽培米の認証基準による米生産・管理を行う イ)対象品種はコシヒカリと天のつぶとする ウ)生産された米の食味計によるチェックを行う。										
事業の効果	国産産米のブランド化による農家所得の向上に寄与する。										
次年度以降の見込み	取り組み生産者の増加やほ場の拡大も含め継続的に事業を推進する。										



# 令和3年度「農業振興事業(果樹産地育成対策事業(桃穿孔細菌病対策))」の概要

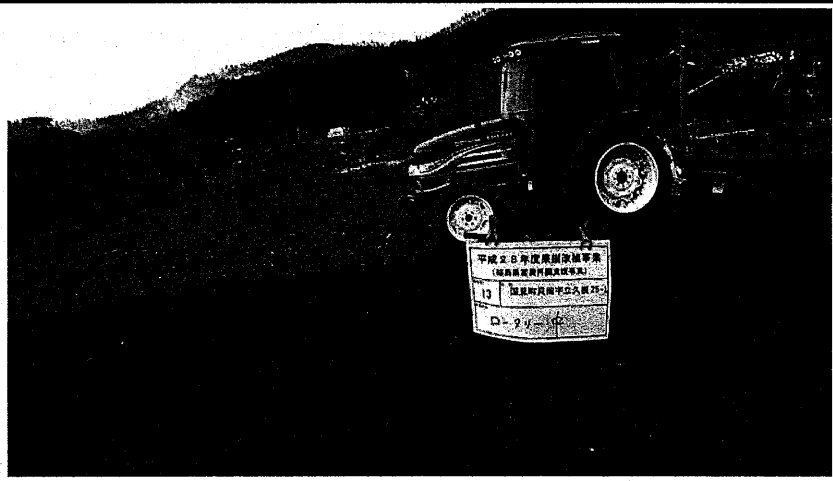
所管課名	産業振興課		所管係名	産業振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度当初予算額	4,000 千円	
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち		増 減 額	0 千円	
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援		増 減 率	0.0 %	
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	4,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	4,000 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		6	農林水産業費	18	負担金補助及び交付金	4,000 千円	薬剤防除補助(町単独)
		項	項名称			千円	
		1	農業費			千円	
		目	目名称			千円	
3		農業振興費			千円		
事業の目的	本町の特産品である桃の薬剤散布費用の軽減とせん孔細菌病の予防を目的とする。						
事業の概要	せん孔細菌病対策の春期・秋期の薬剤散布費用の一部を補助						
事業の効果	定期的な薬剤散布費用の負担軽減を図り、農業経営の安定とせん孔細菌病の予防に寄与する。						
次年度以降の見込み	果樹産地を今後も発展・維持するため、今後も継続して総合的な対策を実施する。						

# 令和3年度「農業振興事業(果樹共済・農業収入保険加入促進事業)」の概要

所管課名	産業振興課		所管係名	産業振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度当初予算額	400 千円	
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち		増 減 額	900 千円	
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援		増 減 率	225.0 %	
予 算 額  予算書 82頁	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	1,300 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,300 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		6	農林水産業費	18	負担金補助及び交付金	300 千円	果樹共済加入促進対策事業
				18	負担金補助及び交付金	1,000 千円	農業共済収入保険加入促進対策事業
		項	項名称			千円	
		1	農業費			千円	
					千円		
目	目名称			千円			
3	農業振興費			千円			
				千円			
事業の目的	近年農業を取り巻く環境は、異常気象による災害・せん孔病の蔓延など厳しい状況が続いている。これらから農業者の生活を守るため、農業共済事業に加入を促進し、強い農業経営を目指すことを目的とする。						
事業の概要	①果樹共済加入者の掛け金の約1割程度の負担軽減(108件) ②農業共済収入保険加入者の掛け金の約1割程度の負担軽減(42件)及び新規加入者(5件)の促進						
事業の効果	果樹共済及び収入保険の加入者は増加傾向にあり、経営の安定に寄与する。						
次年度以降の見込み	農業共済収入保険へ加入促進を図る。						


# 令和3年度「農業振興事業(営農再開支援事業)」の概要

所管課名	産業振興課	所管係名	産業振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり	前年度当初予算額	88,000 千円						
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち	増 減 額	△ 34,800 千円						
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援	増 減 率	△ 39.5 %						
予 算 額	総事業費		特定財源			一般財源					
	金 額	53,200 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	53,200 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	0 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %		
	特定財源の名称		●福島県営農再開支援事業			-					
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		6	農林水産業費	18	負担金補助及び交付金	53,200 千円	果樹改植				
項		項名称			千円						
1		農業費			千円						
目		目名称			千円						
3		農業振興費			千円						
事業の目的	樹園地の放射性物質の影響を抜本的に取り除くことを目的とする。										
	事業の概要										
	果樹改植⇒19.0ha										
	事業の効果										
果樹の生産促進と安全・安心の確保に寄与する。											
次年度以降の見込み											
果樹産地を今後も発展・維持するため、今後も継続して実施する。											



# 令和3年度「有害鳥獣対策事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課	所管係名	産業振興係				
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度当初予算額	6,682 千円	
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち		増 減 額	1,761 千円	
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実		増 減 率	26.4 %	
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	8,443 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,200 千円	7,243 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	14.2 %	85.8 %
	特定財源の名称					●JA・伊達果負担金 ●実施隊追込動員費	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		6	農林水産業費	1	報酬	2,022 千円	鳥獣被害対策実施隊(非常勤職員)報酬
				8	旅費	13 千円	普通旅費
		項	項名称	10	需用費	755 千円	消耗品費(追払い花火、銃弾代、捕獲餌代等)、檻修繕料
				11	役務費	798 千円	止めさし処分手数料、捕獲わな免許登録手数料
1		農業費	12	委託料	100 千円	捕獲技能(射撃)訓練委託料	
			目	目名称	15	原材料費	493 千円
3		農業振興費	17	備品購入費	600 千円	鳥獣被害対策忌避装置購入【新規】	
	18		負担金補助及び交付金	3,662 千円	電気柵補助、狩猟免許支援、南奥羽広域協議会負担金、実施隊作業場所補助【新規】		
事業の目的	野生鳥獣による被害防止対策の充実・強化を図るとともに、関係機関との連携の下、総合的な被害防止体系を確立し、農林水産業被害の軽減等に資することを目的とする。						
事業の概要	①鳥獣被害対策実施隊経費(報酬・止めさし手数料) ②電気柵設置補助 ③捕獲用檻購入 ④花火・銃弾購入 ⑤南奥羽協議会負担金 ⑥町地域農業再生協議会補助金(被害状況調査員賃金、放任果樹伐採)⑦【新規】ワイヤーメッシュ柵関係資材交付 ⑧【新規】鳥獣被害対策忌避装置購入 ⑨【新規】実施隊作業場所補助						
事業の効果	被害対策事業により農作物被害の軽減に繋がっている。						
次年度以降の見込み	有害鳥獣(特にイノシシ)による農作物被害区域が拡大しているため、国見町被害防止計画に基づき国見町鳥獣被害対策実施隊の活動を強化するとともに、地域ぐるみの鳥獣被害防止対策を推進する。						

## 令和3年度「町農産物PR事業(販売力強化)」の概要

所管課名	産業振興課	所管係名	産業振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度当初予算額	2,396 千円		
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち		増 減 額	△ 96 千円		
	施 策 名	3	ブランド開発と販路拡大		増 減 率	△ 4.0 %		
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	2,300 千円		0 千円	2,300 千円	0 千円	0 千円	
	構成比	100.0 %		0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	
	特定財源の名称			●「ふくしまプライド」県産農林水産物販売力強化支援事業				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		6	農林水産業費	7	報償費	58 千円	ミスピーチキャンペーンクルーへの謝礼	
				8	旅費	1,161 千円	特別旅費	
		項	項名称	10	需用費	433 千円	消耗品、燃料費、対外交流費、印刷製本費、賄材料費	
		1	農業費	11	役員費	541 千円	通信運搬費、広告料、損害保険料	
13				使用料及び賃借料	107 千円	自動車借上料、有料道路通行料、駐車料金		
目		目名称			千円			
3	農業振興費			千円				
				千円				
事業の目的	町農産物等を県外において積極的に販売・PR等を行い、販売力の強化促進を目的とする。							
事業の概要	①岩手県平泉町 ②ニセコ町 ④池田町 ⑤友好都市への農産物の販売・輸送 ⑥仙台セールス ⑦羽村市 ⑧大交流フェア その他において、町農産物のPRを行う。							
事業の効果	町農産物等の安心・安全、品質の高さ、美味しさが広く知れ渡り、農産物の売り上げが向上している。							
次年度以降の見込み	町農産物の販売力の強化をさらに図るため、今後も継続して実施する。							



# 令和3年度「水田農業構造改革対策(水田農業改革支援事業)」の概要

所管課名	産業振興課	所管係名	産業振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度当初予算額	3,923 千円	
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち		増 減 額	△ 126 千円	
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援		増 減 率	△ 3.2 %	
予 算 額	金額	総事業費		特定財源			一般財源
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金額	3,797 千円	0 千円	3,797 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		6	農林水産業費	18	負担金補助及び交付金	3,797 千円	水田農業改革支援事業
		項	項名称			千円	
		1	農業費			千円	
		目	目名称			千円	
3		農業振興費			千円		
事業の目的	飼料用米・麦・大豆への作付け転換を推進し、水稻農家の経営安定と生産力の確保を図ることを目的とする。						
	事業の概要						
	飼料用米・麦・大豆等の作付け農家に対し地域農業再生協議会を通じて交付金を支給する。						
	事業の効果						
水稻農家の経営安定に寄与する。							
次年度以降の見込み							
取り組み生産者の増加やほ場の拡大も含め継続的に事業を推進する。							




## 令和3年度「くにみ農業ビジネス訓練所事業」の概要

所管課名	産業振興課	所管係名	産業振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度当初予算額	21,351 千円		
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち		増 減 額	△ 2,161 千円		
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援		増 減 率	△ 10.1 %		
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	19,190 千円		0 千円	0 千円	0 千円	6,000 千円	13,190 千円
	構 成 比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	31.3 %	68.7 %
	特定財源の名称						●農産物販売	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		6	農林水産業費	1.3	報酬、職員手当等	5,460 千円	会計年度任用職員2名	
				7	報償費	160 千円	講師謝礼	
		1	農業費	8	旅費	64 千円	講師交通費、普通旅費、特別旅費	
				10	需用費	4,876 千円	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料	
4		農業ビジネス訓練所費	11	役務費	404 千円	電話料、浄化槽法定検査、建物災害共済、自動車損害共済、JGAP中間検査手数料		
			12	委託料	7,758 千円	研修、浄化槽、警備、、シルバー、販売管理		
13		使用料及び賃借料	28 千円	テレビ受信料、コピー機借上料				
14	工事請負費	440 千円	防風ネット等工事					
事業の目的	担い手育成、新規就農促進、農業技術の向上、町の風土に合った野菜の多品目栽培体系の確立、野菜のブランド化の推進を目的とする。							
事業の概要	①長期研修生3名程度募集 ②短期研修6コース募集各15名 就農準備コース若干名 ③収穫体験、就農相談を実施 ④農場にて野菜の多品目栽培、溶液栽培用鉄骨ハウスにてミニトマトを栽培							
事業の効果	新規就農者の確保や農業技術の向上に寄与する。							
次年度以降の見込み	研修内容の充実及び長期研修生確保、野菜のブランド化の推進など継続して取り組む。							
予 算 書 83～84頁								



## 令和3年度「農業施設整備事業」の概要

所管課名	産業振興課	所管係名	農地整備係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度当初予算額	71,269 千円		
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち		増 減 額	△ 60,468 千円		
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実		増 減 率	△ 84.8 %		
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	10,801 千円		0 千円	0 千円	0 千円	222 千円	10,579 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	2.1 %	97.9 %
	特定財源の名称						●滝川樋管点検操作業務	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		6	農林水産業費	1	報酬	76 千円	会計年度任用職員	
				8	旅費	12 千円	費用弁償8、普通旅費4	
				10	需用費	69 千円	消耗品費31、大滝公園電気料30、水道料8	
		項	項名称	11	役務費	49 千円	大滝公園浄化槽検査10、建物災害共済15、、機械損害保険7、農業用排水路施設賠償保険22	
1		農業費	12	委託料	116 千円	大滝公園浄化槽管理116		
			13	使用料及び賃借料	45 千円	積算システム使用料42、JR用地借地料3		
目		目名称	14	工事請負費	7,000 千円	用排水路維持管理工事7,000		
6	農地費	15	原材料費	200 千円	土地改良資材等200			
		18	負担金補助及び交付金	3,234 千円	県1,435、土地連29、西根堰補助1,770			
事業の目的	農業生産基盤となる農業用施設(水路・ため池・農道等)についての整備・維持管理を行う。							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産基盤となる農業用施設(水路・ため池、農道等)の整備、維持管理</li> <li>・基幹水利施設ストックマネジメント事業(伊達西根堰地区)</li> <li>県営事業で実施する西根堰の改修、補強に対する負担金</li> <li>令和3年度: 藤倉ダム、西根上堰頭首工、芝堤頭首工、西根上堰幹線用水路の補修等</li> </ul>							
事業の効果	農業生産基盤の整備の推進によって、農業の生産性の向上を図ることができる。							
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努める。							

予算書  
84～85頁



# 令和3年度「中山間地域等直接支払交付金事業」の概要


所管課名	産業振興課	所管係名	農地整備係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度当初予算額	14,775 千円	
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち		増 減 額	△ 200 千円	
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実		増 減 率	△ 1.4 %	
予 算 額	総事業費		特定財源			一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債		その他
	金 額	14,575 千円	0 千円	9,749 千円	0 千円	0 千円	4,826 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	66.9 %	0.0 %	0.0 %	33.1 %
	特定財源の名称		●中山間地域等直接支払(24頁) ●中山間地域等直接支払推進(24頁)				
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		6	農林水産業費	8	旅費	3 千円	普通旅費3
				11	役務費	40 千円	郵便料 ※総務課配当
		項	項名称	13	使用料及び賃借料	57 千円	コピー機借上料 ※総務課配当
		1	農業費	18	負担金補助及び交付金	14,475 千円	中山間地域等直接支払事業補助金 9集落分
					千円	(内谷山越、内谷清上、内谷桐目木、鳥取沼田、貝田、小坂、石母田、高城、山根)	
	目	目名称			千円		
	6	農地費			千円		
					千円		
事業の目的	耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、農業生産の維持を図りつつ、多面的機能を確保するという観点から、直接支払いを実施する。						
事業の概要	急・緩傾斜農地を有する地域、高齢化率、耕作放棄率の高い地域等における、農業生産活動を支援するため、協定を締結した9集落に対して交付金を交付する。						
事業の効果	耕作放棄地の発生防止、多面的機能の確保						
次年度以降の見込み	継続的に事業を推進する。						

## 令和3年度「多面的機能支払交付金事業」の概要

所管課名	産業振興課	所管係名	農地整備係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度当初予算額	14,713 千円		
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち		増 減 額	4,361 千円		
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実		増 減 率	29.6 %		
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	19,074 千円		0 千円	14,380 千円	0 千円	0 千円	4,694 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	75.4 %	0.0 %	0.0 %	24.6 %
	特定財源の名称							-
								●多面的機能支払交付金 ●多面的機能支払推進交付金
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		6	農林水産業費	8	旅費	3 千円	普通旅費3	
				10	需用費	163 千円	消耗品163	
		項	項名称	12	役務費	34 千円	郵便料 ※総務課配当	
1		農業費	13	使用料及び賃借料	100 千円	コピー機借上料 ※総務課配当		
			18	負担金補助及び交付金	18,774 千円	多面的機能支払交付金事業補助金 9組織分		
目		目名称			千円	(既存組織: 徳江、塚野目、藤田、光明寺、森山第1、森山第3、森山第4、大木戸、西大枝)		
6	農地費			千円				
				千円				
事業の目的		農地の多面的機能を維持するための共同活動を支援する。						
事業の概要		多面的機能を維持し耕作放棄地の発生防止。 担い手農家だけではなく非農家も含めた農地の維持管理体制の構築。 令和3年度より活動組織の広域化により補助増額。増額分で広域化の事務委託や事業費の重点配分を行う。						
事業の効果		耕作放棄地の発生防止、担い手農家のみならず、非農家も含めた、地域全体での維持管理体制が構築される。 広域化の事務委託により事務負担軽減、事業費の重点配分により農業施設の維持。						
次年度以降の見込み		継続的に事業を推進する。						



## 令和3年度「林業振興事業(ふくしま森林再生事業)」の概要


所管課名	産業振興課	所管係名	産業振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり	前年度当初予算額	53,001 千円						
	政 策 名	3	環境に優しいまち	増 減 額	23,895 千円						
	施 策 名	2	公園緑地と景観の保全	増 減 率	45.1 %						
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 86頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	76,896 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	55,749 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	21,147 千円
	構 成 比	100.0 %	0.0 %	72.5 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	27.5 %			
	特定財源の名称				●ふくしま森林再生事業				●上記の全額が震災復興特別交付税で財源措置(16頁)		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		6	農林水産業費	12	委託料	76,896 千円	森林整備予定箇所事前調査等(放射性物質対策)、森林整備				
		項	項名称			千円					
		2	林業費			千円					
		目	目名称			千円					
		2	林業振興費			千円					
事業の目的	森林が持つ多面的機能を維持・増進させることを目的とする。										
事業の概要	森林整備箇所 ①石母田地区18林班 11.1ha ②大木戸地区21,22林班 9.2ha ③下刈り業務 22.5ha										
事業の効果	健全な森林の育成を図る。										
次年度以降の見込み	ふくしま森林再生事業を中心に町内森林の整備を推進する。										

## 令和3年度「林業振興事業(木育推進事業)」の概要


所管課名	産業振興課	所管係名	産業振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の 位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり	前年度当初予算額	1,330 千円						
	政 策 名	3	環境に優しいまち	増 減 額	△ 208 千円						
	施 策 名	2	公園緑地と景観の保全	増 減 率	△ 15.6 %						
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 86頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	1,122 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	1,122 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	0 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
	特定財源の名称			●森林環境交付金事業				-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		6	農林水産業費	10	需用費	52 千円	消耗品				
				12	委託料	1,000 千円	誕生祝い品贈呈、木工普及(木工教室等)				
		項	項名称	15	原材料費	70 千円	誕生祝い品用木材				
		2	林業費			千円					
						千円					
目		目名称			千円						
2	林業振興費			千円							
				千円							
事業の目的	ウッドスタート宣言による木育事業を推進し、子どもから大人までが木に触れ、木と育み、木に親しむことができるようにすることを目的とする。										
事業の概要	地域材で製作した誕生祝品の贈呈のほか各種事業を実施										
事業の効果	木育事業の推進により、木に親しみをもち地域産材の利用を促進する。										
次年度以降の見込み	木育事業を今後も発展・維持するため、今後も継続して事業を実施する。										



## 令和3年度「林道整備・維持管理事業」の概要

所管課名	産業振興課	所管係名	農地整備係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の 位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前年度当初予算額	3,226 千円		
	政 策 名	2	便利で快適なまち		増 減 額	1,100 千円		
	施 策 名	4	道路・河川の整備		増 減 率	34.1 %		
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 86～87頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	4,326 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	4,326 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称							-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		6	農林水産業費	10	需用費	20 千円	消耗品費	
				12	委託料	2,300 千円	倒木・除草伐採等業務委託1,200、点検診断1,100	
		項	項名称	14	工事請負費	2,000 千円	林道維持管理工事	
		2	林業費	18	負担金補助及び交付金	6 千円	治山林道研究会負担金	
					千円			
目		目名称			千円			
3	林道費			千円				
				千円				
事業の目的	森林資源の有効活用を図るため、維持管理を行う。							
事業の概要	林道の維持管理に係る経費							
事業の効果	林道の維持管理を行うことにより、快適で安全な通行の確保と森林の保守管理や森林整備等が効率的に促進され、受益者は安全に通行ができ、森林資源の有効活用ができる。							
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努める。							

# 令和3年度「歴史まちづくり協働事業」の概要

所管課名	まちづくり交流課		所管係名	歴史まちづくり推進室		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	1,010 千円	
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			増 減 額	△ 471 千円	
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			比 率	△ 46.6 %	
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	539 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	539 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
2		総務費	12	委託料	539 千円	国見町歴史まちづくりフォーラム委託		
項		項名称			千円	①奥山家住宅活用イベント200千円		
					千円	②歴史文化啓発(あつかし歴史館)210千円		
1		総務管理費			千円	③歴史まちづくりシンポジウム119千円		
					千円	④事務費10千円		
目	目名称			千円				
10	歴史まちづくり推進費			千円				
予算書 49頁								
事業の目的	国見町歴史的風致維持向上計画に基づく「歴史を活かしたまちづくり」への町民意識の醸成・啓蒙活動・調査研究・情報発信に寄与する事業を実施するもの							
事業の概要	歴史まちづくりに取り組む7団体で構成する「歴史まちづくりフォーラム」に委託して実施 ○歴史文化啓発事業(あつかし歴史館等)(町単事業)							
事業の効果	あつかし歴史館で地域住民と協力連携したイベントを開催することで、住民参画による歴史まちづくりの実践及び町内外への「歴史のまち国見」の啓蒙が図られる。							
次年度以降の見込み	○歴史文化啓発事業 継続見込み							



# 令和3年度「歴史ウォーク事業」の概要


所管課名	まちづくり交流課		所管係名	歴史まちづくり推進室		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	1,000 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			増 減 額	500 千円
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			比 率	50.0 %
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	1,500 千円	0 千円	1,000 千円	0 千円	0 千円	500 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	66.7 %	0.0 %	0.0 %	33.3 %
	特定財源の名称		●みらいを描く市町村等支援事業助成金(32頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
2		総務費	18	負担金補助及び交付金	1,500 千円	歴史ウォーク実行委員会補助金	
					千円		
項		項名称			千円		
1		総務管理費			千円		
					千円		
目	目名称				千円		
	10	歴史まちづくり推進費			千円		
				千円			
事業の目的	町の歴史文化資源を巡りながら「国見らしさ」を体感してもらい、町の魅力を町内外に発信する。						
事業の概要	国史跡「阿津賀志山防塁」を中心に歴史文化資源をコンテンツとした、健康ウォーキングイベントの実施。						
事業の効果	周遊の起点「道の駅国見あつかしの郷」、歴史文化の拠点「文化財センターあつかし歴史館」、防塁と中尊寺ハスを体感できる「歴史公園」を結ぶ周遊ルートの開発と観光拠点の形成を図る。						
次年度以降の見込み	次年度の開催を検討する。						



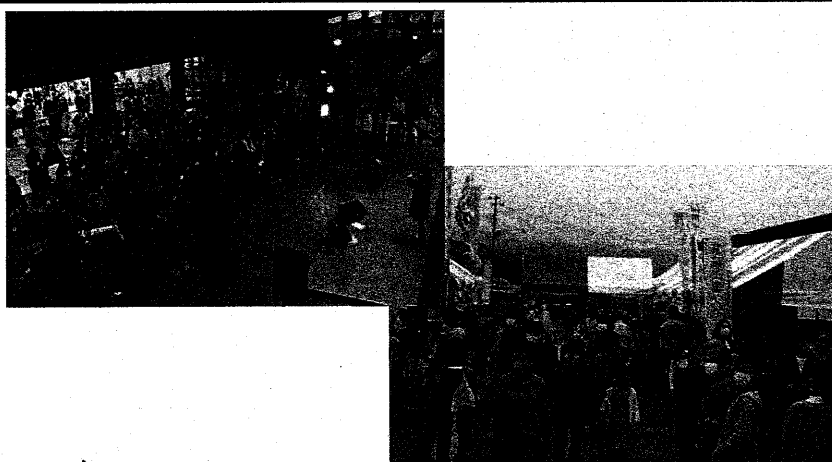
# 令和3年度「歴史公園(あつかし千年公園)維持管理事業」の概要

所管課名	まちづくり交流課		所管係名	歴史まちづくり推進室		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり			前年度当初予算額	0 千円
	政 策 名	3	環境に優しいまち			増 減 額	5,188 千円
	施 策 名	2	公園緑地と景観の保全			比 率	皆増 %
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	5,188 千円	0 千円	650 千円	0 千円	0 千円	4,538 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	12.5 %	0.0 %	0.0 %	87.5 %
	特定財源の名称		●みらいを描く市町村等支援事業助成金(32頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		2	総務費	10	需用費	1,312 千円	水道光熱費、のぼり、パンフレット印刷
11				役務費	50 千円	手数料、建物災害共済	
項		項名称	12	委託料	3,826 千円	浄化槽管理委託、施設管理委託、OPイベント、中尊寺蓮PR事業	
1		総務管理費			千円		
					千円		
目	目名称			千円			
10	歴史まちづくり推進費			千円			
				千円			
事業の目的	歴史公園の施設等について安定した維持管理等を行う。 また、歴史公園等の周知、活用のため各種イベントを開催する。					 阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公(あつかし千年公園)平面図	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史公園の施設等に係る維持管理経費(水道光熱費、浄化槽管理委託、維持管理委託)</li> <li>オープニングイベント、中尊寺蓮PR事業などの活用イベント事業の開催。</li> <li>(一社)ふたえぼりサポーターネット(仮)が開催する活用事業との連携・協力。</li> </ul>					 花蓮植替作業	
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史公園の安定した運営管理及び来場者への利便性の向上等が図られる。</li> <li>歴史公園および町内の歴史文化資源の周知啓発が図られるとともに、歴史公園の活用が推進される。</li> </ul>					 ワーキングイベント	
次年度以降の見込み	継続実施。					 中尊寺蓮絵画コンクール	


# 令和3年度「風評対策事業／周遊ツアー」の事業」の概要

所管課名	まちづくり交流課		所管係名	道の駅商工連携室		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり			前年度当初予算額	1,300 千円
	政 策 名	2	魅力あふれる働きがいのあるまち			増 減 額	△ 385 千円
	施 策 名	1	商業の活性化			比 率	△ 29.6 %
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	915 千円	0 千円	915 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	特定財源の名称		●消費者風評対策市町村支援事業(25頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
7		商工費	7	報償費	80 千円	謝礼	
			10	需用費	20 千円	消耗品費	
1		商工費	11	役務費	150 千円	広告料	
			12	委託料	530 千円	風評対策事業	
目		目名称	13	使用料	135 千円	道の駅使用料	
					千円		
				千円			
	2	商工振興費			千円		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">                     予算書 88～89頁                 </div>							
事業の目的	町や町生産品である“桃”のPRを行い、国見・ふくしまへの関心度向上や、プラスイメージを構築しながら、風評払拭及び震災の風化防止を図る。						
事業の概要	町内を周遊できるルートを作成し、町外の消費者を町内に呼び込むツアーを開催する。(5月～8月の各月の土曜×4回、日曜×4回＝計8回開催)						
事業の効果	“桃”が収穫されるまでの農作業体験やスポットをめぐり、くにみ案内人を活用して町の魅力をPRするとともに、リピーターの確保・着地型観光につなげ、風評被害払拭を図る。						
次年度以降の見込み	事業継続見込み						

# 令和3年度「風評対策事業／「道の駅大交流フェスタ」事業」の概要

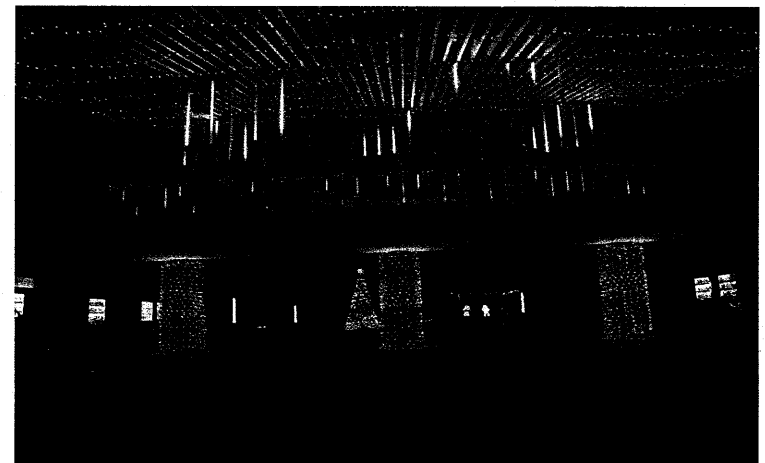
所管課名	まちづくり交流課		所管係名	道の駅商工連携室		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり			前年度当初予算額	4,000 千円	
	政 策 名	2	魅力あふれる働きがいのあるまち			増 減 額	0 千円	
	施 策 名	3	道の駅利活用と観光振興			比 率	0.0 %	
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	4,000 千円	0 千円	4,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
	特定財源の名称		●消費者風評対策市町村支援事業(25頁)				-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		7	商工費	10	需用費	200 千円	消耗品、印刷製本費	
11				役務費	750 千円	広告料		
項		項名称	12	委託料	3,050 千円	風評対策事業		
1		商工費			千円			
					千円			
目	目名称			千円				
2	商工振興費			千円				
				千円				
事業の目的	町や町産品をPRし、国見・ふくしまへの関心度向上や、プラスイメージを構築しながら、道の駅を核とした地域活性化、風評払拭及び震災の風化防止を図る。							
事業の概要	くにみ道の駅大交流フェスタを開催し、交流連携のある市町村・道の駅が参加し、PR販売など人・食・特産品等の交流を行うとともに、地域活性化のためのイベントを実施する。							
事業の効果	交流連携イベントの開催により、町の魅力のPRと風評被害の払拭、道の駅を核とした地域交流の促進、活性化につながる。							
次年度以降の見込み	事業継続見込み							

# 令和3年度「道の駅国見あつかしの郷維持管理事業」の概要

所管課名	まちづくり交流課		所管係名	道の駅商工連携室		※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり			前年度当初予算額	29,826 千円				
	政 策 名	2	魅力あふれる働きがいのあるまち			増 減 額	△ 2,390 千円				
	施 策 名	3	道の駅利活用と観光振興			比 率	△ 8.0 %				
予 算 額  予算書 90～91頁	総事業費		特定財源				一般財源				
			金額	27,436 千円	国庫支出金	3,000 千円		県支出金	千円	地方債	千円
	構成比	100.0 %	10.9 %	0.0 %	0.0 %	89.1 %	0.0 %				
	特定財源の名称		●道の駅管理負担金(20頁)		●ふるさと基金繰入金(29頁)		●復興基金繰入金(29頁)		-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		7	商工費	8	旅費	116 千円	指定管理候補者選定委員会費用弁償、普通旅費				
				10	需用費	84 千円	消耗品費、公用車燃料、修繕料				
		1	商工費	11	役務費	418 千円	公用車タイヤ交換、加工施設浄化槽検査、建物災害共済、公用車車検				
				12	委託料	1,691 千円	消防設備点検、電気工作物、特定建築物定期検査				
		目	目名称	18	負担金補助及び交付金	25,120 千円	各道の駅連絡協議会等会費、指定管理料				
26				公課費	7 千円	公用車重量税					
4	まちづくり交流推進費			千円							
				千円							
事業の目的	町の活性化に寄与する複合交流施設である道の駅の安定した維持管理等を行う。										
事業の概要	道の駅の建物等に係る維持管理費、指定管理料 道の駅設置自治体が加入する各道の駅連絡会会費										
事業の効果	道の駅の安定した運営管理及び来場者への利便性の向上等が図られる。										
次年度以降の見込み	継続した施設の運営管理を維持する。										

# 令和3年度「明日へ。ビッグツリー・イルミネーション事業」の概要



所管課名	まちづくり交流課		所管係名	道の駅商工連携室		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり			前年度当初予算額	4,000 千円	
	政 策 名	1	力をあわせてつくるまち			増 減 額	△ 1,000 千円	
	施 策 名	1	協働のまちづくりの推進			比 率	△ 25.0 %	
予 算 額	金額	総事業費		特定財源				一般財源
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
	金額	3,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円	3,000 千円	0 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	
	特定財源の名称					●国見町復興基金繰入金(29頁)	-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	18	負担金補助及び交付金	3,000 千円	明日へ。ビッグツリー・イルミネーション事業補助金	
					千円			
項		項名称			千円			
1		総務管理費			千円			
					千円			
	目	目名称			千円			
	8	企画費			千円			
					千円			
事業の目的	東日本大震災からの復興への誓いと国見町の未来が明るいことを願って、イルミネーションとビッグツリーで町中を希望の光で灯すもの。							
事業の概要	○「明日へのイルミネーション」は、公共施設や事業所、個人宅において、イルミネーションを設置し町中を明るくする町民参加型事業 ○「あつかし山ビッグツリー」は、阿津賀志山山頂を電飾で飾り、大きなツリーを浮かび上がらせて、国見町の未来が明るいことを期待させる事業							
事業の効果	町内事業所及び町民に参加・協力してもらい、町の元気・活力につなげる。また、冬の風物詩として定着しているイベントとして、町のPR・誘客効果の促進を図る。 ※前年度イルミネーション参加協力団体・個人 53か所							
次年度以降の見込み	事業継続見込み							



# 令和3年度「阿津賀志山防塁史跡等総合活用事業」の概要

所管課名	まちづくり交流課		所管係名	歴史まちづくり推進室		※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の位置付け	目標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	7,800 千円				
	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			増減額	△ 1,560 千円				
	施策名	4	歴史まちづくりの推進			比率	△ 20.0 %				
予算額  予算書 124～126頁	総事業費		特定財源				一般財源				
			金額	6,240 千円	国庫支出金	3,120 千円			県支出金	0 千円	地方債
	構成比	100.0 %	50.0 %	0.0 %	44.9 %	0.0 %	5.1 %				
	特定財源の名称			●歴史活き活き！史跡等総合活用(21頁)		●史跡等総合活用整備事業債(33頁)		-			
	内訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明細				
		10	教育費	7	報償費	165 千円	整備指導委員等報償				
				8	旅費	394 千円	整備指導委員等費用弁償、普通旅費				
		5	社会教育費	10	需用費	47 千円	消耗品、燃料費				
				13	使用料及び借賃料	234 千円	公用車、コピー機借上げ				
		5	文化財保護費	14	工事請負費	5,400 千円	史跡整備工事				
						千円					
					千円						
					千円						
事業の目的	阿津賀志山防塁下二重堀地区の史跡整備計画を進め、史跡整備・周辺整備を行う。						 <p>整備指導委員会開催状況</p>				
事業の概要	①阿津賀志山防塁下二重堀地区(C地区)の整備工事 ②整備指導委員会の開催										
事業の効果	蓮池園地等の周辺整備により、便益性向上と道の駅からの周遊性向上による、観光拠点の形成										
次年度以降の見込み	令和4年度 阿津賀志山防塁下二重堀地区の案内看板整備 史跡整備報告書の作成							 <p>阿津賀志山防塁下二重堀地区と蓮池の現況</p>			

# 令和3年度「町内遺跡調査事業」の概要

所管課名	まちづくり交流課		所管係名	歴史まちづくり推進室		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	7,400 千円	
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			増 減 額	△ 970 千円	
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			比 率	△ 13.1 %	
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	6,430 千円		3,215 千円	0 千円	0 千円	0 千円	3,215 千円
	構成比	100.0 %		50.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	50.0 %
	特定財源の名称			●町内遺跡発掘事業(21頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	1	報酬	950 千円	会計年度任用職員報酬、会計年度任用職員通勤手当(1人・5ヵ月分)	
8				旅費	43 千円	事務協議旅費		
5		社会教育費	10	需用費	798 千円	消耗品・燃料費・修理費・印刷製本費		
			12	委託料	3,360 千円	発掘調査作業、重機作業		
5		文化財保護費	13	使用料及び貸借料	1,279 千円	調査機材借上料、コピー機借上料		
			目 名称		千円			
予 算 書 124～126頁					千円			
事業の目的	遺跡範囲確認および内容確認のための調査事業と、出土遺物の整理事業を行い、町内遺跡の保存と活用を図り、開発と保護の調和に備えた情報を得る。					 試掘調査の様子  阿津賀志山防塁東国見・西国見地区位置図		
事業の概要	①史跡整備・史跡追加指定に向けた阿津賀志山防塁西国見・東国見地区の範囲・内容調査 ②開発に伴う遺構試掘調査 ③町内遺跡範囲確認分布調査							
事業の効果	①阿津賀志山防塁の史跡整備・史跡追加指定に関わるデータ取得 ②遺跡の適切な保護に向けた把握							
次年度以降の見込み	次年度以降も各種開発対応、遺跡保護・整備のために事業を継続							



# 令和3年度「国見町文化財センター(あつかし歴史館)運営事業」の概要

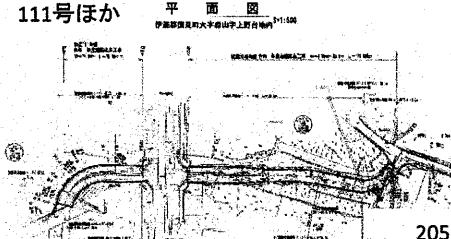
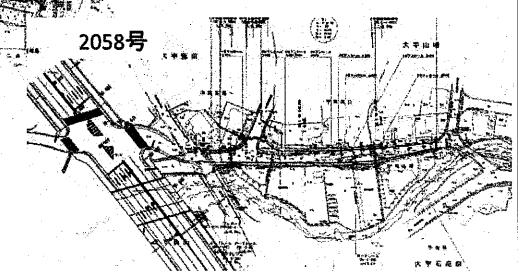
所管課名	まちづくり交流課		所管係名	歴史まちづくり推進室		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	6,534 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			増 減 額	△ 826 千円
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			比 率	△ 12.6 %
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	5,708 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	5,708 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
10		教育費	1	報酬	2,845 千円	会計年度任用職員給与、期末手当、通勤手当(1人・7ヵ月分)	
			7	報償費	697 千円	サポーター謝礼	
5		社会教育費	8	旅費	27 千円	管理運営委員旅費	
			10	需用費	439 千円	事務消耗品、光熱水費	
5		文化財保護費	11	役務費	192 千円	電話料、浄化槽検査料、建物災害共済	
			12	委託料	475 千円	消防設備点検、警備委託	
5		文化財保護費	13	使用料	292 千円	公用車、コピー借り上げ料	
			14	工事請負費	741 千円	施設修繕工事	
事業の目的		国見町文化財センター「あつかし歴史館」の適切な管理と、地域住民と連携した運営により、国見町の歴史・文化の魅力と情報発信を図る。					  
事業の概要	①施設管理(警備・法定点検・光熱水費) ②収蔵資料整理作業・常設・特設展示品の充実 ③あつかし歴史館サポーターによる案内					歴史館収蔵資料の学習 サポーターによる解説 菊池利雄氏研究資料特別展 【住民と協力したイベント・運営】	
事業の効果	①歴史文化遺産の収蔵・研究・情報発信を行うことで歴史館の魅力が向上し、来館者増加することで、国見町の理解が深まる。 ②地域の拠り所であった小学校跡地として、親しみのある開かれた施設として、維持管理される。					  	
次年度以降の見込み	維持管理、運営事業の継続						

予算書  
124～126頁


## 令和3年度「町道維持管理事業」の概要

所管課名	建設課	所管係名	管理係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の 位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり	前年度当初予算額	76,432 千円						
	政 策 名	2	便利で快適なまち	増 減 額	15,002 千円						
	施 策 名	4	道路・河川の整備	増 減 率	19.6 %						
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	91,434 千円	国庫支出金	42,384 千円	県支出金	0 千円	地方債	13,900 千円	その他	2,664 千円	32,486 千円
	構 成 比	100.0 %	46.4 %	0.0 %	15.2 %	2.9 %	35.5 %				
	特定財源の名称		●社総金/道路ストック事業(21頁)		●橋梁補修事業債(33頁)		●道路占用料(18頁) ●行政財産使用料(18頁)		-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		8	土木費	1	報酬	1,908 千円	道路監視員2名				
				3	職員手当等	396 千円	道路監視員期末手当				
		項	項名称	7	旅費	110 千円	普通旅費46、道路監視員通勤手当64				
		2	道路橋梁費	10	需用費	346 千円	資器材100 電気料62 融雪剤184				
				11	役務費	124 千円	除雪車両自動車損害共済				
目		目名称	12	委託料	73,450 千円	植樹管理880 敷砂利165 町道維持165 除雪等1,540 橋梁点検32,000 橋梁修繕設計38,700					
2		道路維持費	13	使用料及び賃借料	100 千円	機械借上料70 借地料30					
	14		工事請負費	14,000 千円	町道修繕(全体枠4,000、地区別5地区×2,000=10,000)						
	15		原材料費	1,000 千円	道路補修材						
事業の目的	生活道路の安心安全を保持するため維持管理を行う。										
事業の概要	町道の維持管理(除雪含む)、長寿命化のための橋梁点検及び修繕設計に係る経費。										
事業の効果	生活に密着に関する道路を安心して通行できる。										
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努める。										

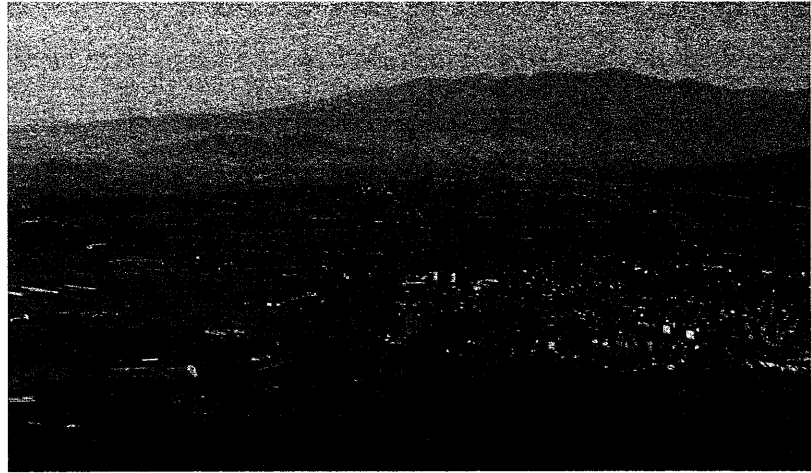
# 令和3年度「町道改良整備事業」の概要

所管課名	建設課	所管係名	建設係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前年度当初予算額	36,185 千円		
	政 策 名	2	便利で快適なまち		増 減 額	△ 19,989 千円		
	施 策 名	4	道路・河川の整備		増 減 率	△ 55.2 %		
予 算 額  予算書 94頁	総事業費		特定財源				一般財源	
			金額	16,196 千円	国庫支出金 8,720 千円	県支出金 0 千円		
	構成比	100.0 %		53.8 %	0.0 %	39.5 %	0.0 %	6.6 %
	特定財源の名称			●社総金/道路事業(21頁)		●町道 111号整備債(33頁) ●町道2058号整備債(33頁)		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		8	土木費	8	旅費	31 千円	普通旅費	
				10	需用費	165 千円	消耗品費70 燃料費95	
		項	項名称	12	委託料	6,000 千円	町道2058号測量設計⇒6,000	
		2	道路橋梁費	14	工事請負費	10,000 千円	町道111号ほか⇒10,000	
		目	目名称					
	4	道路橋梁新設改良費						
事業の目的	狭隘な道路、未舗装の道路を改良、舗装し、安全で安心な町道の整備を行う。				<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: left;"> <p>111号ほか</p>  </div> <div style="text-align: left;"> <p>2058号</p>  </div> </div>			
事業の概要	道路及び橋梁の整備、改良に係る経費。 ①111号ほか(工事)⇒10,000千円 ②2058号(設計)⇒6,000千円							
事業の効果	通行の安全を確保することができる。 防災・強靱化へ向けて集落内の狭隘路線の改良を進める。							
次年度以降の見込み	優先順位を整理し、必要な路線の整備を引き続き進める。特に4号拡幅に関連する町道の取付について整備を進める。							


# 令和3年度「河川維持管理事業」の概要

所管課名	建設課	所管係名	管理係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の 位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前年度当初予算額	9,340 千円		
	政 策 名	2	便利で快適なまち		増 減 額	△ 8,098 千円		
	施 策 名	4	道路・河川の整備		増 減 率	△ 86.7 %		
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 94頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			金額	1,242 千円	国庫支出金 0 千円	県支出金 102 千円		地方債 0 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	8.2 %	0.0 %	68.2 %	23.6 %
	特定財源の名称					●河川水門管理委託金 (26頁)	●緊急河川整備受託金 (31頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		8	土木費	10	需用費	249 千円	消耗品費249	
				12	委託料	950 千円	河川維持847 水門管理103	
		項	項名称	18	負担金補助及び交付金	43 千円	県砂防協会5 県治水協会30 阿武隈川上流改修促進期成同盟会8	
		3	河川費					
		目	目名称					
	1	河川総務費						
	2	河川維持費						
事業の目的	河川維持管理を進める。また、河川の氾濫・災害等への対応として、県と連携し、滑川の整備を進める。				<div style="text-align: center; font-size: small;">滝川・河道掘削</div> 			
事業の概要	クリーンアップ・県からの受託となる樋門管理等の業務及び各種負担金に係る経費。							
事業の効果	河川の災害対応を進めるとともに、維持作業による管理を進める。							
次年度以降の見込み	県と連携し滑川の整備を進めるとともに、継続して河川の維持管理に努める。							

# 令和3年度「都市計画事業」の概要

所管課名	建設課	所管係名	管理係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目標	2	安全、安心、優しいまちづくり	前年度当初予算額	4,115 千円		
	政策名	2	便利で快適なまち	増減額	6,466 千円		
	施策名	1	有効な土地利用	増減率	157.1 %		
予算額 予算書 95～96頁	総事業費		特定財源				一般財源
			金額	10,581 千円	国庫支出金 734 千円	県支出金 367 千円	
	構成比	100.0 %	6.9 %	3.5 %	0.0 %	42.3 %	47.3 %
	特定財源の名称		●社総金/住宅診断(21頁) ●社総金/住宅改修(21頁)	●住宅耐震診断(25頁) ●住宅耐震改修(25頁)		●屋外広告料(19頁) ●町有地賃付料(18頁)	-
	内訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明細
		8	土木費	1	報酬	105 千円	都市計画審議会委員59 空家等対策協議会委員46
				8	旅費	41 千円	普通旅費
		4	都市計画費	10	需用費	198 千円	消耗品費37 ニュータウン街路・公園電気料132 水道料29
				11	役務費	122 千円	遊具点検27 ニュータウン公園等建物災害共済95
		目	目名称	12	委託料	3,173 千円	消防点検198 都市計画図作成1,600 ニュータウン施設管理907 耐震診断者派遣468
14				工事請負費	900 千円	みなし道路後退用地舗装改良	
1	都市計画総務費	18	負担金補助及び交付金	6,042 千円	都計協20 区画整理協7 街路促進協5、都計道路見直し負担金5,000 まち推進協10 耐震改修支援1,000		
事業の目的	都市計画区域内の均衡ある発展と、非耐震の木造住宅改修の支援を行い、安心安全な都市環境の保全を行う。						
事業の概要	都市計画関連の業務及び木造耐震改修支援に係る経費。長期未着手の都市計画道路見直しに係る負担金。						
事業の効果	均衡ある都市環境の形成及び安全な居住環境の確保を図ることができる。						
次年度以降の見込み	継続してマスタープランの進行管理を行うとともに、耐震改修支援を継続して進める。						

## 令和3年度「住宅維持管理事業」の概要

所管課名	建設課	所管係名	管理係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり	前年度当初予算額	14,699 千円			
	政 策 名	2	便利で快適なまち	増 減 額	△ 1,228 千円			
	施 策 名	3	住宅の整備と空家対策	増 減 率	△ 8.4 %			
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	13,471 千円		1,050 千円	0 千円	0 千円	12,421 千円	0 千円
	構成比	100.0 %		7.8 %	0.0 %	0.0 %	92.2 %	0.0 %
	特定財源の名称			●社総金/除却事業(21頁)		●住宅使用料(18頁) ●駐車場使用料(18頁)		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		8	土木費	7	報償費	85 千円	住宅管理人17名	
				8	旅費	5 千円	普通旅費	
				10	需用費	2,500 千円	消耗品費370 電気料573 水道料57 修繕料1,500	
		項	項名称	11	役務費	536 千円	口座振替53 水道検査等40 建物災害共済5 公営住宅火災共済438	
5		住宅費	12	委託料	4,330 千円	消防設備432 浄化槽157 排水管625 EV保守1,452 定期検査1,100 受水槽164 植栽400		
			14	工事請負費	6,000 千円	老朽公営住宅除却3,000、施設修繕3,000		
目	目名称	18	負担金補助及び交付金	15 千円	地域住宅協議会10 公営住宅管理研修会5			
1	住宅管理費							
予 算 書 96～98頁								
事業の目的	住宅困窮者の生活の安定、社会福祉の増進を行う。							
事業の概要	町営住宅の維持管理等に係る経費。							
事業の効果	住宅に困窮している人へ、低価な家賃での住宅提供を図り、安定した生活に資する。							
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努めるとともに、使用料の収納率向上に向けて、訴訟や調停などの対策を進める。							

## 令和3年度「合併処理浄化槽設置整備事業」の概要


所管課名	上下水道課	所管係名	下水道係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり		前年度当初予算額	4,638 千円		
	政 策 名	3	環境に優しいまち		増 減 額	85 千円		
	施 策 名	3	上下水道の整備		比 率	1.8 %		
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 74～75頁</div>	総事業費		特定財源				一般財源	
	金 額	4,723 千円	国庫支出金 1,118 千円	県支出金 712 千円	地方債 0 千円	その他 0 千円	2,893 千円	
	構成比	100.0 %	23.7 %	15.1 %	0.0 %	0.0 %	61.3 %	
	特定財源の名称		●合併処理浄化槽設置整備事業(21頁)		●合併処理浄化槽設置整備事業(24頁)		-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	衛生費	8	旅費	2 千円	会議等旅費	
				12	委託料	33 千円	浄化槽台帳管理業務委託	
		項	項名称	18	負担金補助及び交付金	20 千円	福島県合併処理浄化槽普及促進協議会会費	
		1	保健衛生費	18	負担金補助及び交付金	4,668 千円	合併処理浄化槽設置整備事業補助金(11基)	
						千円		
					千円			
3	環境衛生費			千円				
事業の目的		下水道事業計画区域外の公共用水域の水質汚濁防止と生活環境の向上						
事業の概要		国見町に住民登録し、下水道事業計画区域外の個人住宅等で合併処理浄化槽を新たに設置する方に補助金を交付する。 補助額：工事費(限度額)【5人槽332千円、7人槽414千円、10人槽548千円】 撤去費：30～45千円(交付条件あり) 宅内配管：限度額300千円(交付条件あり)						
事業の効果		①合併処理浄化槽設置費補助により、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境や公衆衛生の向上を図ることができる。 ②令和2年度の成果：【5人槽7基、7人槽2基、10人槽1基】						
次年度以降の見込み		①循環型社会形成推進地域計画による継続事業 ②令和3年度は、11基の整備を予定。次年度以降についても同程度を見込む。						

合併処理浄化槽  
(竣工検査状況)



# 令和3年度「【下水道特会】公共下水道整備事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	上下水道課	所管係名	下水道係								
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり		前年度当初予算額	12,411 千円					
	政 策 名	3	環境に優しいまち		増 減 額	△ 9 千円					
	施 策 名	3	上下水道の整備		比 率	△ 0.1 %					
予 算 額	金 額	総事業費		特定財源			一般財源				
		12,402 千円		国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	5,100 千円	その他	74 千円
	構 成 比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	41.1 %	0.6 %	58.3 %			
		特定財源の名称				●下水道事業債(172頁) ●災害復旧事業債(172頁)		●受益者負担金(170頁)	-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		2	事業費	8	旅費	2 千円	会議等旅費				
10				需要費	3 千円	消耗品費					
1		事業費	13	使用料及び賃借料	105 千円	工事積算システム利用料					
			18	負担金補助及び交付金	5,265 千円	流域下水道整備事業負担金、災害復旧事業負担金					
目		目名称	26	公課費	7,027 千円	消費税納付金					
				千円							
				千円							
				千円							
				千円							
事業の目的	生活環境の改善と公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質の保全に資することを目的とする。										
事業の概要	流域下水道において、処理場施設の改築更新及び県北浄化センター復旧等について構成市町負担割合により費用負担していく。										
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が衛生的かつ快適に生活を営むことができる。</li> <li>・流域下水道について、令和3年度末の完全復旧に向けて県北浄化センターの復旧工事を推進する。</li> </ul>										
次年度以降の見込み	今後は下水道サービスを安定的に確保していくために適正な維持管理に努めるとともに施設の長寿命化を図る。併せて、流域下水道に関しては、継続して処理場施設の改築更新等に構成市町負担割合により費用を負担していく。										



# 令和3年度「【下水道特会】公共下水道施設管理事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

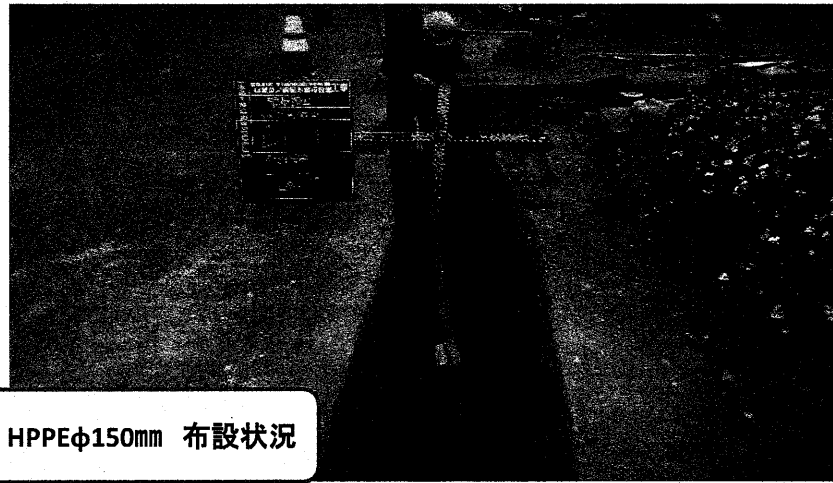
所管課名	上下水道課		所管係名	下水道係							
総合計画上の位置付け	目標	2	安全・安心、優しいまちづくり			前年度当初予算額	51,352 千円				
	政策名	3	環境に優しいまち			増減額	20,705 千円				
	施策名	3	上下水道の整備			比率	40.3 %				
予算額  予算書 175～176頁	総事業費		特定財源				一般財源				
			金額	72,057 千円	国庫支出金	1,300 千円		県支出金	0 千円	地方債	17,800 千円
	構成比	100.0 %	1.8 %	0.0 %	24.7 %	73.5 %	0.0 %				
	特定財源の名称		●社会資本整備総合交付金(170頁)		●公営企業会計適用債(172頁)		●下水道使用料(170頁)		-		
	内訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明細				
		2	事業費	8	旅費	2 千円	会議等旅費				
				10	需要費	703 千円	マンホールポンプ修繕費等				
項		項名称	11	役務費	345 千円	流域汚水水質試験等					
1		事業費	12	委託料	27,993 千円	地方公営企業法移行支援業務、下水道事業計画変更業務、マンホール点検業務等					
			13	使用料及び賃借料	264 千円	長寿命化データ処理システム賃借等					
目	目名称	14	工事請負費	12,600 千円	下水道管渠移設工事、公共柵設置工事等						
2	施設管理費	18	負担金補助及び交付金	30,150 千円	流域下水道維持管理負担金						
				千円							
事業の目的	下水道施設の適切な維持管理を行うことにより、将来にわたって安定的な下水道機能を確保する。										
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道汚水管渠施設の維持管理のため業務委託、工事等を行う。</li> <li>令和5年度地方公営企業法適用に向けた移行支援業務委託等。</li> </ul>										
事業の効果	計画的な維持補修を実施し、施設を延命化を図る。										
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努める。										



公共汚水柵設置工事実施状況

# 令和3年度「【水道事業】生活基盤施設耐震化等交付金事業(補助事業)」の概要

所管課名	上下水道課	所管係名	水道係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり	前年度当初予算額	24,100 千円			
	政 策 名	3	環境に優しいまち	増 減 額	28,840 千円			
	施 策 名	3	上下水道の整備	増 減 率	119.7 %			
予 算 額	金 額	総事業費		特定財源				自己財源
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
	構 成 比	52,940 千円	13,235 千円	0 千円	17,600 千円	17,000 千円	5,105 千円	
		100.0 %	25.0 %	0.0 %	33.2 %	32.1 %	9.6 %	
	特定財源の名称		●生活基盤施設耐震化等交付金事業(278頁)		●水道事業企業債(278頁)		●一般会計出資金(278頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		1	資本的支出	1	備用品費	69 千円	事務用品	
				2	賃借料	31 千円	コピー機使用料	
		項	項名称	3	工事請負費	52,840 千円	生活基盤施設耐震化等交付金事業	
		1	建設改良費			千円		
					千円			
目		目名称			千円			
1	配水施設拡張費			千円				
				千円				
事業の目的	災害等の緊急時における給水拠点確保のために、重要給水施設への配水管について耐震化をし、水道基盤の強化を図ることを目的とする。							
事業の概要	避難所等重要給水施設への配水管(基幹管路)布設替え事業 ●配水管布設替工事(2箇所) φ50~75mm管 L=680m ●配水管布設替完了箇所の舗装復旧工事(3箇所) 町道As L=858m							
事業の効果	重要給水施設配水管の耐震化等、水道基盤強化が図られる。							
次年度以降の見込み	●配水管布設替工事 L=240m ●配水管布設完了箇所の舗装復旧工事等 L=680m							



# 令和3年度「【水道事業】水道施設整備事業(単独事業)」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	上下水道課	所管係名	水道係								
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり	前年度当初予算額	54,100 千円						
	政 策 名	3	環境に優しいまち	増 減 額	△ 22,700 千円						
	施 策 名	3	上下水道の整備	増 減 率	△ 42.0 %						
予 算 額	総事業費		特定財源			自己財源					
	金 額	31,400 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	31,400 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
	特定財源の名称									-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		1	資本的支出	1	委託料	4,400 千円	設計業務委託				
2				工事請負費	27,000 千円	配水管布設替工事等					
項		項名称			千円						
1		建設改良費			千円						
					千円						
目	目名称			千円							
2	配水設備費			千円							
				千円							
事業の目的	安全で安定した水道水の供給を図るため、給水区域内における老朽化した配水管等の布設替を進めることを目的とする。										
	事業の概要										
	事業の効果										
	次年度以降の見込み										
<p>将来にわたり安定で良質な水道水の給水確保が実現できる。</p> <p>給水区域内における配水管等の維持修繕。</p>											

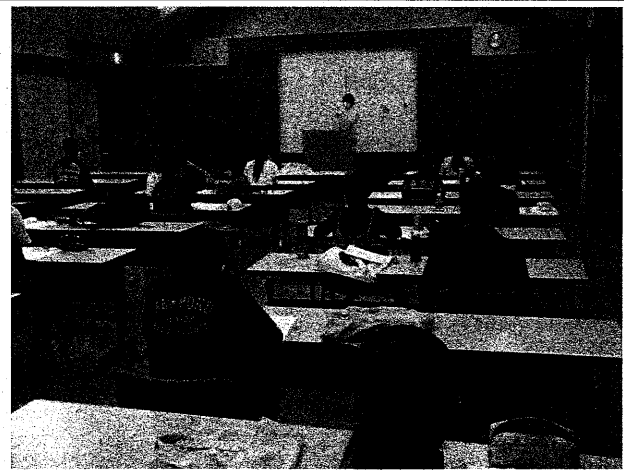


## 令和3年度「コミュニティ・スクール事業等」の概要

所管課名	学校教育課	所管係名	学校教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の 位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	300 千円		
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち	増 減 額	0 千円		
	施 策 名	2	地域とともにある教育	比 率	0.0 %		
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 106頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源
	金 額	300 千円	国庫支出金 千円	県支出金 200 千円	地方債 0 千円	その他 0 千円	100 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	66.7 %	0.0 %	0.0 %	33.3 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		10	教育費	7	報償費	10 千円	講師報償費
				8	旅費	154 千円	費用弁償、特別旅費
		項	項名称	10	需用費	136 千円	消耗品費、印刷製本費
		1	教育総務費			千円	
		目	目名称			千円	
	2	事務局費			千円		
事業の目的	学校・家庭・地域の一体化と保幼小中連携一貫教育						
事業の概要	学校運営方針の承認 学校教育活動の支援、学校運営状況の評価、保幼小中連携一貫教育についての支援						
事業の効果	学校・家庭・地域が役割と責任を自覚し、地域全体で教育活動を支援する意識が高まる。 特に学校支援地域本部事業と連携を図ったことにより、学校支援ボランティア活動が拡充する。						
次年度以降の見込み	次年度以降の継続事業						

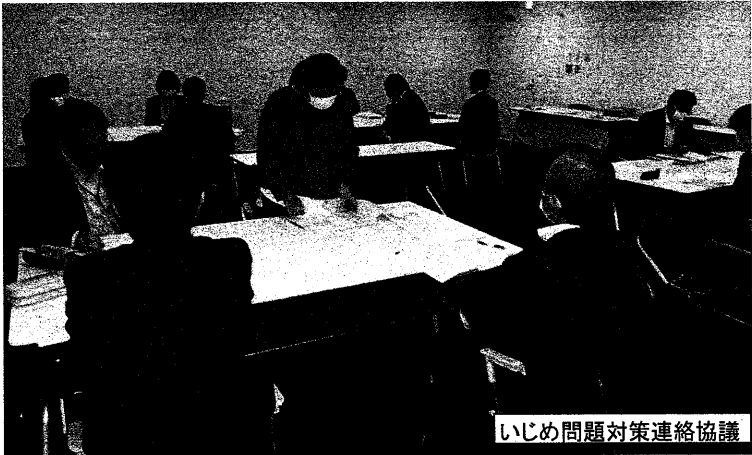
# 令和3年度「地域学校協働本部事業(学習支援 公営塾等)」の概要

所管課名	学校教育課	所管係名	学校教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	7,011 千円			
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち	増 減 額	2,354 千円			
	施 策 名	2	地域とともにある教育	比 率	33.6 %			
予 算 額  予算書 106頁	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	9,365 千円		0 千円	6,042 千円	0 千円	0 千円	3,323 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	64.5 %	0.0 %	0.0 %	35.5 %
	特定財源の名称			●地域学校協働本部事業(25頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	7	報償費	2,964 千円	コーディネーター、指導者等謝礼	
				8	旅費	596 千円	費用弁償(評価検証委員会、コーディネーター研修、車代)	
		1	教育総務費	10	需用費	648 千円	消耗品	
				11	役務費	157 千円	電話料、はがき、切手	
2		事務局費	12	委託料	5,000 千円	中学生対象公営塾		
				目 目名称	千円			
				千円				
				千円				
事業の目的	学校と地域が相互に連携協力を深め、地域総ぐるみの教育の実現を図ることにより、地域に根差した人間性豊かな子どもの育成を図るとともに、地域学校協働活動を通して地域の活性化を図ります。							
事業の概要	県補助事業を活用する。 ①地域人材と学校を結び地域全体で子どもたちの学びを支援するため地域コーディネーターを配置する。 ②多様な学習機会を確保し確かな学力の向上を図るため学習コーディネーターを配置する。 ③事業の効果を検証するため評価検証委員会を設置する。 ④各学校に合わせた学習支援の実施。令和3年度より、中学生対象の公営塾を実施。							
事業の効果	地域の特色を生かした学習支援により地域の将来を担う人材を育成するとともに、学習の成果を生かし地域の活性化を図る。							
次年度以降の見込み	継続的な取組により事業の充実を図る。							



# 令和3年度「いじめ防止対策事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	学校教育課		所管係名	学校教育係				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	154 千円	
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち			増 減 額	0 千円	
	施 策 名	2	子どもの権利の保護			比 率	0.0 %	
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	154 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	154 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	
	特定財源の名称						-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	1	報酬	70 千円	専門委員報酬	
				7	報償費	10 千円	講師謝礼	
		項	項名称	8	旅費	74 千円	費用弁償	
		1	教育総務費			千円		
					千円			
目		目名称			千円			
2	事務局費			千円				
				千円				
事業の目的	子どものいじめ防止に努め、健全育成を図る。							
事業の概要	いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止問題専門委員会の開催。							
事業の効果	いじめ防止に関係する機関、団体の連携が推進される。 いじめ防止の対策が明確に示される。							
次年度以降の見込み	次年度以降の継続事業							

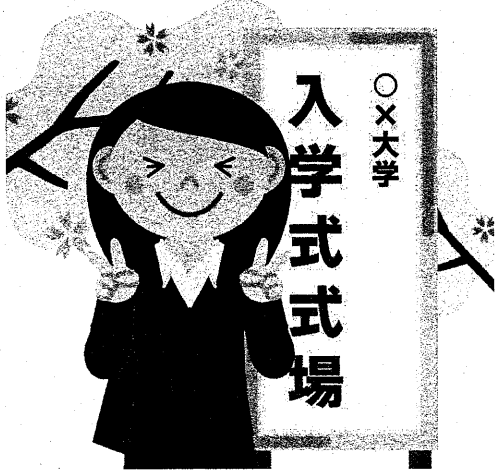
## 令和3年度「学力向上対策事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	学校教育課	所管係名	学校教育係				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	2,882 千円		
	政 策 名	2	生きる力をはぐむまち	増 減 額	△ 152 千円		
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成	比 率	△ 5.3 %		
予 算 額  予算書 107～108頁	総事業費			特定財源			一般財源
	金 額	2,730 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	構成比	100.0 %		0 千円	850 千円	0 千円	0 千円
	特定財源の名称			0.0 %	31.1 %	0.0 %	0.0 %
				●森林環境交付金事業 (24頁)			-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		10	教育費	7	報償費	425 千円	講師謝金(外国籍児童生徒サポーター謝礼)
				8	旅費	258 千円	費用弁償、特別旅費
		項	項名称	10	需用費	42 千円	消耗品費
		1	教育総務費	11	役務費	30 千円	通信運搬費(郵便料)、サポーター損害保険
			12	委託料	1,404 千円	学力診断テスト、バス運行委託	
目		目名称	13	使用料及び賃借料	28 千円	自動車借上料、入場料	
3	学力向上対策費	18	負担金補助金及び交付金	543 千円	教職員研修会時負担金、中学2・3年生英語数学検定試験1/2負担金		
				千円			
事業の目的	学力向上、運動能力・体力向上 英語教育の充実、外国籍児童生徒の日本語指導						
事業の概要	小中学生学力テストの実施、体力テストの実施 中学2年生の英会話体験活動事業 中学2・3年生の英語・数学検定試験受験料補助金 森林環境交付金事業(小学校、中学校) 日本語習得のサポートを行う。						
事業の効果	学力・体力テストの結果を分析し、自校の課題を明確にし、授業の改善・充実を図る。 英語への関心、学習意欲の維持向上及びコミュニケーション能力の伸長。 日本語ので授業の理解を高める。						
次年度以降の見込み	次年度以降の継続事業						



## 令和3年度「育英事業」の概要

所管課名	学校教育課	所管係名	学校教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	2,483 千円			
	政 策 名	2	生きる力をはぐむまち	増 減 額	△ 243 千円			
	施 策 名	3	学習環境の充実	比 率	△ 9.8 %			
予 算 額  予算書 10812頁	総事業費		特定財源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	2,240 千円		0 千円	0 千円	0 千円	2,214 千円	26 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	98.8 %	1.2 %
	特定財源の名称						<ul style="list-style-type: none"> <li>●奨学基金利子(27頁)</li> <li>●奨学基金繰入金(29頁)</li> <li>●奨学資金返還金(30頁)</li> </ul>	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	1	報酬	20 千円	貸付審査会委員報酬	
				11	役務費	5 千円	手数料	
		1	教育総務費	18	負担金補助及び交付金	1 千円	貸付審査会委員	
				20	貸付金	2,210 千円	修学資金	
			24	積立金	4 千円	積立金		
目		目名称			千円			
4	育英事業費			千円				
事業の目的		町内出身の学生が能力があるにもかかわらず経済的な理由により修学困難と認められたとき、奨学資金を貸与する。						
事業の概要		高校、高等専門学校、大学で学びたい学生に奨学金、入学支度金を貸与する。						
事業の効果		修学資金 7名(大学7名)						
次年度以降の見込み		次年度以降の継続実施						

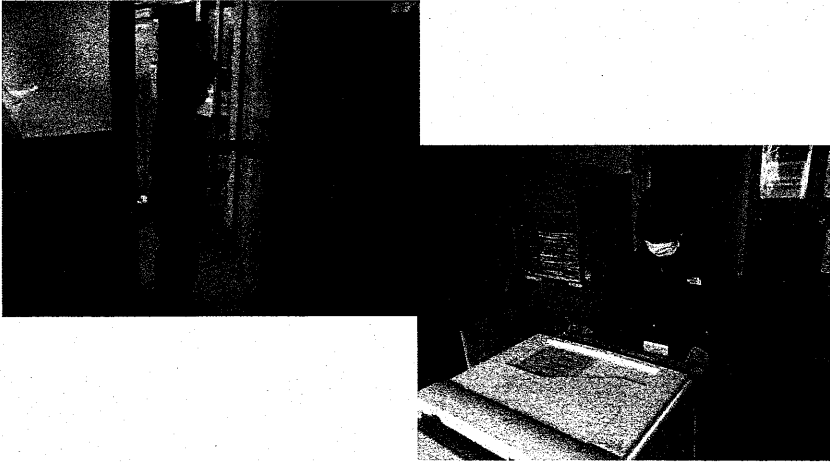


## 令和3年度GIGAスクール推進事業(小中学校ICT事業)

所管課名	学校教育課	所管係名	学校教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	10,378 千円			
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち	増 減 額	△ 616 千円			
	施 策 名	3	学習環境の充実	比 率	△ 5.9 %			
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 110~115頁</div>	総事業費		特定財源				一般財源	
			金額	9,762 千円	0 千円	0 千円		0 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	12	委託料	1,595 千円	小学校校務支援システム、ネットワーク運用管理 ※10-2-1学校管理費	
				11	役務費	330 千円	ルーター通信費 ※10-2-2教育振興費	
		項	項名称	13	使用料及び賃借料	2,990 千円	小学校PC 電子黒板 デジタル指導書 フィルタリングソフト借上料 ※10-2-2教育振興費	
		2 3	小学校費 中学校費	12	委託料	1,595 千円	中学校校務支援システム、ネットワーク運用管理 ※10-3-1学校管理費	
				11	役務費	330 千円	ルーター通信費 ※10-3-2教育振興費	
目		目名称	13	使用料及び賃借料	2,922 千円	中学校PC 電子黒板 デジタル指導書 フィルタリングソフト借上料 ※10-3-2教育振興費		
1 2	学校管理費 教育振興費							
事業の目的		情報通信技術の急激な進展に伴い、社会のあらゆる分野での情報化が進んでおり、高度情報通信社会を生き抜くために、児童・生徒が情報活用能力を身に付け、更に個別主体的に深い学びを進められるようにする。						
事業の概要		1人に1台の端末機の配置により、ICT技術を活用した教育活動推進する。教師による校務の合理化を進める教務支援システムの導入。						
事業の効果		継続的にICTを活用することにより、主体的で深い学びへの授業改革を行うことができる。学習過程における子供たちの学びが深まり、学力向上に結び付き、情報活用能力、プログラミング的思考力を身につけることができる。						
次年度以降の見込み		次年度以降の継続事業						

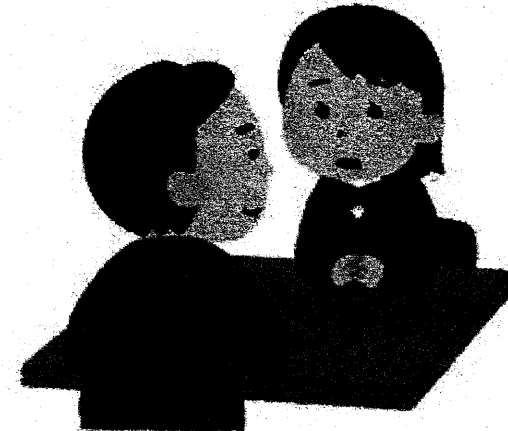


# 令和3年度スクールサポートスタッフ事業の概要


所管課名	学校教育課	所管係名	学校教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	千円		
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち	増 減 額	4,236 千円		
	施 策 名	3	学習環境の充実	比 率	皆増 %		
予 算 額  予算書 109～112頁	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	4,236 千円	0 千円	千円	0 千円	0 千円	4,236 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称		●地域学校協働本部事業(25頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		10	教育費	1	報酬	3,668 千円	SSS報酬(各校1名)
				3	職員手当等	568 千円	社会保険、雇用保険(各校1名)
		項	項名称			千円	
		2	小学校費			千円	
3		中学校費			千円		
目		目名称			千円		
1	学校管理費			千円			
事業の目的	地域人材等を活用し、郷土教育や体験活動の充実など地域に根差した豊かな学びを推進する。また、個に応じた多様な学びができるよう放課後等に学習できる環境を工夫する。						
事業の概要	令和2年度までは県配置となっていたものが、町へ移管となった。学習プリントの印刷、学年・学級事務(教材・教具準備、軽微な事務連絡・調整、調査集計・回答書案作成等)を行う。						
事業の効果	地域人材の活用等により、教職の負担も軽減された。また、学校内のアルコール消毒等を丁寧に行うことにより、新型コロナウイルス感染予防に効果があると考えられる。						
次年度以降の見込み	継続的な取組により事業の充実を図る。						

# 令和3年度「スクールソーシャルワーカー事業」の概要

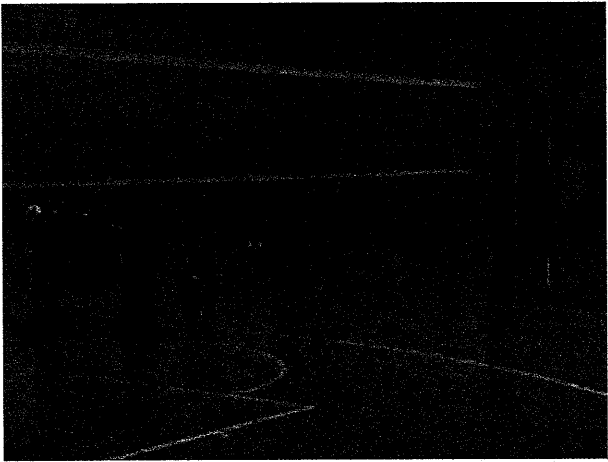
所管課名	学校教育課		所管係名	学校教育係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	2,355 千円	
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち			増 減 額	28 千円	
	施 策 名	3	学習環境の充実			比 率	1.2 %	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	2,383 千円		0 千円	2,353 千円	0 千円	0 千円	30 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	98.7 %	0.0 %	0.0 %	1.3 %
	特定財源の名称			●スクールソーシャルワーカー緊急派遣(26頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	1	報酬	2,205 千円	会計年度任用職員(SSW)報酬	
				8	旅費	79 千円	会計年度任用職員(SSW)通勤手当	
		2	小学校費	8	旅費	15 千円	普通旅費	
				10	需用費	54 千円	消耗品費	
目		目名称	11	役務費	30 千円	通信運搬費		
						千円		
					千円			
					千円			
事業の目的	児童生徒が抱える様々な問題を解決するため、環境に働きかけ関係機関との連絡調整を行う。							
	事業の概要							
	保護者、教員、関係団体と連携をとりながら児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援する。							
	事業の効果							
スクールソーシャルワーカーを小学校と中学校に派遣して、問題を抱える児童生徒の家庭訪問、個人面談などを行い、不登校の改善など成果を上げている。								
次年度以降の見込み								
次年度以降の継続実施								



## 令和3年度「国見小学校スクールバス運行事業」の概要

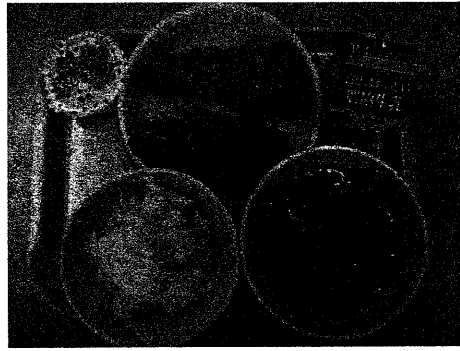
所管課名	学校教育課	所管係名	学校教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の 位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	30,258 千円			
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち	増 減 額	△ 378 千円			
	施 策 名	3	学習環境の充実	比 率	△ 1.2 %			
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 110頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			金額	29,880 千円	千円	0 千円	0 千円	0 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	12	委託料	29,880 千円	送迎委託	
		項	項名称			千円		
		2	小学校費			千円		
		目	目名称			千円		
		1	学校管理費			千円		
事業の目的	平成24年4月1日の小学校統合により旧藤田小学校学区外の遠距離通学児童の安全安心な通学を図っていたが、昨年度より石母田集会所にも停留場を設けた。							
事業の概要	児童の登下校の安全に配慮し、スクールバスを町内6コース運行する。							
事業の効果	遠距離で通学が困難な児童の負担軽減を図る。 利用児童数により、運行経路やバス停の見直しが求められる。							
次年度以降の見込み	次年度以降、継続した運行予定。							

## 令和3年度「県北中学校部活動支援事業」の概要

所管課名	学校教育課	所管係名	学校教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	2,000 千円			
	政 策 名	2	生きる力をはぐむまち	増 減 額	0 千円			
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成	比 率	0.0 %			
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">予算書 115頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			金額	2,000 千円	0 千円	0 千円		0 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称							-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	18	負担金補助及び交付金	2,000 千円	部活動奨励補助金	
		項	項名称			千円		
		3	中学校費			千円		
		目	目名称			千円		
		2	教育振興費			千円		
					千円			
事業の目的	部活動を通じた子どもたちの健全な育成活動の振興を図る。							
事業の概要	県北中体育文化後援会に県北中学校部活動奨励として、上部大会(県大会・東北大会)への出場経費の一部を補助する。							
事業の効果	部活動の成果により上部大会への出場は、生徒の目標であり励みである。また、保護者の負担軽減にもなる。							
次年度以降の見込み	次年度以降の継続実施							

# 令和3年度「給食センター運営事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	学校教育課	所管係名	給食センター									
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	80,631 千円							
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち	増 減 額	△ 4,379 千円							
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成	比 率	△ 5.4 %							
予 算 額	総事業費		特定財源									
	金 額	76,252 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	541 千円	地方債	0 千円	その他	4,217 千円	一般財源	71,494 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.7 %	0.0 %	5.5 %	93.8 %	特定財源の名称		●給食モニタリング 地産地消推進事業(25頁)	●給食事業収入(32頁)	-
	内訳		款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
予 算 書 131~133頁	内 訳	10	教育費	1	報酬	73 千円	給食センター運営委員報酬					
				8	旅費	24 千円	費用弁償18、普通旅費6					
			項	項名称	10	需用費	43,893 千円	消耗品費1,024、燃料費3,205、光熱水費3,527、修繕料500、賄材料費35,637				
		6	保健体育費	11	役務費	528 千円	電話137、車検46、検査213、建物共済47、自賠責21、自動車共済50、タイヤ交換14					
				12	委託料	30,786 千円	調理業務24,925、放射能検査業務677、炊飯加工業務1,112、施設管理4,072					
				13	使用料及び賃借料	20 千円	清掃用具20					
			目	目名称	14	工事請負費	400 千円	施設修繕工事				
		3	学校給食費	17	備品購入費	490 千円	給食用食器購入					
				18	負担金補助及び交付金	17 千円	納付金					
				26	公課費	21 千円	自動車重量税					
事業の目的	園児・児童・生徒への安全安心な給食の提供をする。 子どもたちの給食費無料化を進め、子育て世代の負担軽減を図る。						 <p>【給食センターでの食育の取り組みの一例】 令和2年7月の『地産地消推進事業』の給食</p> <p>[献立] ごはん、牛乳、県産豚肉生姜焼き、ごま酢あえ、つくね汁、福島ももゼリー</p> <p>※福島県産食材 米(町内産)、豚肉、豚肉つくね</p>					
事業の概要	①学校給食調理等業務 ②安全な食材確保(放射性物質測定業務) ③施設維持管理運営											
事業の効果	学校給食を活用した食育を推進することで、「食べる力」「感謝の心」「郷土愛」が育まれる。											
次年度以降の見込み	次年度以降継続											

# 令和3年度「藤田保育所運営事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	幼児教育課	所管係名	幼児教育係								
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	71,398 千円						
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち	増 減 額	△ 10,590 千円						
	施 策 名	1	子育て支援の推進	比 率	△ 14.8 %						
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源				
	金額	60,808 千円	国庫支出金	1,580 千円	県支出金	2,308 千円	地方債	0 千円	その他	8,253 千円	48,667 千円
	構成比	100.0 %	2.6 %	3.8 %	0.0 %	13.6 %	80.0 %				
	特定財源の名称		●地域の子ども・子育て支援事業交付金(20頁)	●地域の子ども～(24頁)	●被災した子どもの～(24頁)	●保護者負担金(17頁)	●スポーツ保険納付金(31頁)	●給食実費収入(32頁)	-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		3	民生費	1	報酬	33,816 千円	会計年度任用職員報酬				
				3	職員手当等	5,927 千円	会計年度任用職員期末手当				
				7	報償費	230 千円	講師謝礼、記念品				
		項	項名称	8	旅費	967 千円	会計年度任用職員通勤手当、講師費用弁償、普通旅費、特別旅費				
				10	需用費	11,914 千円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料、賄材料費、医薬材料費				
2		児童福祉費	11	役務費	717 千円	通信運搬費、手数料、火災保険料					
			12	委託料	6,218 千円	保護者連絡網サービス運用、消防、空調、給食調理、警備、電気工作物					
目		目名称	13	使用料及び賃借料	212 千円	自動車借上、清掃用具借上、コピー機借上					
			14	工事請負費	105 千円	LED外灯設置					
	17		備品購入費	631 千円	絵本等						
	18		負担金補助及び交付金	71 千円	スポーツ保険、県社協負担金、保育協議会負担金						
事業の目的	地方自治法第244条第1項及び児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、保護者の委託を受けて、保育を必要とするその乳児等を保育する。					 					
事業の概要	①藤田保育所において、0歳児からの保育 ②延長・一時預り等の特別保育事業を実施 ③子育て支援センターでの育児相談・指導、情報提供 ④子育てサークル等の育成支援を実施										
事業の効果	保育を必要とする乳児等を保育し、子どもの健やかな成長と発達の支援を行う。 就労等で保育できない保護者の子育て支援策となる。 在宅保育者が子育てサークル等へ積極的に参加できる。										
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施する。										

予算書  
66～68頁

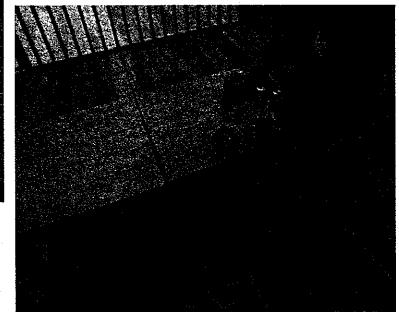
## 令和3年度「こども鑑賞教室事業」の概要

所管課名	幼児教育課	所管係名	幼児教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。									
総合計画上の 位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前年度当初予算額	165 千円							
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち		増 減 額	0 千円							
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成		比 率	0.0 %							
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 70頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源						
			金額	165 千円		国庫支出金			0 千円	県支出金	165 千円	地方債	0 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	100.0 %		0.0 %	0.0 %		0.0 %	0.0 %		
	特定財源の名称			●被災した子どもの健康・生活対策(24頁)				-					
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細						
		3	民生費	12	委託料	165 千円	業務委託(人形劇上演)						
		項	項名称			千円							
		2	児童福祉費			千円							
		目	目名称			千円							
		3	児童健全育成費			千円							
事業の目的	プロによる人形劇を鑑賞し、語りや人形の動き、音楽による演出等から表現の面白さや感動を体験する。												
事業の概要	くにみ幼稚園において人形劇の公演を実施。												
事業の効果	園児が体験した劇の面白さや感動を、遊びの中に活かしていく。												
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施する。												



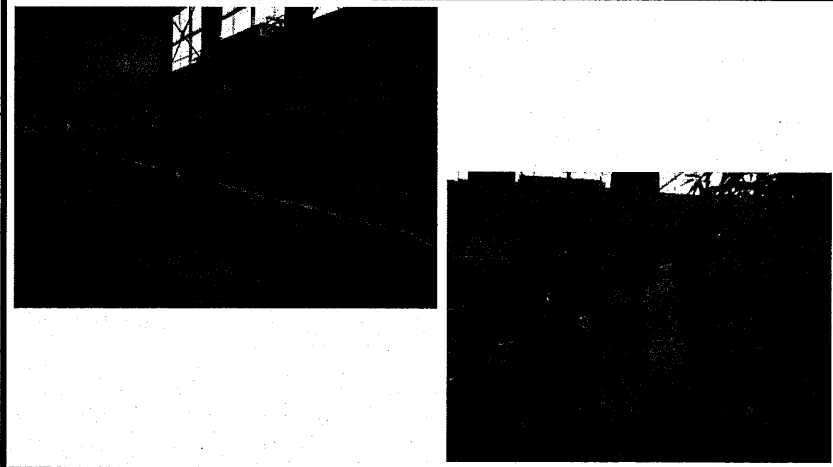
# 令和3年度「子ども木育広場つながる～む運営事業(道の駅)」の概要

所管課名	幼児教育課	所管係名	幼児教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	15,735 千円						
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち	増 減 額	△ 5 千円						
	施 策 名	1	子育て支援の推進	比 率	0.0 %						
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源				
	金 額	15,730 千円	国庫支出金	4,414 千円	県支出金	4,414 千円	地方債	0 千円	その他	6,902 千円	0 千円
	構成比	100.0 %	28.1 %	28.1 %	0.0 %	43.8 %	0.0 %				
	特定財源の名称		●地域の子ども・子育て支援事業交付金(20 頁)	●地域の子ども・子育て支援事業交付金(24 頁)		●ふるさと振興基金繰入金(29 頁)	—				
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
3		民生費	12	委託料	15,730 千円	地域子育て支援センター運営委託					
項		項名称			千円	【内訳】人件費(給与、通勤手当、社会保険料)					
2		児童福祉費			千円	【内訳】事業費(事務用品、衛生・安全用品等)					
目		目名称			千円						
3		児童健全育成費			千円						
事業の目的	乳幼児のいる子育て中の親子(概ね3歳未満の子どもとその保護者)の交流や育児相談等のできる場を提供する。										
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進</li> <li>②子育てに関する相談、援助、情報提供</li> <li>③子育てサークルや子育て家庭と地域の世代交流に係る支援</li> <li>④施設を活用した一時預かり</li> </ul>										
事業の効果	道の駅構内に設置のため、県内外からの親子が利用でき、イベントや子育てサークル、一時預りなど、施設の特長を活かした子育て支援事業を展開する。 また、つながる～むの利用者へ町内の屋内遊び場「ももたん広場」を案内するなど相乗効果もあり、国見町の子育て支援のPRにもつながる。										
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施する。										



## 令和3年度「くにみもたん広場運営事業」の概要


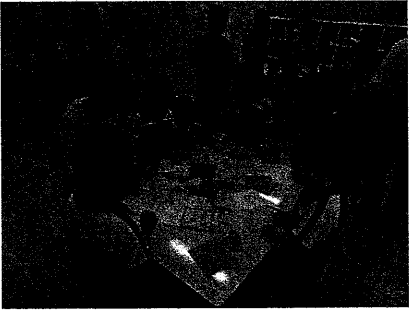
所管課名	幼児教育課	所管係名	幼児教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前年度当初予算額	12,913 千円		
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち		増 減 額	△ 573 千円		
	施 策 名	1	子育て支援の推進		比 率	△ 4.4 %		
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 68～69頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			金額	12,340 千円	国庫支出金 0 千円	県支出金 7,340 千円		地方債 0 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	59.5 %	0.0 %	6.8 %	33.7 %
	特定財源の名称					●被災した子どもの健康・生活対策～(24頁)	●加工施設電気代精算金(33頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		3	民生費	1	報酬	7,587 千円	会計年度任用職員報酬	
				3	職員手当等	1,573 千円	会計年度任用職員期末手当	
		2	児童福祉費	7	報償費	30 千円	記念品	
				8	旅費	169 千円	会計年度人用職員通勤手当、特別旅費	
		目	目名称	10	需用費	2,728 千円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費、医薬材料費	
11				役務費	66 千円	電話料、建物災害共済		
3		児童健全育成費	12	委託料	187 千円	消防設備点検、施設警備		
				千円				
事業の目的	震災後、屋外で安心して遊べない状況があったことから、町内の身近な場所に屋内遊び場を設置し、子どもたちがのびのびと体を動かし、遊ぶことが出来る環境を整備する。							
事業の概要	既存の森江野町民センター体育館内に大型遊具等を設置した、屋内遊び場「くにみもたん広場」を運営する。							
事業の効果	子ども達の運動量の確保やストレス解消につながる。 「親子のふれあいの場」や保護者同士の交流による「子育ての場」「地域コミュニケーションの場」ともなる。 イベントの開催等により町外からの利用者も見込まれる。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施する。							



## 令和3年度「子どもクラブ運営事業(国見小学校)」の概要

所管課名	幼児教育課	所管係名	幼児教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	31,188 千円			
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち	増 減 額	4,459 千円			
	施 策 名	2	地域とともにある教育	比 率	14.3 %			
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 68～70頁</div>	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
	金 額	35,647 千円	国庫支出金 8,228 千円	県支出金 8,228 千円	地方債 0 千円	その他 3,707 千円	15,484 千円	
	構成比	100.0 %	23.1 %	23.1 %	0.0 %	10.4 %	43.4 %	
	特定財源の名称		●地域の子ども・子育て支援事業交付金(20頁)		●地域の子ども・子育て支援事業交付金(24頁)		●保護者負担金(17頁) ●スポーツ保険(31頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		3	民生費	1	報酬	27,428 千円	会計年度任用職員報酬	
				3	職員手当等	5,223 千円	会計年度任用職員期末手当	
		項	項名称	8	旅費	557 千円	会計年度任用職員通勤手当、特別旅費	
		2	児童福祉費	10	需用費	1,505 千円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料、医薬材料費	
				11	役務費	244 千円	通信運搬費、手数料、火災保険料、損害保険料	
目		目名称	12	委託料	340 千円	消防設備点検、施設警備		
3		児童健全育成費	13	使用料及び賃借料	30 千円	清掃用具借上		
	17		備品購入費	320 千円	FF式ストーブ一式			
事業の目的	放課後において保護者の就労等により家庭での保育が困難な児童を対象とし、適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る。						 	
事業の概要	日中保護者のいない家庭の国見小学校1年生から6年生までの児童を対象に専用施設において、適切な生活の場を提供する。							
事業の効果	指導員の支援により毎日の学習や生活習慣の定着、活動内容の工夫や異学年交流など放課後の生活がより充実したものとなる。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施する。							

## 令和3年度「預かり保育運営事業(くにみ幼稚園)」の概要

所管課名	幼児教育課	所管係名	幼児教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	21,652 千円			
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち	増 減 額	△ 617 千円			
	施 策 名	1	子育て支援の推進	比 率	△ 2.8 %			
予 算 額  予算書 68～70頁	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			金額	21,035 千円	国庫支出金 536 千円	県支出金 6,885 千円		地方債 0 千円
	構成比	100.0 %		2.5 %	32.8 %	0.0 %	0.0 %	64.7 %
	特定財源の名称			●地域の子ども・子育て支援事業交付金(20頁)	●子育てのための施設等利用～(23頁) ●地域の子ども・子育て支援～(24頁)		-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		3	民生費	1	報酬	15,147 千円	会計年度任用職員報酬	
				3	職員手当等	2,809 千円	会計年度任用職員期末手当	
		2	児童福祉費	8	旅費	296 千円	会計年度任用職員通勤手当	
				10	需用費	283 千円	消耗品、修繕料、医薬材料費	
		目	目名称	12	委託料	50 千円	砂場入替	
13				使用料及び賃借料	30 千円	清掃用具借上		
3	児童健全育成費	14	工事請負費	2,420 千円	預かり保育保育室・多目的スペース 床改修工事			
					千円			
事業の目的	降園後保護者が就労等により、家庭にいない園児を対象に適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る。					 		
事業の概要	くにみ幼稚園の降園後、保護者のいない家庭の園児に対して、預かり保育を実施する。							
事業の効果	くにみ幼稚園入園児の68.7%(令和3年2月1日現在)が利用しており、就労等で降園後の家庭保育が困難な世帯の子育て支援策となる。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施する。							

## 令和3年度「未就学児体力向上支援事業」の概要

所管課名	幼児教育課	所管係名	幼児教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の 位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	214 千円		
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち	増 減 額	70 千円		
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成	比 率	32.7 %		
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 68～69頁</div>	総事業費			特定財源			一般財源
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	金 額	284 千円		千円	284 千円	千円	千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %
	特定財源の名称			●被災した子どもの健康・生活対策(24頁)			-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		3	民生費	7	報償費	83 千円	講師謝礼
				8	旅費	101 千円	講師費用弁償
		項	項名称	10	需用費	100 千円	消耗品
		2	児童福祉費			千円	
					千円		
					千円		
目	目名称			千円			
3	児童健全育成費			千円			
				千円			
事業の目的	震災以降、子どもたちの肥満や運動能力の低下がみられるため、遊びを通した未就学児の運動能力・体力の向上を目的とする。						
事業の概要	未就学児(4・5歳児)を対象に専門家による運動教室を実施することにより、『遊び』を通して楽しみながら体力・運動能力の向上を図る。						
事業の効果	未就学児の現在の体力・運動能力を把握し、遊びを通した運動能力向上プログラムに楽しく取り組むことにより、肥満防止とともに運動習慣を身に付ける。						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施する。						

# 令和3年度「幼児ことばの教室事業(くにみ幼稚園)」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	幼児教育課		所管係名	幼児教育係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	226 千円
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち			増 減 額	38 千円
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成			比 率	16.8 %
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	264 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	264 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
10		教育費	8	旅費	121 千円	言語指導員研修	
			10	需用費	63 千円	言語指導教材	
4		幼稚園費	11	役務費	36 千円	電話料	
			18	負担金補助及び交付金	44 千円	会議・研修負担金	
					千円		
目		目名称			千円		
1	幼稚園費			千円			
				千円			
事業の目的	言語障がい及び言葉の発達の遅れが見られる未就学児を対象とした言語指導を行うことにより、発音の改善や円滑なコミュニケーション力の育成を図る。						
事業の概要	言語障がい及び言葉の発達の遅れが見られる未就学児を対象に定期的な言語指導、保護者への助言を行う。						
事業の効果	幼児期において、早期の段階で指導を行うことにより、改善の効果が期待できる。						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施する。						



## 令和3年度「くにみ幼稚園運営事業」の概要

所管課名	幼児教育課	所管係名	幼児教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	37,752 千円			
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち	増 減 額	7,067 千円			
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成	比 率	18.7 %			
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	44,819 千円	0 千円	0 千円	0 千円	37 千円	44,782 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.1 %	99.9 %	
	特定財源の名称						●スポーツ保険納付金 (31頁)	-
	予 算 書 115～118頁	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
			10	教育費	1	報酬	29,409 千円	会計年度任用職員報酬
					3	職員手当等	6,097 千円	会計年度任用職員期末手当
			項	項名称	7	報償費	382 千円	英語講師、研修講師謝礼、修了記念品
					8	旅費	768 千円	会計年度任用職員通勤手当、費用弁償、普通旅費、特別旅費
4			幼稚園費	10	需用費	4,860 千円	消耗品、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料、医薬材料費	
				11	役務費	1,158 千円	通信運搬費、手数料、火災保険料	
				12	委託料	1,435 千円	消防、浄化槽、電気工作物、排水パイプ、園舎警備、健康管理諸検査、バス運行	
目			目名称	13	使用料及び賃借料	369 千円	自動車借上、AED借上、清掃用具借上、コピー・印刷機借上	
				14	工事請負費	72 千円	屋内消火栓ホース更新工事	
	17	備品購入費		73 千円	くぎってフェンス(遊びの場づくりの「衝立」)			
	18	負担金補助及び交付金		196 千円	スポーツ保険、公立園長会負担金、通園費補助金			
	18	負担金補助及び交付金		196 千円	スポーツ保険、公立園長会負担金、通園費補助金			
1	幼稚園費							
事業の目的	地方自治法第244条第1項並びに学校教育法第77条の規定に基づき、幼稚園を設置し、就学前の幼児教育を目的とする。							
事業の概要	くにみ幼稚園において、3歳児から5歳児までの3年間、意図的環境、計画的な指導援助もと幼児教育を行う。また、担任、副担任、発達支援員配置によるきめ細かな指導と教育を行うことで心身の健やかな成長を促進する。 年少から年長までそれぞれの発達段階に沿った計画に基づき、楽しく英語活動を行う。							
事業の効果	3歳児から、意図的環境のもと、幼児教育(発達段階に沿った援助、個々に応じた継続的な支援)を行うことで、就学前の生活・学習の基盤の形成、小学校とのスムーズな接続に寄与する。 幼児期から英語に親しむことで、小学校からの英語学習に楽しかった体験を活かし、意欲をもって取り組むことができる。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施する。							



# 令和3年度「社会教育総務事業」の概要

所管課名	生涯学習課	所管係名	生涯学習係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	6,905 千円			
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち	増 減 額	56 千円			
	施 策 名	1	生涯学習の推進	増 減 率	0.8 %			
予 算 額	金額	総事業費		特定財源				一般財源
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.2 %	99.8 %
	特定財源の名称						●利子および配当金(文教施設整備基金利子) (30頁)	—
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	1	報酬	4,401 千円	社会教育委員、会計年度任用職員	
				3	職員手当等	891 千円	会計年度任用職員	
				7	報償費	153 千円	報償、記念写真	
		5	社会教育費	8	旅費	165 千円	普通旅費	
10				需用費	237 千円	消耗品費、式典費、印刷製本費		
1		社会教育総務費	11	役務費	18 千円	成人式白布		
			12	委託料	206 千円	成人式記念品制作、駐車場案内		
			18	負担金補助及び交付金	876 千円	負担金、補助金(婦人会連絡協議会、青少年育成町民会議)		
		24	積立金	14 千円	文教施設整備基金利子			
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>国見町の社会教育の振興のために社会教育法に基づく社会教育委員及び社会教育指導員を置く。</li> <li>新成人として、社会的な権利義務が付与された次代を担う若人たちを祝福するとともに、改めて信義と誠実の自覚を促す式典を催す。</li> </ul>				<p>町民憲章</p> <p>わたくしたちは みちのくの古跡のほitori あつかし山の美しい山なみを背景に 阿波隈川の清い流れにうるおう 景勝の地に住んでいます。</p> <p>わたくしたちは 国見町民であることによるこびと誇りをもち 心をあわせて、希望にみちた 生きがいのある町 づくりのために町民憲章を定めます。</p> <p>【あたたかく、たすけあう町をつくりましょう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やさしく、愛情をもってまじわりましょう。</li> <li>老人や子どもをいたり、希望をもたせましょう。</li> <li>なごやかで平和な、明るい家庭をつくりましょう。</li> </ul> <p>【楽しく働いて、豊かな町をつくりましょう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創意をもって、仕事にはげみましょう。</li> <li>物を大切に、工夫をこらして生活を豊かにしましょう。</li> <li>はげましあって、産業をさかんにしましょう。</li> </ul> <p>【すこやかで、よろこびに生きる町をつくりましょう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康で、たくましいからだづくりをしましょう。</li> <li>希望をもって、強い心で生きましょう。</li> <li>安全に心をくばり、災害などをなくしましょう。</li> </ul> <p>【力をあわせて、すがすがしい町をつくりましょう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然を大切に、緑をそだてましょう。</li> <li>きれいで、清けつな環境をつくりましょう。</li> <li>礼儀を重んじ、きまりを守りましょう。</li> </ul> <p>【教育文化を高め、希望にみちた町をつくりましょう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未来を拓く、若い力をそだてましょう。</li> <li>教育を高め、文化財や伝統を守りましょう。</li> <li>教養を深め、郷土に役立つ人になりましょう。</li> </ul>			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育委員、社会教育指導員に要する経費</li> <li>令和4年成人式典に要する経費</li> </ul>							
事業の効果	国見町の社会教育の推進が図られる。							
次年度以降の見込み	継続的な取り組みにより社会教育を推進する。							



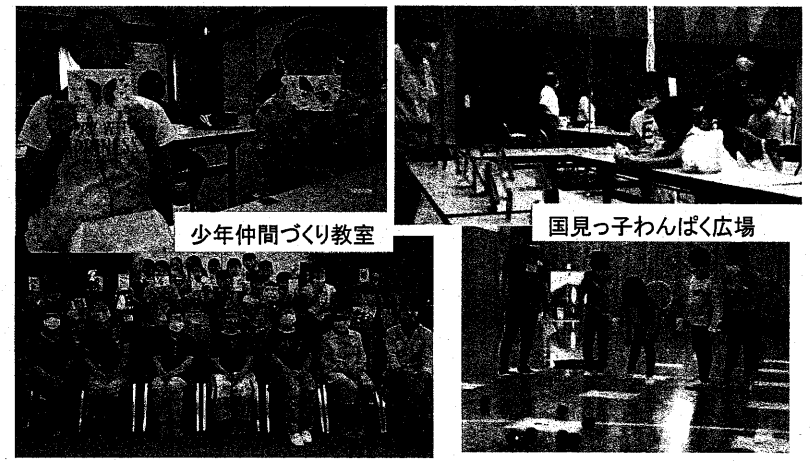
# 令和3年度「公民館事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	生涯学習課		所管係名	生涯学習係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前年度当初予算額	3,044 千円	
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち		増 減 額	161 千円	
	施 策 名	1	生涯学習の推進		増 減 率	5.3 %	
予 算 額  予算書 120～121頁	総事業費		特定財源			一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債		その他
	金額	3,205 千円	0 千円	328 千円	0 千円	220 千円	2,657 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	10.2 %	0.0 %	6.9 %	82.9 %
	特定財源の名称			●子どもがふみだす復興体験 応援事業(25頁)		●雑入(印刷等実費収入、 バス代実費収入など)(32 頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		10	教育費	7	報償費	405 千円	講師謝礼
8				旅費	88 千円	費用弁償、普通旅費	
5		社会教育費	10	需用費	1,314 千円	消耗品、給食費	
			11	役務費	189 千円	損害保険料	
目		目名称	12	委託料	570 千円	送迎委託	
	13		使用料及び賃借料	639 千円	印刷機借上料、施設使用料		
2	公民館費			千円			
				千円			
事業の目的	観月台文化センターを拠点に、町民一人ひとりが主体的な生涯学習を通じて生きがいのある豊かな人生を創造できるよう取組む。						
事業の概要	人との出会い・人とのふれあい・人と地域とのふれあい・人と学習やスポーツとの結びつきを大切にし、学習する者の主体的な活動を支援しながら、健康で生きがいのある生活を送るための活動を推進しながら、魅力ある公民館活動を推進する。						
事業の効果	阿津賀志学級……………4月から2月まで年間12回 成人学級……………4月から2月まで主に金曜日の午後で年間13回 くにみ女性教室……………5月から2月まで主に水曜日の午前で年間20回 家庭教育応援……………小学校就学児説明会など 地域課題解決各種教室・講座…随時 国見ジュニア応援団……………6月から2月まで年間12回				参加者それぞれに、 楽しみや 生きがい	 阿津賀志学級  くにみ女性教室  成人学級  国見ジュニア応援	
次年度以降の見込み	継続的な取り組みにより事業の充実を図る。						

# 令和3年度「地域学校協働本部事業(地域における体験活動:放課後子ども教室)」の概要

所管課名	生涯学習課		所管係名	生涯学習係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前年度当初予算額	1,303 千円		
	政 策 名	2	生きる力をはぐむまち		増 減 額	1,970 千円		
	施 策 名	2	地域とともにある教育		増 減 率	151.2 %		
予 算 額	総事業費		特定財源			一般財源		
			国庫支出金	県支出金	地方債		その他	
	金 額	3,273 千円		0 千円	830 千円	0 千円	130 千円	2,313 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	25.4 %	0.0 %	4.0 %	70.7 %
	特定財源の名称			●地域学校協働本部事業(25頁)		●雑入(バス代実費収入)(32頁)		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
10		教育費	7	報償費	1,922 千円	コーディネーター、指導員等報償、講師謝礼		
			8	旅費	228 千円	費用弁償、普通旅費		
5		社会教育費	10	需用費	150 千円	消耗品		
			12	委託料	973 千円	送迎委託		
目		目名称			千円			
2	公民館費			千円				
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">                     予算書 120~121頁                 </div>								
事業の目的	放課後や週末等における安全安心な学習や体験の機会の確保し、子どもたちの自主性、社会性、創造性豊かな人間性を育てながら、子どもたちと地域住民のコミュニティを促進する。 ※令和3年度より少年仲間づくり教室を放課後子ども教室へ位置づけ。							
事業の概要	県補助事業の地域学校協働本部事業を活用する。 ・さまざまな体験・交流活動の実施 ・規範意識やコミュニケーション能力の向上 ・地域住民の自己実現や生きがいづくり、生涯学習の推進							
事業の効果	・様々な体験活動を推進するとともに地域の人材活用と交流を図る地域コミュニティを担う。							
次年度以降の見込み	継続的な取組により事業の充実を図る。							



# 令和3年度「各中央施設維持管理事業」の概要

所管課名	生涯学習課		所管係名	文化スポーツ係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	4,532 千円		
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			増 減 額	39 千円		
	施 策 名	1	生涯学習の推進			比 率	0.9 %		
予 算 額	金 額	総事業費		特定財源				一般財源	
		国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円		その他
	構 成 比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.2 %	99.8 %	
	特定財源の名称						●中央集会施設使用料(18頁)		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
		10	教育費	10	需用費	2,301 千円	消耗品費133、燃料費157、光熱水費1,711、修繕料300		
11				役務費	148 千円	水質検査等手数料30、火災保険料118			
5		社会教育費	12	委託料	2,036 千円	建物・設備に係る保守点検、施設清掃等			
			13	使用料及び賃借料	86 千円	テレビ受信料57、清掃用具借上料29			
					千円				
				千円					
				千円					
				千円					
				千円					
事業の目的	地区住民の福祉と健康の増進								
	事業の概要	①森江野町民センター(S63) ②国見東部高齢者等活性化センター(H5) ③大木戸ふれあいセンター(H8) ④小坂農村総合管理センター(H16)							
事業の効果		地区中央集会施設を活用した地域活動の推進が図られる							
		次年度以降の見込み	計画的なメンテナンス等適正な管理を継続する						
									
									

# 令和3年度「観月台文化センター維持管理事業」の概要

所管課名	生涯学習課	所管係名	文化スポーツ係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の 位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	41,335 千円		
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち	増 減 額	23,817 千円		
	施 策 名	2	芸術文化の振興	比 率	57.6 %		
予 算 額  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">予算書 121～123頁</div>	総事業費		特定財源				一般財源
	金 額	65,152 千円	国庫支出金 0 千円	県支出金 0 千円	地方債 26,000 千円	その他 1,000 千円	38,152 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	39.9 %	1.5 %	58.6 %
	特定財源の名称				●緊急防災減災事業債 (33頁)	●観月台文化センター施設 使用料(18頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		10	教育費	1,3	報酬、職員手当等	2,124 千円	会計年度任用職員(一般事務)
				1	報酬	254 千円	管理運営委員報酬
				8	旅費	89 千円	管理運営委員費用弁償
		項	項名称	10	需用費	14,214 千円	消耗品費480、燃料費4,561、給食費等11、光熱水費8,102、修繕料1,060
		5	社会教育費	11	役務費	1,796 千円	電話料768、検査等手数料542、火災保険料等486
			12	委託料	18,437 千円	工事実施設計770、建物・設備に係る保守点検、施設清掃・管理等17,667	
	目	目名称	13	使用料及び賃借料	229 千円	テレビ受信料29、清掃用具借上料等200	
	3	文化センター費	14	工事請負費	28,000 千円	2階テラス防水シート改修工事6,000、エレベーター更新20,000、その他修繕2,000	
			26	公課費	9 千円	公用車両重量税	
事業の目的	観月台文化センターの持つ機能や設備を活用した学習、文化芸術の推進						
事業の概要	観月台文化センター(ホールを除く)の維持管理に係る事業						
事業の効果	施設利用者の利便性の向上と、施設の適正な維持管理を図ることによって維持管理費を抑え施設寿命を延長する						
次年度以降の見込み	計画的なメンテナンス等適正な管理を継続する。しかし、開館から27年が経過し、経年劣化による設備・機器等の計画的な更新が必要である						

# 令和3年度「図書館運営事業」の概要


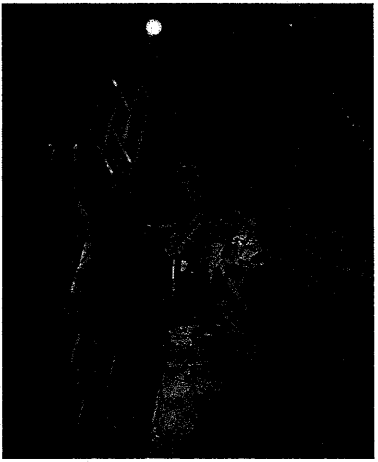
所管課名	生涯学習課		所管係名	生涯学習係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	5,670 千円				
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			増 減 額	2,780 千円				
	施 策 名	1	生涯学習の推進			増 減 率	49.0 %				
予算額  予算書 123~124頁	総事業費		特定財源				一般財源				
			金額	8,450 千円	国庫支出金	0 千円		県支出金	106 千円	地方債	0 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	1.3 %	0.0 %	0.2 %	98.5 %				
	特定財源の名称		●地域学校協働本部事業(25頁)		●雑入(バス代実費収入)(32頁)		-				
	内訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		10	教育費	1,3	報酬、職員手当	2,967 千円	図書館協議会委員報酬、会計年度任用職員(司書)報酬等				
				7	報償費	1,248 千円	子ども移動図書館指導員、子ども司書講座講師報償等				
		5	社会教育費	8	旅費	220 千円	子ども読書活動推進会議等費用弁償、普通旅費				
				10	需用費	710 千円	新聞・月刊誌、ブックスタート絵本、消耗品等				
		4	図書館費	11	役務費	131 千円	相互貸借郵便・宅配料				
12				委託料	1,487 千円	図書管理システム保守、送迎委託、読書フォーラム					
4		図書館費	13	使用料及び賃借料	264 千円	蔵書購入・検索システム使用料					
	17		備品購入費	1,383 千円	蔵書(一般書・児童書・大活字本等)						
		18	負担金補助及び交付金	40 千円	県公共図書館協会負担金、日本図書館協会負担金						
事業の目的	国見町図書館基本的な運営方針・図書館資料収集方針に基づく運営と、国見町子ども読書活動推進計画に基づく、子どもたちに寄り添う読書活動により、学校・家庭・地域等社会全体で取り組みを進め、読書の町・国見の推進を図る。										
事業の概要	図書館の運営、図書館協議会、子ども読書活動推進会議、子ども移動図書館、ブックスタート、子ども司書講座・活動、子ども読書活動推進フォーラムの開催、図書館だより・HP・LINE										
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけてくれる。</li> <li>図書館を利用して主体的に自己の課題を解決する。</li> </ul>										
次年度以降の見込み	継続的な取り組みにより事業の充実を図る。										

読む力は  
生きる力を養う

内池和子




# 令和3年度「文化芸術振興事業」の概要

所管課名	生涯学習課		所管係名	文化スポーツ係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前年度当初予算額	9,298 千円	
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち		増 減 額	278 千円	
	施 策 名	2	芸術文化の振興		比 率	3.0 %	
予 算 額	総事業費		特定財源			一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債		その他
	金 額	9,576 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,276 千円	8,300 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	13.3 %	86.7 %
	特定財源の名称					●公共ホール音楽活性化支援事業(32頁)●バス実費収入(32頁)●入場料収入(32頁)	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
10		教育費	7	報償費	324 千円	講師謝礼	
			8	旅費	140 千円	費用弁償84、普通旅費56	
5		社会教育費	10	需用費	420 千円	消耗品100、給食費等20、印刷製本費300	
			11	役務費	220 千円	ピアノ調律	
6		芸術文化振興費	12	委託料	6,634 千円	芸術鑑賞3,110、音響等操作1,200、機器等保守2,324	
	13		使用料及び賃借料	235 千円	著作権使用料75、機材等借上料60、入場料100		
6	芸術文化振興費	18	負担金補助金及び交付金	1,603 千円	キッズシアター公演開催地負担金712、町文連補助金700他		
予算書 126～128頁					千円		
事業の目的	優れた文化芸術に触れる機会の拡充を図る 文化芸術活動の奨励を図り、文化意識の高揚に努める					  	
事業の概要	国見町文化芸術振興アクションプランに基づく①文化芸術への場の提供、②鑑賞機会の提供、③文化芸術の普及・啓発を行う						
事業の効果	町の文化芸術振興の拠点として、町民の活動発表の場及び質の高い舞台芸術鑑賞の場の提供						
次年度以降の見込み	年間を通して多目的中ホールを中心とした文化芸術事業の展開を図る。 計画的なメンテナンス等適正な管理を継続する。しかし、開館から27年が経過し、経年劣化による設備・機器等の計画的な更新が必要である						

# 令和3年度「東京オリンピック・パラリンピック関連事業」の概要

所管課名	生涯学習課		所管係名	文化スポーツ係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前年度当初予算額	4,388 千円	
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち		増 減 額	90 千円	
	施 策 名	3	スポーツの推進		比 率	2.1 %	
予 算 額	総事業費		特定財源			一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債		その他
	金 額	4,478 千円	0 千円	2,239 千円	0 千円	0 千円	2,239 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	50.0 %	0.0 %	0.0 %	50.0 %
	特定財源の名称		●東京オリパラ競技大会 開催準備(25頁)			-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
10		教育費	7	報償費	30 千円	謝礼	
			8	旅費	510 千円	費用弁償	
6		保健体育費	10	需用費	495 千円	会場装飾100、ケータリング120、印刷製本275	
			11	役務費	75 千円	ピアノ調律	
目		目名称	12	委託料	3,000 千円	競技中継、ステージイベント	
			13	使用料及び賃借料	368 千円	著作権使用料110、機材等借上料153、入場料105	
1	保健体育総務費			千円			
				千円			
予算書 129頁							
事業の目的	東京2020大会を契機に国見町に住み・訪れる大人から子どもまで、障害のある人もない人も、互いに認め合い、尊重し、支え合う取り組みとして、文化センターを会場に東京2020大会の感動と興奮を共有する場としてコミュニティライブサイト(競技中継、ステージイベント等)を実施する						
事業の概要	競技中継、ステージイベント、主催者展示等						
事業の効果	「する」「観(み)る」「支える」スポーツの多様な関わりを通じたスポーツ参画や習慣化の促進、主体的な健康づくりを行う機運を醸成する 子どもたちのスポーツに自主的に参画する態度、社会の多様性を尊重する態度、共生社会の実現に必要な思いやりを養う オール国見で町を訪れる全ての人をおもてなし・歓迎する観光ボランティア体制や、町の魅力発信、農工商・観光の活性化、町内各地域の連携を強固にする						
次年度以降の見込み	東京2020大会のみの一過性で終わらず、大会終了後でも、地域がスポーツを通して交流し、連携する推進する体制を構築し、事業の推進に努める						

# 令和3年度「夏期巡回ラジオ体操事業」の概要

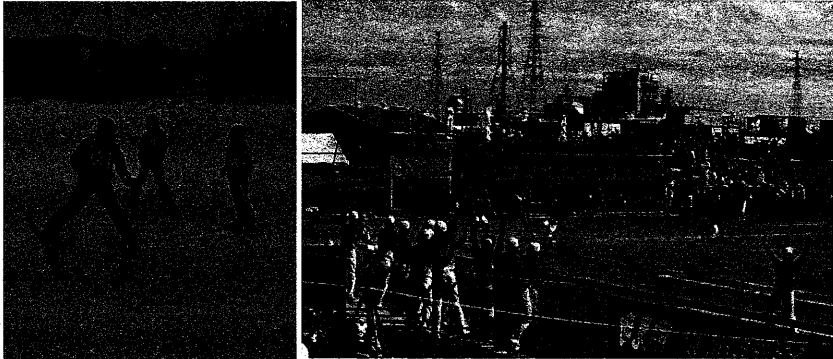
所管課名	生涯学習課		所管係名	文化スポーツ係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり			前年度当初予算額	0 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			増 減 額	1,093 千円
	施 策 名	3	スポーツの推進			比 率	皆増 %
予 算 額	総事業費		特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	1,093 千円	千円	千円	千円	千円	1,093 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
10		教育費	7	報償費	271 千円	体操・ピアノ伴奏・交通整理謝礼23、参加賞248	
			10	需用費	352 千円	消耗品費	
6		保健体育費	11	役務費	50 千円	ピアノ調律	
			12	委託料	320 千円	送迎バス運行200、ピアノ運搬120	
			13	使用料及び賃借料	100 千円	機材借上	
			目 目名称	千円			
		1	保健体育総務費	千円			
予算書 128～129頁					千円		
事業の目的	町民の健康増進と地域コミュニティの活性化					 <p>2012年開催の様様</p>	
事業の概要	夏休み期間中に全国を会場に行われる夏期巡回ラジオ体操の福島県会場として、体操会の模様がNHKラジオ第1で全国に生放送される。						
事業の効果	夏休み期間中の早朝ラジオ体操の実施町内会が減少しているなか、手軽にできる健康づくり活動の恒常化が期待される						
次年度以降の見込み	実施の状況をもて将来的に申込を検討する						



# 令和3年度「各体育施設維持管理事業」の概要

所管課名	生涯学習課	所管係名	文化スポーツ係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり	前年度当初予算額	19,338 千円			
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち	増 減 額	7,910 千円			
	施 策 名	3	スポーツの推進	比 率	40.9 %			
予 算 額	金 額	総事業費		特定財源				一般財源
		27,248 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	構 成 比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	41.5 %	58.5 %
	特定財源の名称						●体育施設利用料(18頁)● 文教施設整備基金繰入金(29頁)	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	10	需用費	7,989 千円	消耗品費682、燃料費52、光熱水費6,255、修繕料1,000	
11				役務費	685 千円	電話料208、各種法定検査36、火災・損害保険料441		
6		保健体育費	12	委託料	9,806 千円	上野台運動公園施設管理3,998、設備保守点検・除草等管理他5,808		
			13	使用料及び賃借料	336 千円	清掃用具借上171、AED借上163、共架料2		
2		体育施設費	14	工事請負費	7,600 千円	バスケットゴール設置修繕6,000、人工芝修繕800、その他施設修繕800		
	17		備品購入費	832 千円	芝刈機			
					千円			
					千円			
事業の目的	体育施設の充実及びその効果的運営の促進を図ることにより、町民の心身の健全な発達及び豊かな人間性の涵養への寄与			 柏葉体育館				
事業の概要	①親月台文化センター体育館 ②上野台運動公園(上野台体育館、テニスコート、総合運動場、グリーンアリーナ923、柏葉体育館) ③森江野町民センター森江野第2体育館 ④国見東部高齢者等活性化センター 体育館							
事業の効果	上記施設の有効活用と利便性の向上							
次年度以降の見込み	引き続き各施設の利用状況や破損等の把握に努める。							
				 グリーンアリーナ923				

# 令和3年度「社会体育振興事業」の概要

所管課名		生涯学習課		所管係名		文化スポーツ係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり				前年度当初予算額	8,171 千円		
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち				増 減 額	597 千円		
	施 策 名	3	スポーツの推進				比 率	7.3 %		
予 算 額	金額	総事業費			特定財源				一般財源	
		8,768 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		550 千円
	構成比	100.0 %			0.0 %	0.0 %	0.0 %	6.3 %	93.7 %	
		特定財源の名称							●施設利用料(32頁) ●バス代実費収入(32頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細			
		10	教育費	1,3	報酬、職員手当等	2,991 千円	会計年度任用職員(社会体育専門員)			
				1	報酬	260 千円	スポーツ推進委員			
		6	保健体育費	7	報償費	963 千円	総合型SC検討委員93、スポーツ教室講師等116、激励金280、大会賞品474			
				8	旅費	195 千円	費用弁償133、普通旅費62			
		1	保健体育総務費	10	需用費	227 千円	スポーツ推進委員、スポーツ教室・大会消耗品			
11				役務費	423 千円	タブレット端末通信費				
1		保健体育総務費	12	委託料	725 千円	スポーツ教室送迎委託300、大会交通整理委託26等				
	13		使用料及び賃借料	430 千円	スポーツ教室・大会入場料190、スポーツ教室教材等借上240					
		18	負担金補助及び交付金	2,554 千円	大会負担金150、町体協・スポ少補助金925、市町村対抗各団体補助金1,400他					
事業の目的	幼年期から高齢期の誰もが主体的な健康づくりやスポーツの習慣化を促進することで、町民の健康増進を図る									
事業の概要	スポーツ推進委員活動、スポーツ教室・スポーツ大会の実施、社会体育団体の育成補助、総合型地域スポーツクラブ設立の検討									
事業の効果	スポーツ大会の自主的な運営を促し、多世代に多様な健康づくりの機会を創出することで町民の健康の維持増進につながる 国見ならではの総合型地域スポーツクラブの設立が期待される									
次年度以降の見込み	継続的な取り組みを図り、健康の維持増進に努める									